

## 資料の要点：2021年7月20日時点

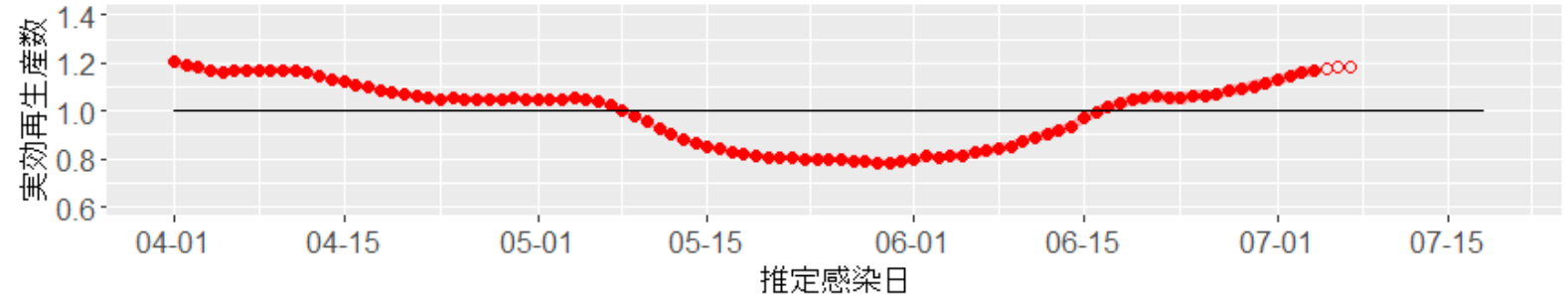
- 全国的に実効再生産数は1を上回った状況が続き、概ね値が確定した7月4日時点では1.17であった。首都圏、関西圏ともに1を上回り、さらに上昇傾向である。P2-4
- 注目すべき都道府県\*：宮城、埼玉、千葉、東京、神奈川、石川、大阪、兵庫、沖縄。首都圏、関西圏ともに高齢者以外の全世代で急激な上昇傾向がみられる(P7-11)。沖縄では高齢者の減少傾向がみられるが、他の全世代が上昇傾向である (P13)。一部地域でHER-SYSの入力が遅れている。P5-30
- 7月中旬時点で陽性例に占めるデルタ株の割合は、関東地方で約60%、関西地方で約20%と推定される。P35-43
- 19都道府県で、2021年4月中の全ての死因を含む超過死亡数が例年の同時期より多かった。P44-

\*実効再生産数と新規症例数を用いたアルゴリズムに基づいて抽出

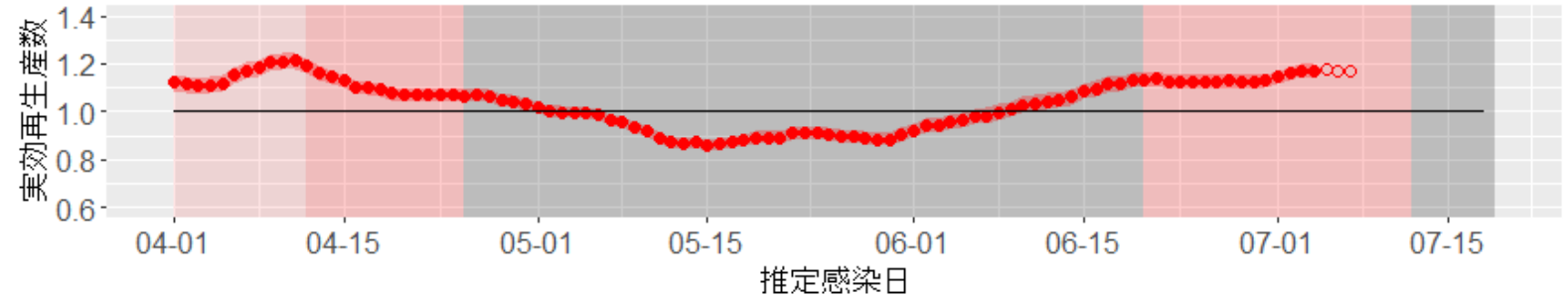
国立感染症研究所 感染症疫学センター サーベイランスグループ  
協力：新潟大学 菖蒲川由郷 (GIS)

# 全国の実効再生産数（推定感染日毎）：7月20日作成

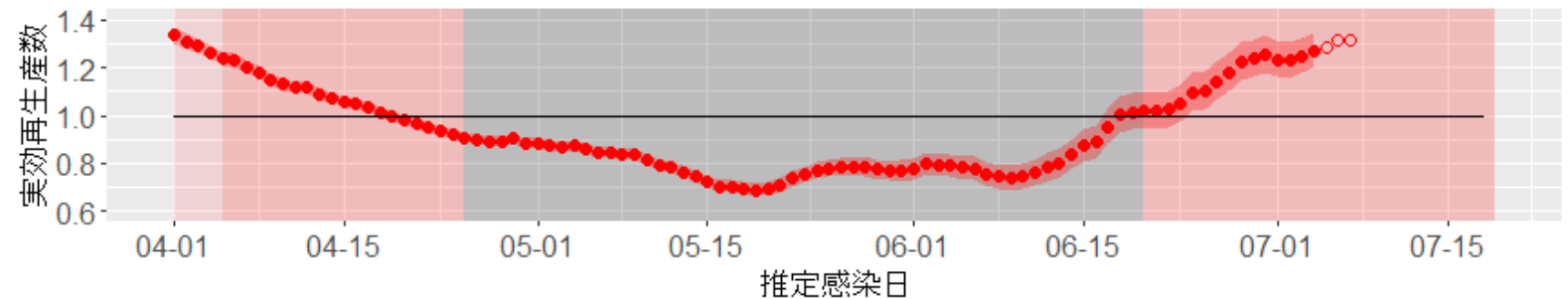
全国  
 7月4日時点Rt=1.17 (1.15-1.19)



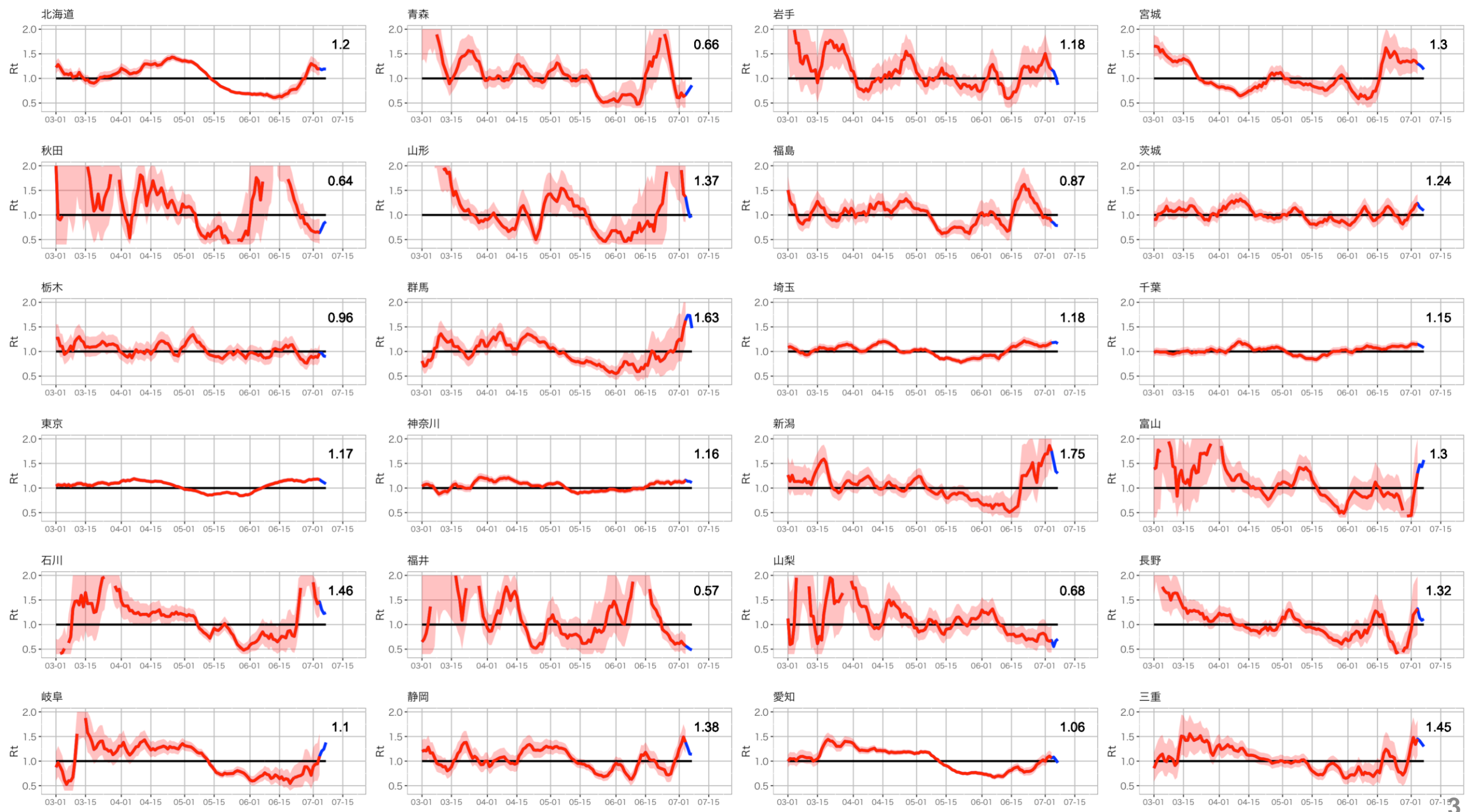
首都圏：東京、神奈川、千葉、埼玉  
 7月4日時点Rt=1.17 (1.14-1.20)

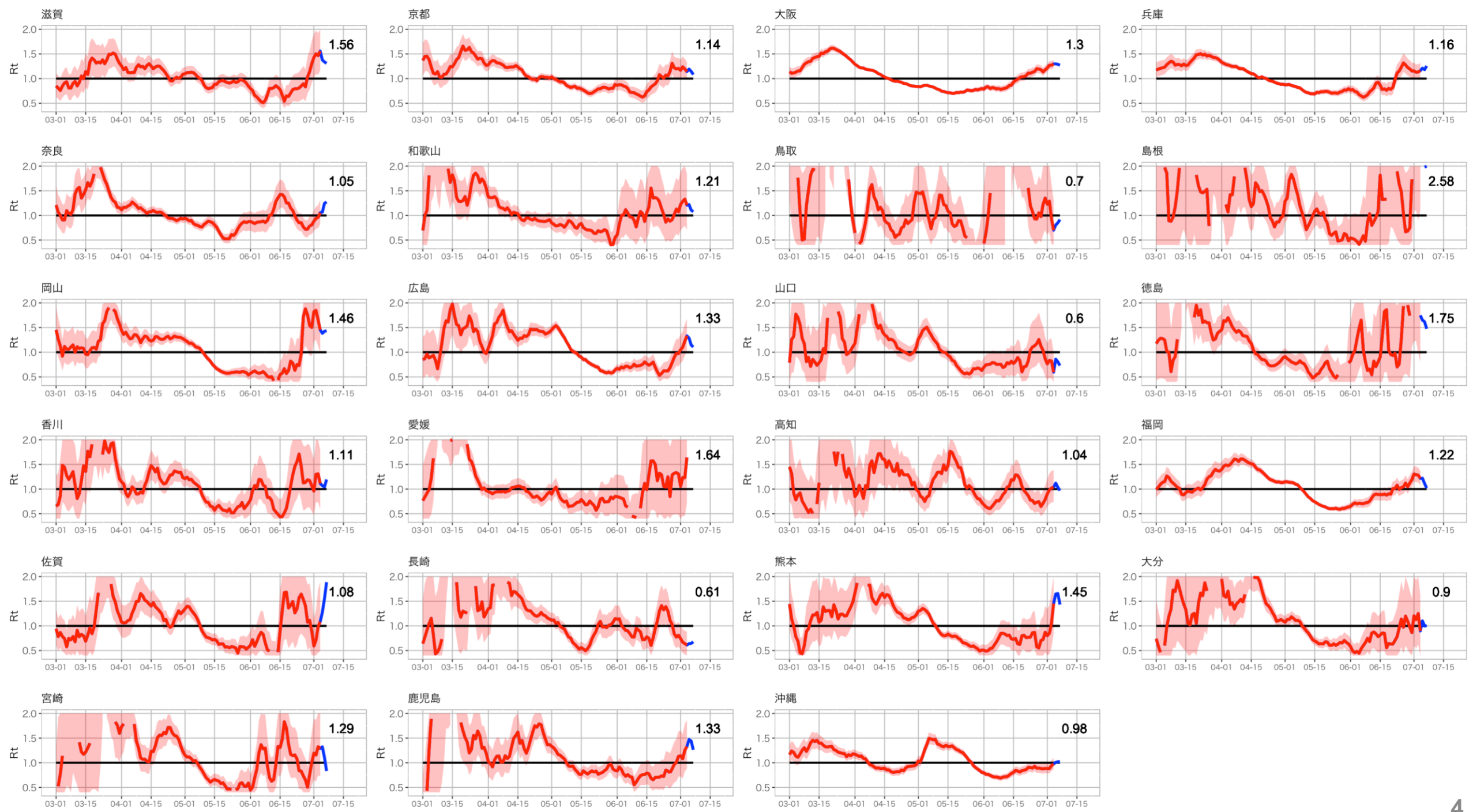


関西圏：大阪、京都、兵庫  
 7月4日時点Rt=1.27 (1.20-1.34)



実効再生産数は推定感染日（発症日あるいは発症日不明例については推定発症日から潜伏期間をさかのぼることで推定）ごとにCori et al. AJE 2013の方法（window time=7）で推定した。16日前までの推定値を赤丸、報告の遅れのために過小推定となっている可能性が高い13日から15日前までの推定値を白丸で表し、それよりも直近の値は表示していない。括弧内の値と図中の赤帯は95%信頼区間を表す。  
なお、発症日の入力率、公表率は自治体によりばらつきが大きく、また事後的に修正される可能性があるため、値は暫定値である。





# 人口10万人あたりの7日間累積新規症例報告数の推移：年齢群別

## 使用データ

HER-SYSと自治体公開情報データ（7月19日時点）

### まとめ

北海道：高齢者以外の年代で増加傾向であり、20・30代でステージ3相当を上回っている\*。

宮城県：全ての年代で増加傾向であり、10代以下でステージ3相当を上回っている\*。

首都圏：埼玉県、東京都、神奈川県、千葉県では高齢者以外の年代で増加傾向であり、高齢者以外の年代において東京都と神奈川県ではステージ4相当を、埼玉県と千葉県ではステージ3相当を上回っている。

東海圏：愛知県では全ての年代で増加傾向、岐阜県では高齢者以外の年代で増加傾向であり、愛知県と岐阜県共に全ての年代でステージ3相当を下回っている\*。

関西圏：京都府、奈良県、兵庫県、大阪府では高齢者以外の年代で増加傾向であり、20・30代において京都府、奈良県、兵庫県でステージ3相当を、大阪府ではステージ4相当を上回っており、大阪府では10代以下と40-60代でステージ3相当を上回っている。

中国：岡山県では高齢者以外の年代で増加傾向、広島県では10代以下と20・30代で増加傾向であり、岡山県と広島県共に全ての年代でステージ3相当を下回っている。

九州：福岡では全ての年代で増加傾向であり、全ての年代でステージ3相当を下回っている。

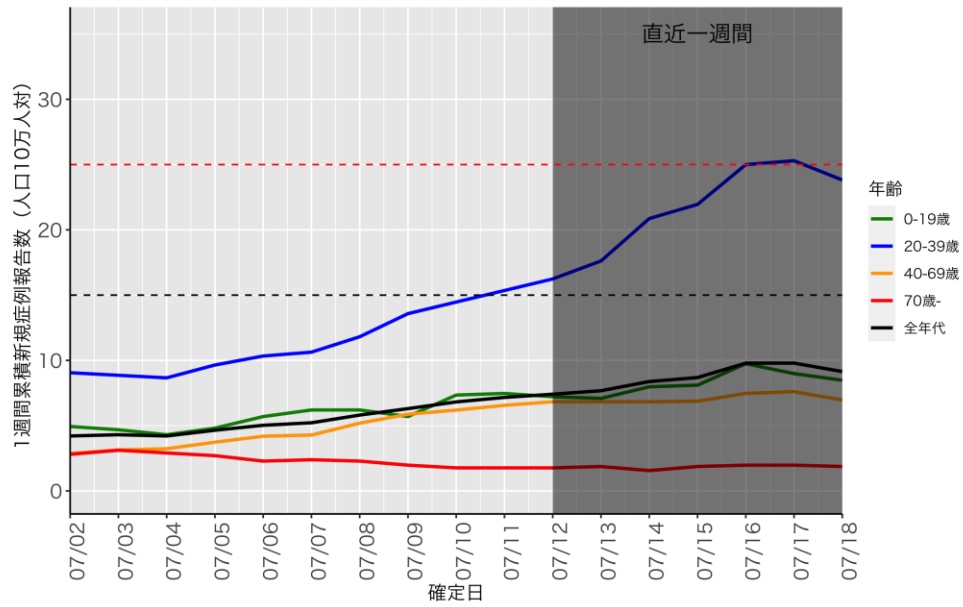
沖縄：高齢者では減少傾向、その他の年代では増加傾向であり、20・30代と40-60代ではステージ4相当を超え、10代以下ではステージ3相当を超えている。

（\*はHER-SYSまたは自治体公開情報のどちらかのみでのレベルを示す。）

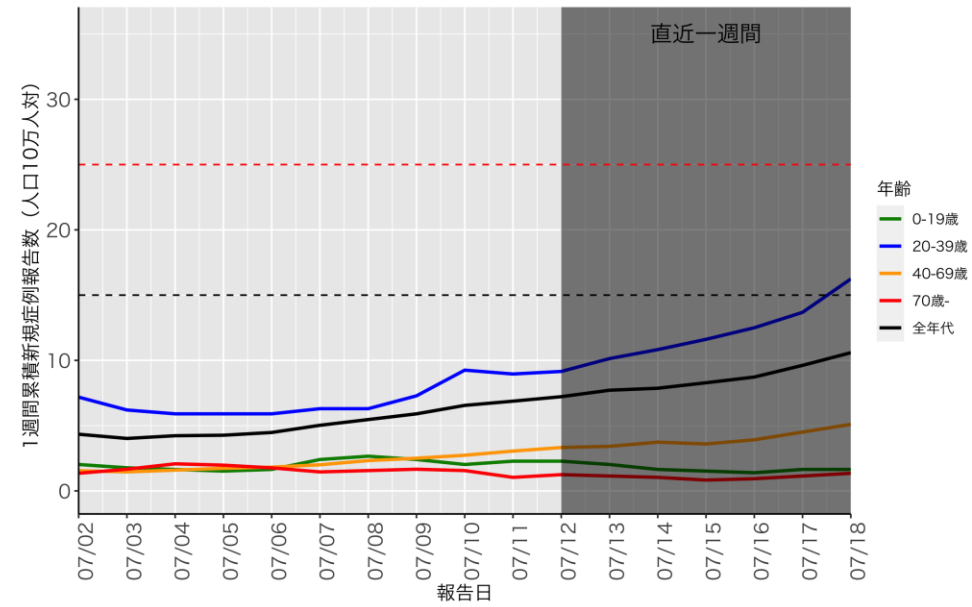
### 解釈時の注意点

- HER-SYSに基づく値は、特に直近1週間については報告遅れのために過小評価となっている可能性があり、その程度は自治体によって差がある（図の灰色部分）
- 自治体公開情報データに基づく年代別の値は、年代を非公表としている症例が多い自治体については過小評価となる
- どちらのデータも完全ではないため、両者を用いた評価が必要である

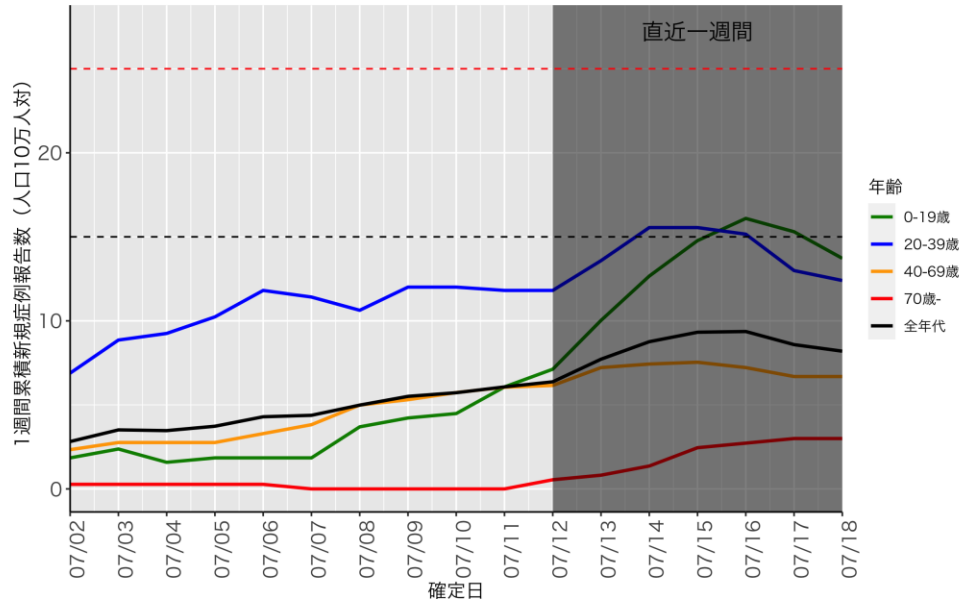
北海道 (HER-SYS)



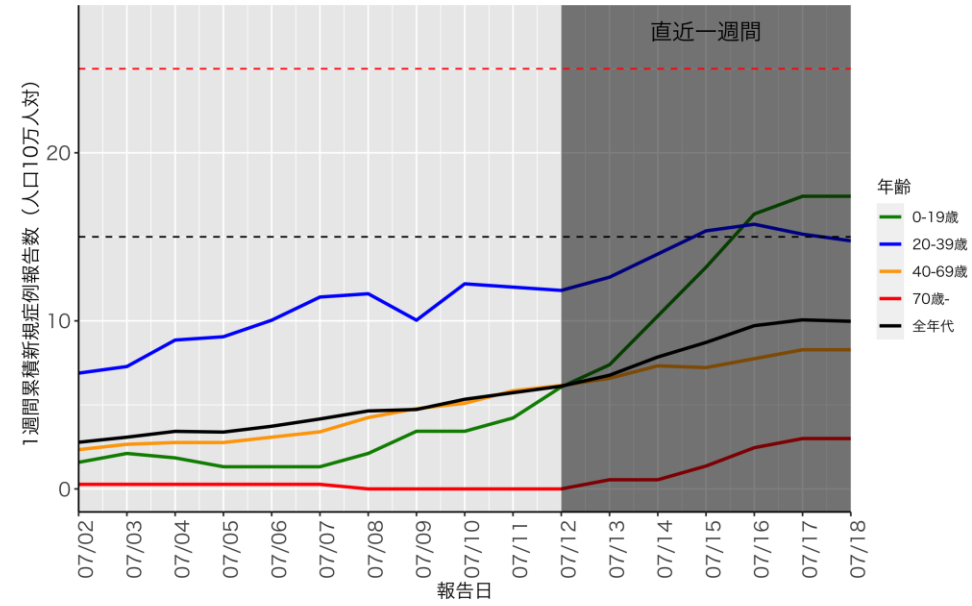
北海道 (自治体公開情報)



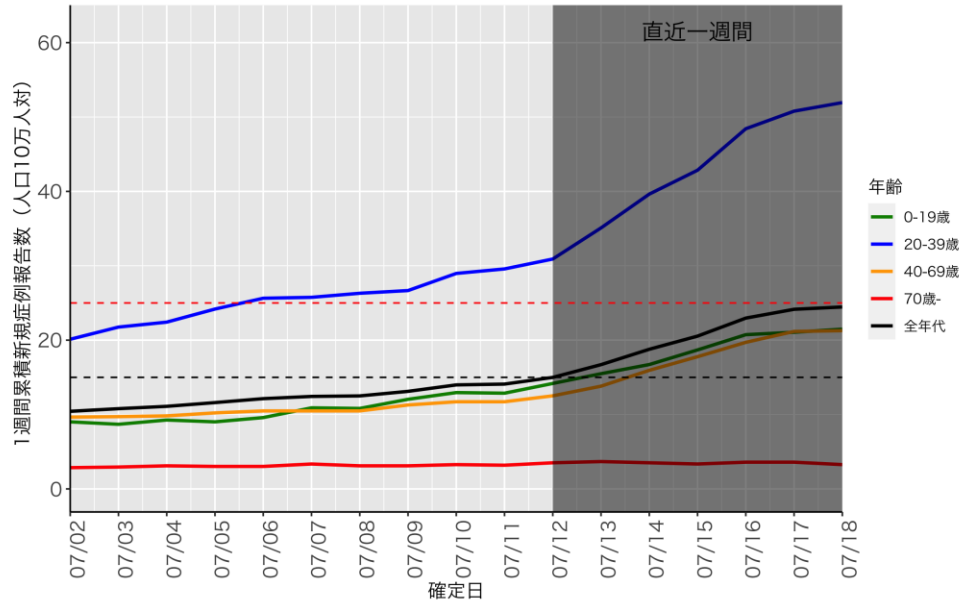
宮城 (HER-SYS)



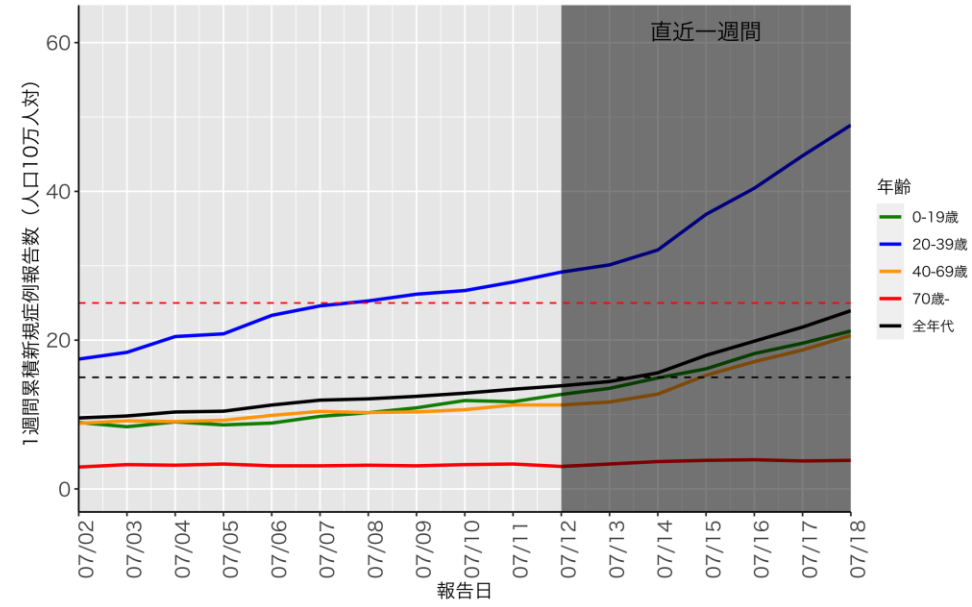
宮城 (自治体公開情報)



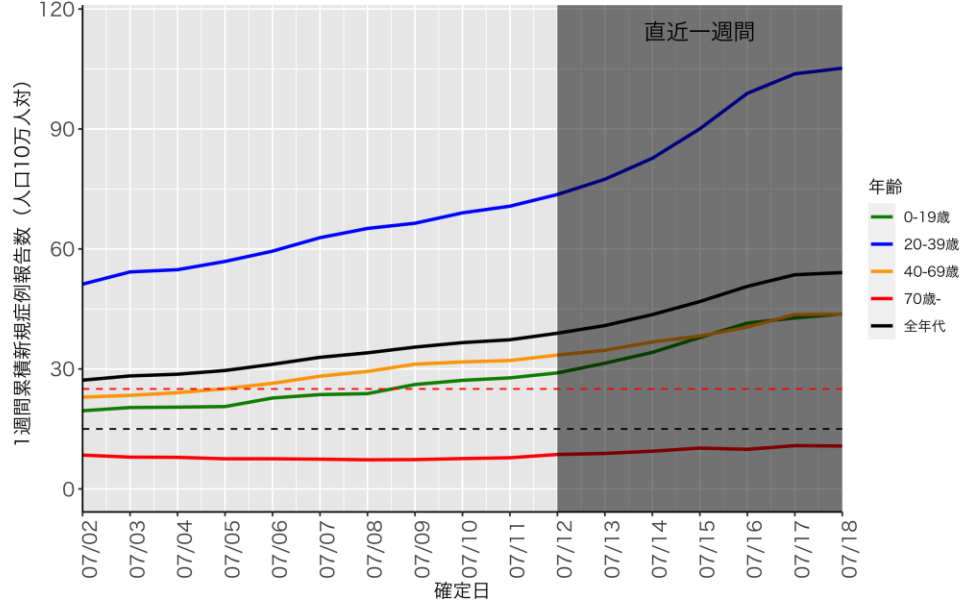
埼玉 (HER-SYS)



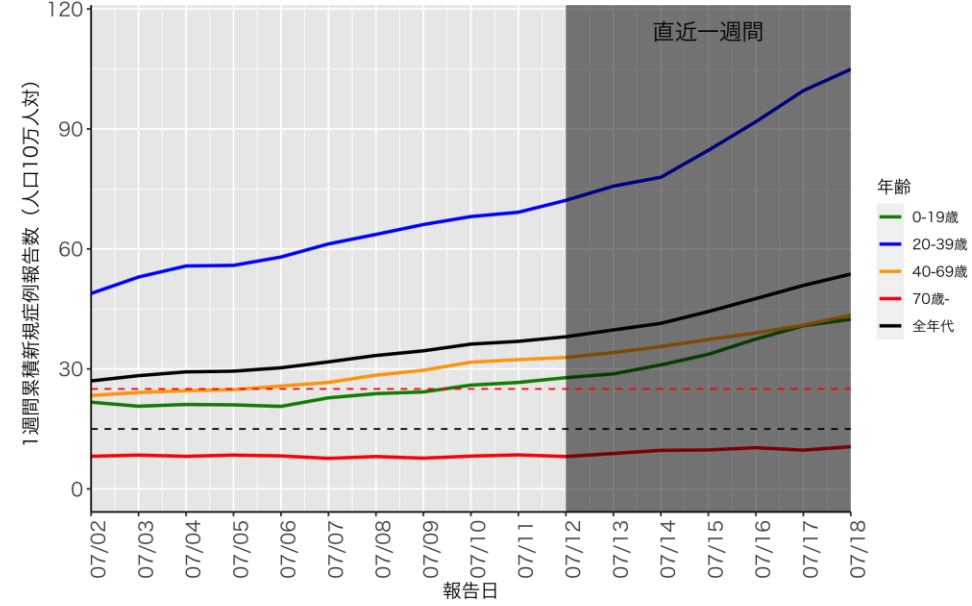
埼玉 (自治体公開情報)



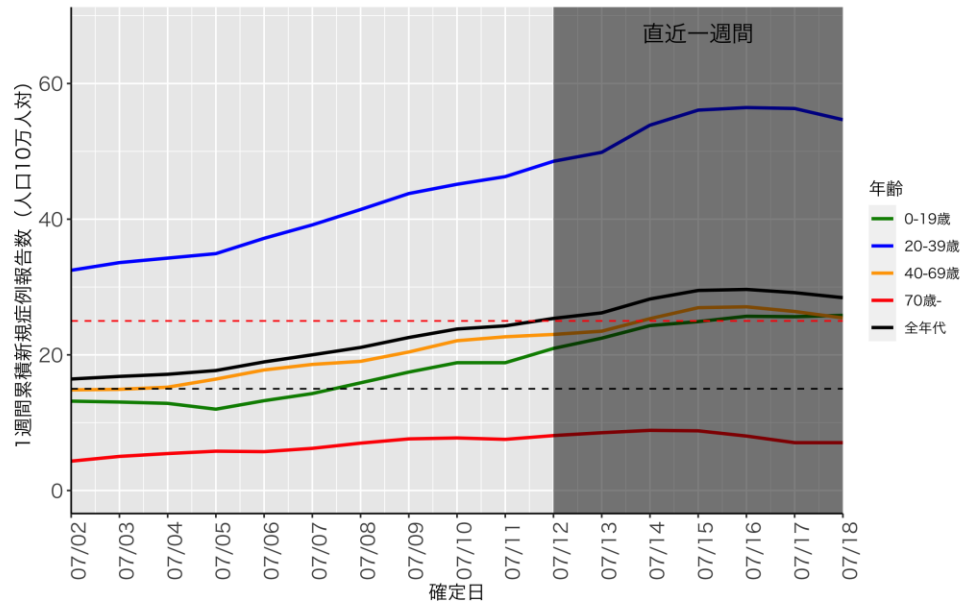
東京 (HER-SYS)



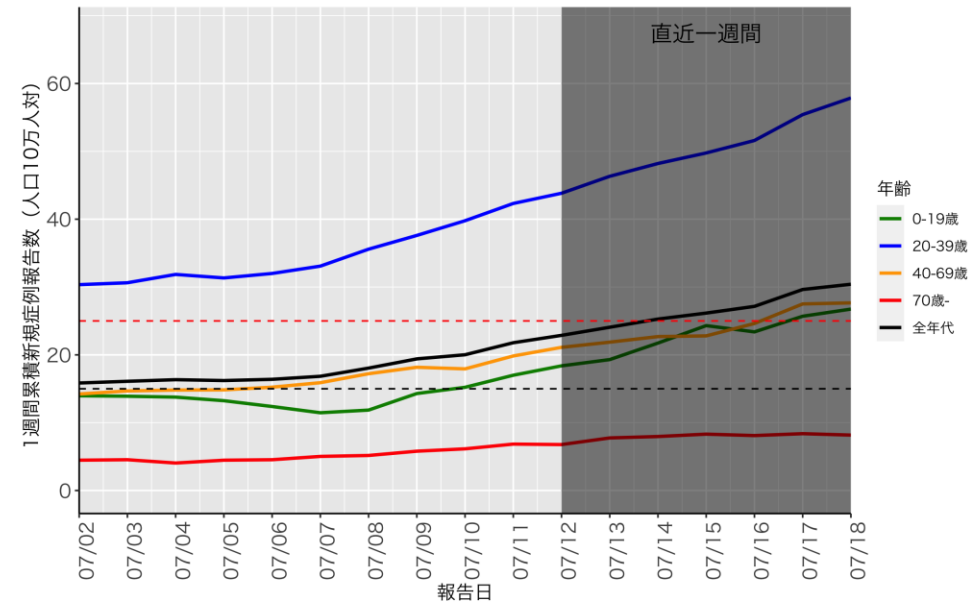
東京 (自治体公開情報)



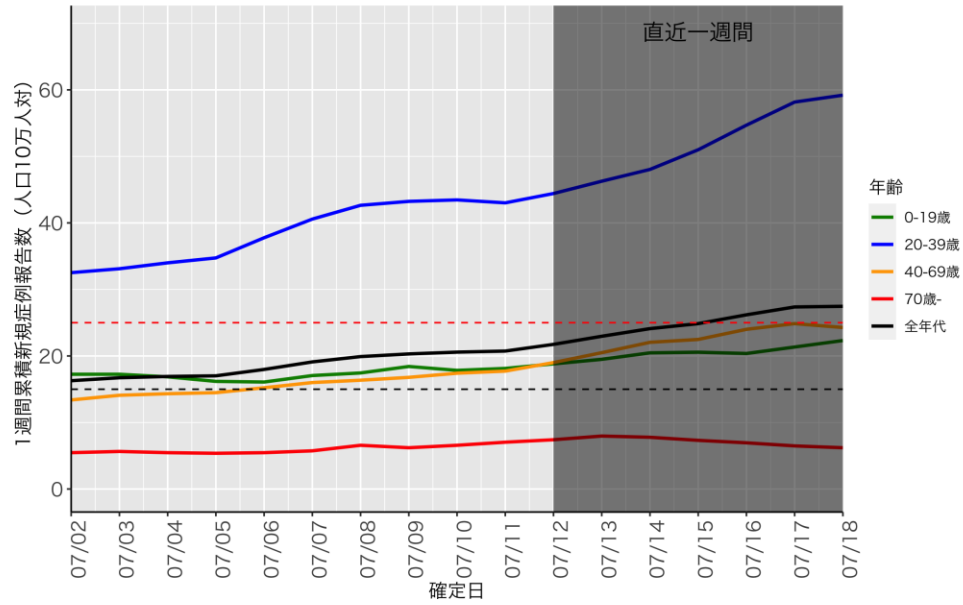
神奈川 (HER-SYS)



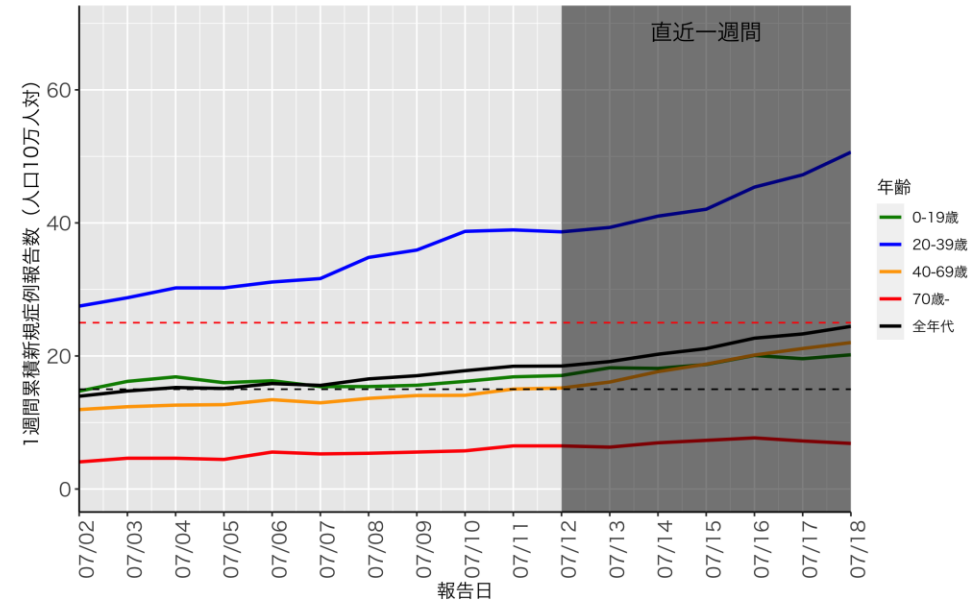
神奈川 (自治体公開情報)



千葉 (HER-SYS)

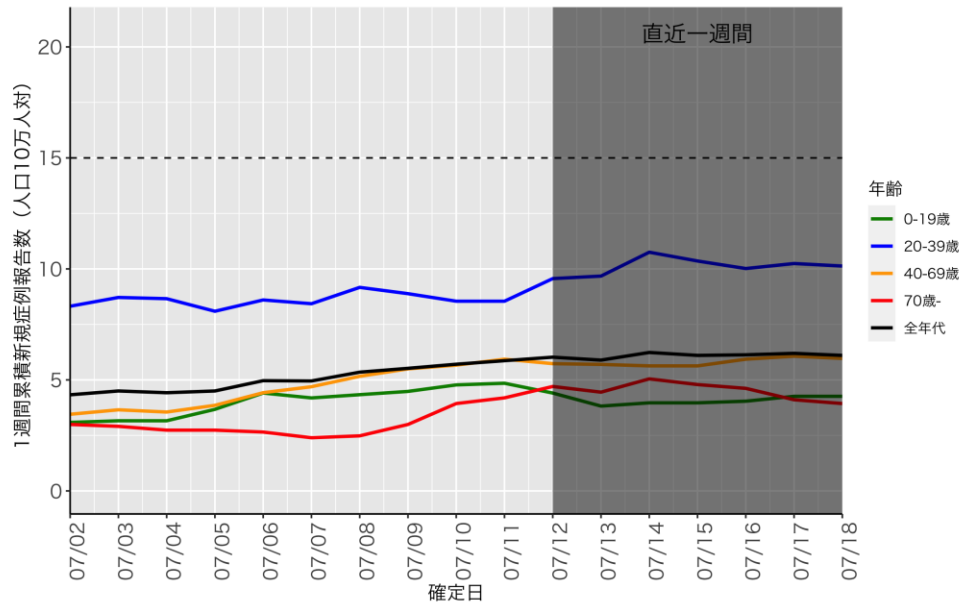


千葉 (自治体公開情報)

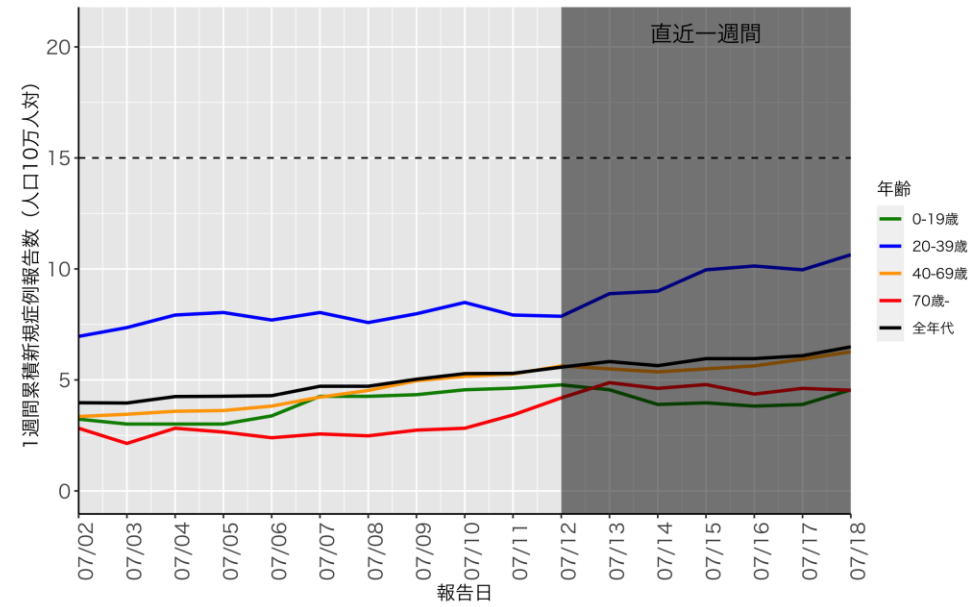




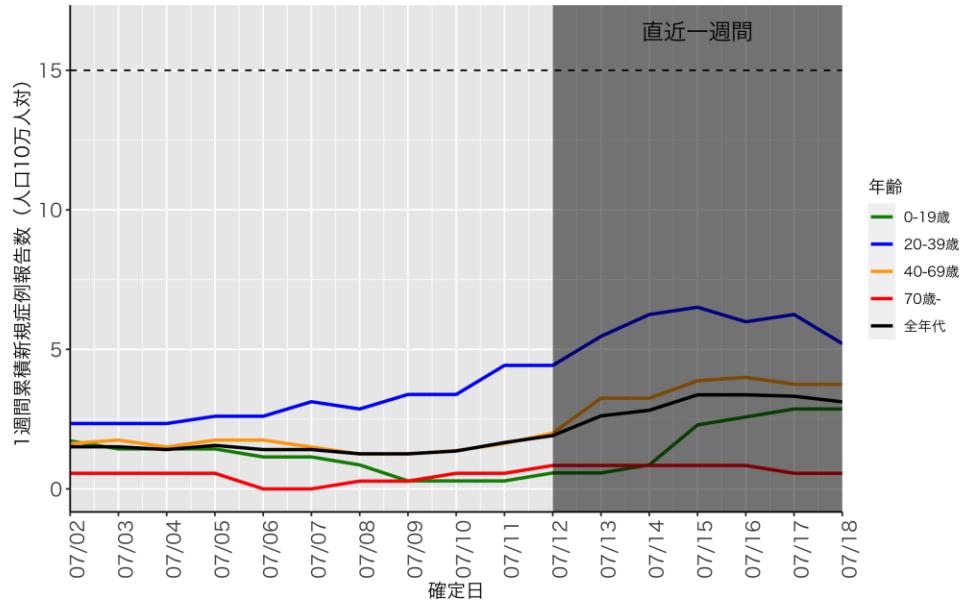
愛知 (HER-SYS)



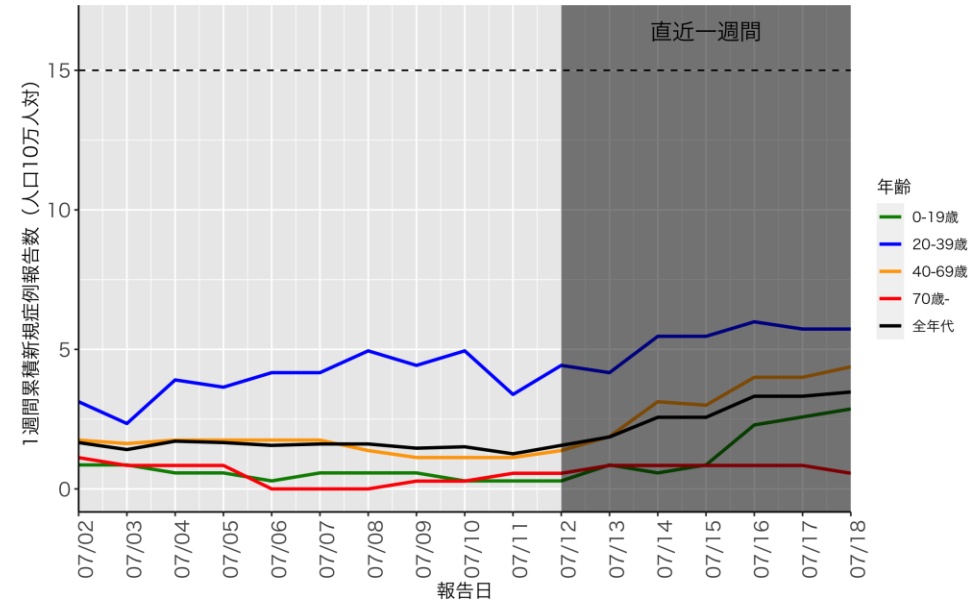
愛知 (自治体公開情報)



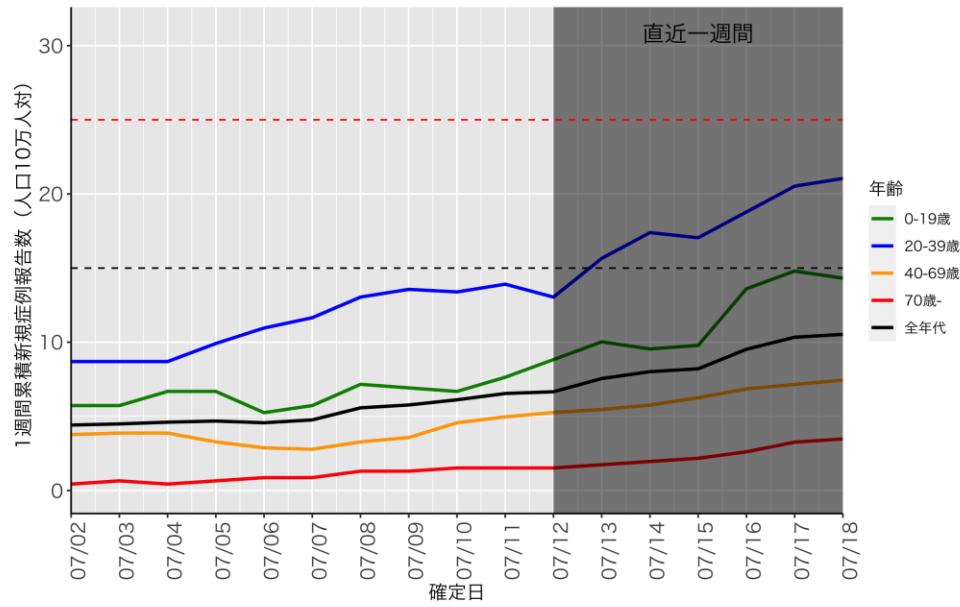
岐阜 (HER-SYS)



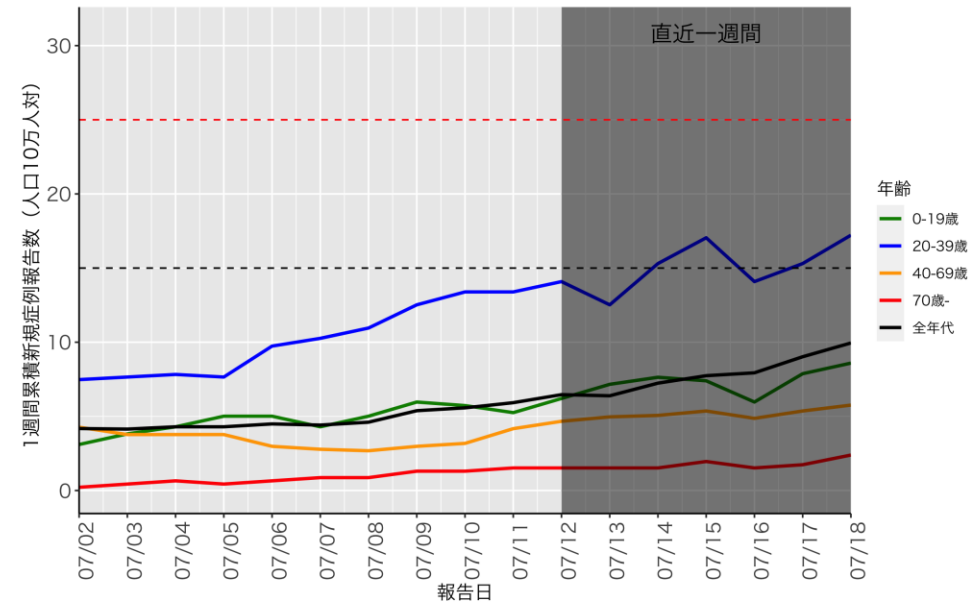
岐阜 (自治体公開情報)



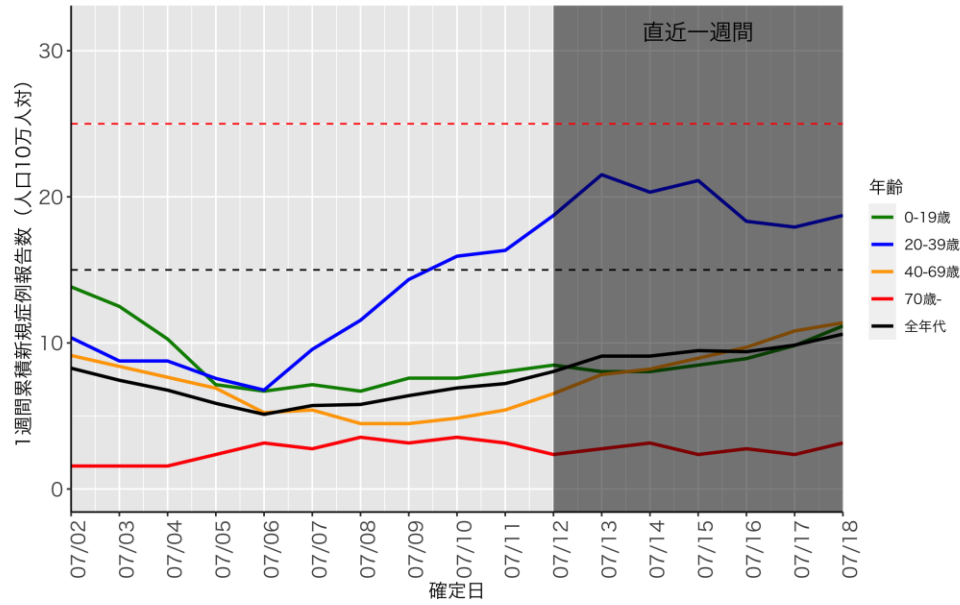
京都 (HER-SYS)



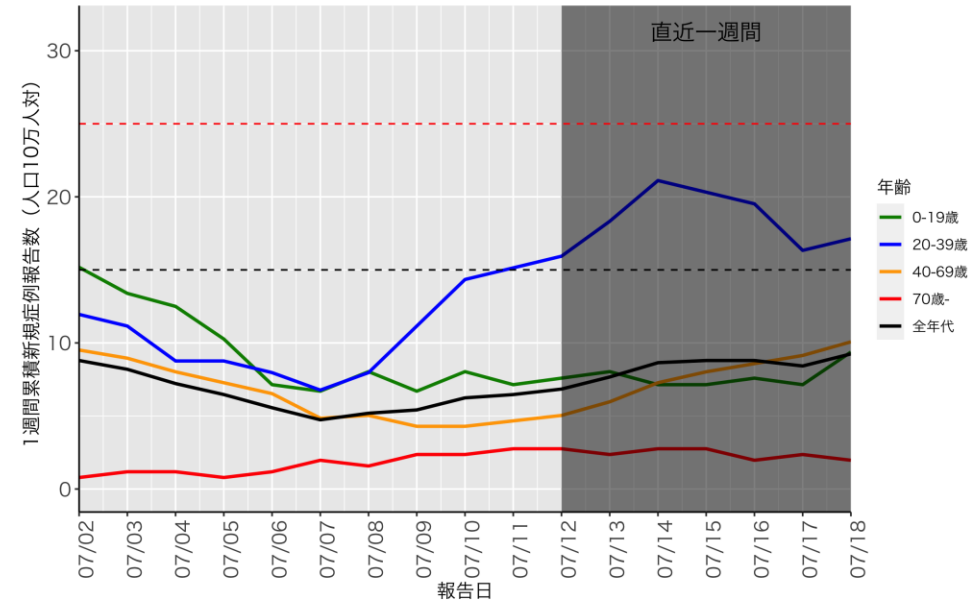
京都 (自治体公開情報)



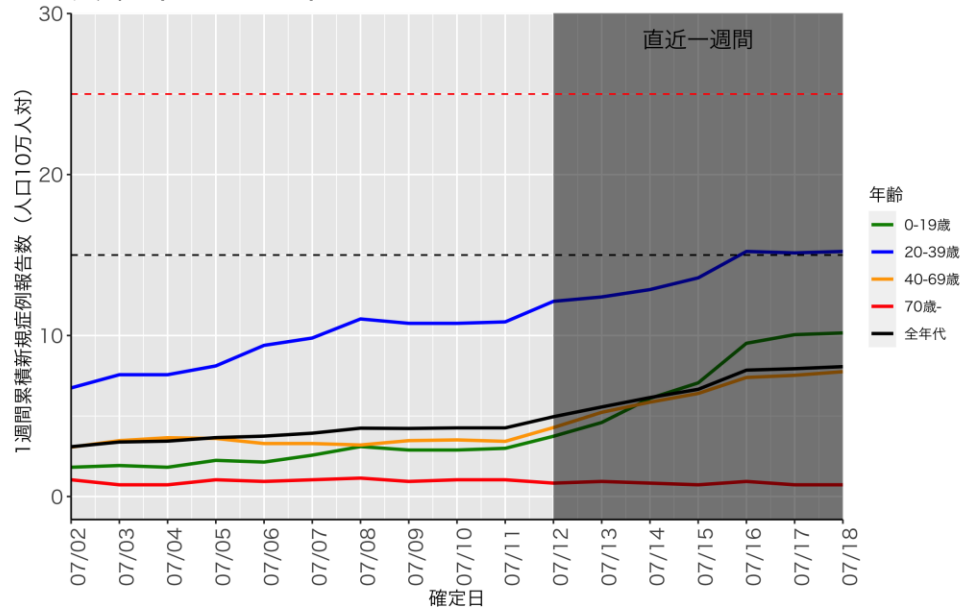
奈良 (HER-SYS)



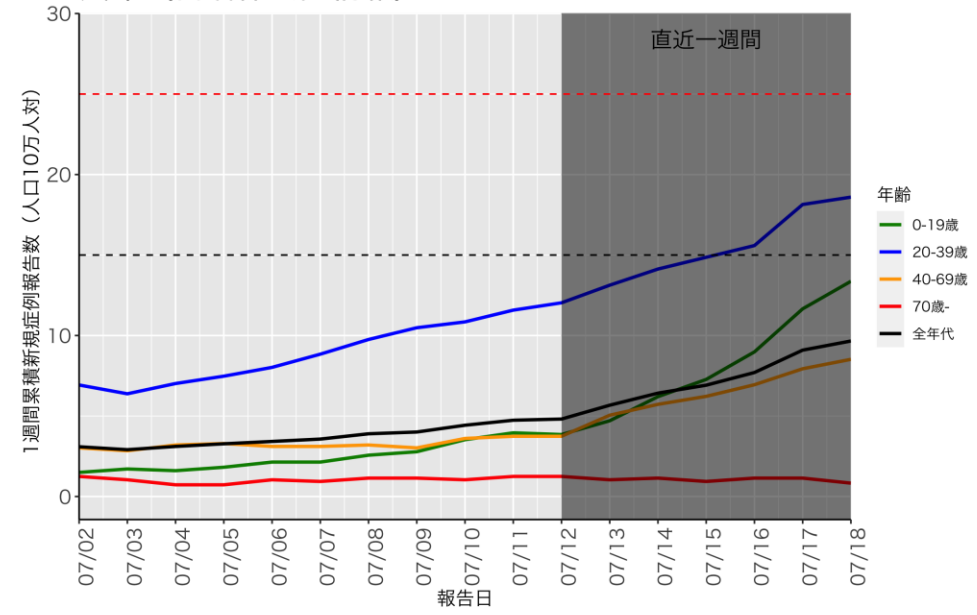
奈良 (自治体公開情報)



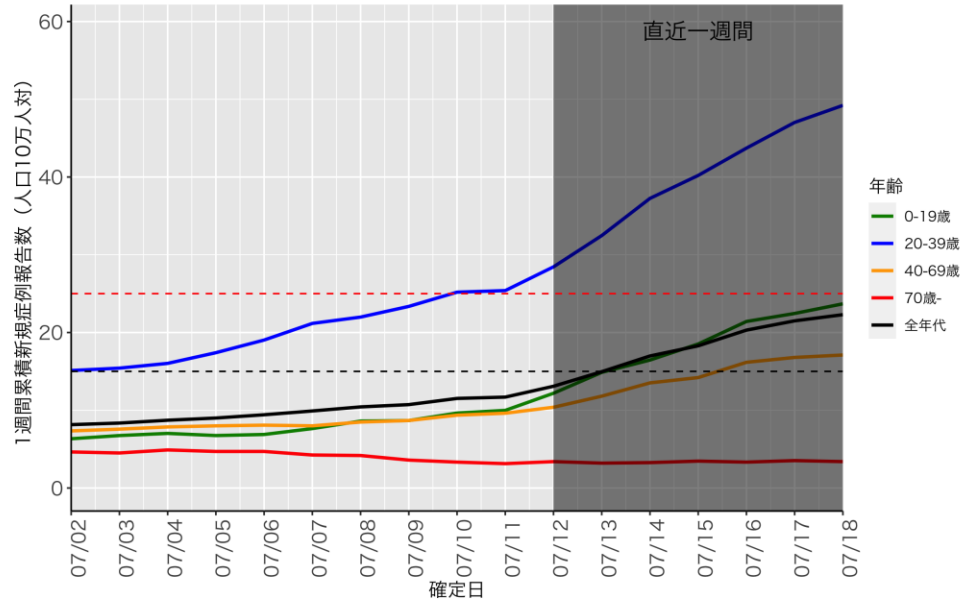
兵庫 (HER-SYS)



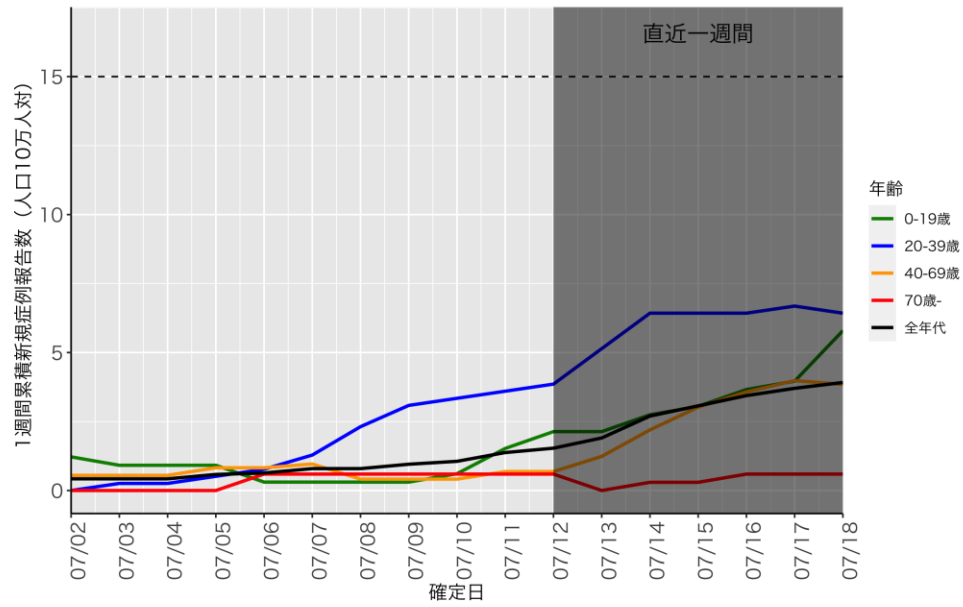
兵庫 (自治体公開情報)



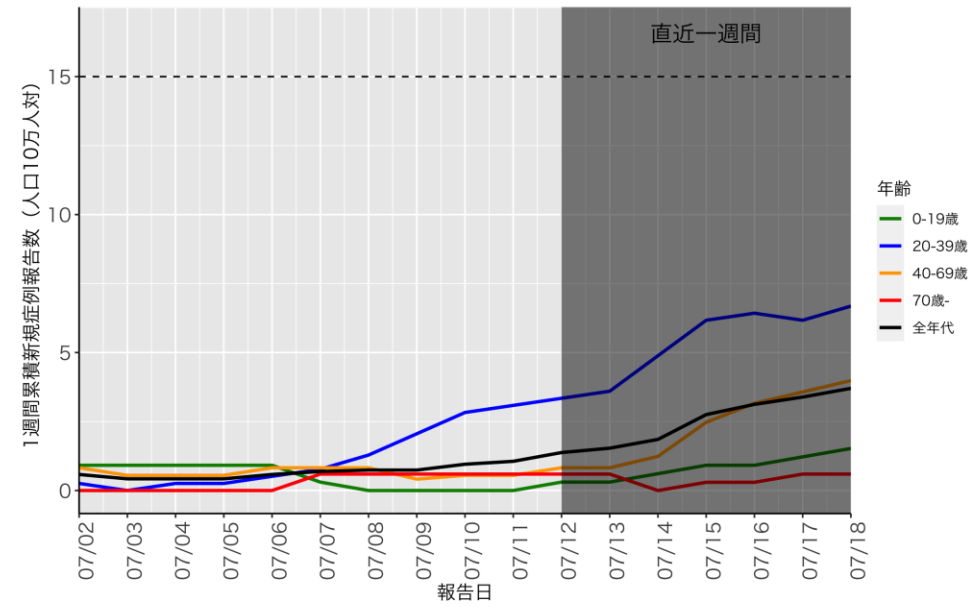
大阪 (HER-SYS)



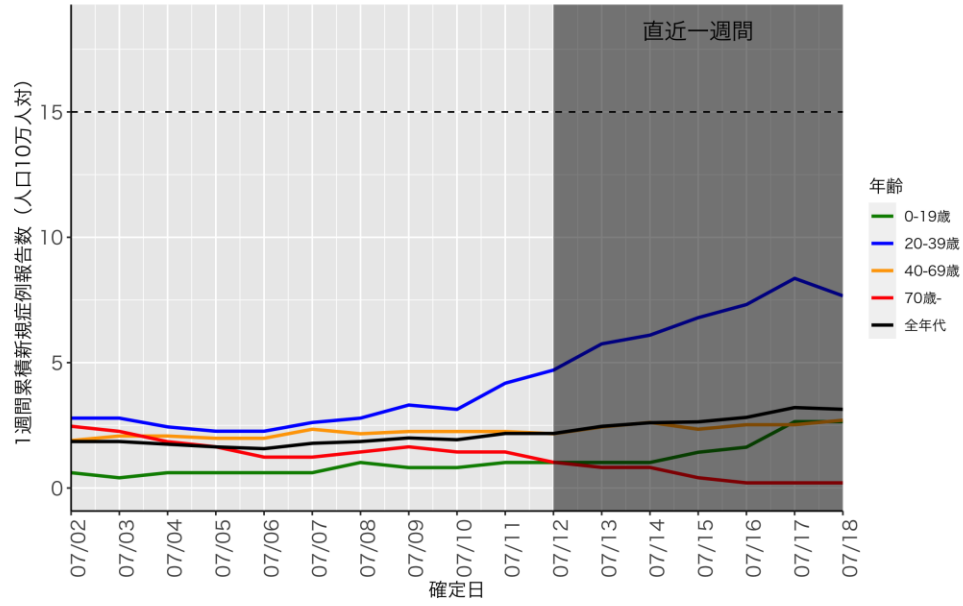
### 岡山 (HER-SYS)



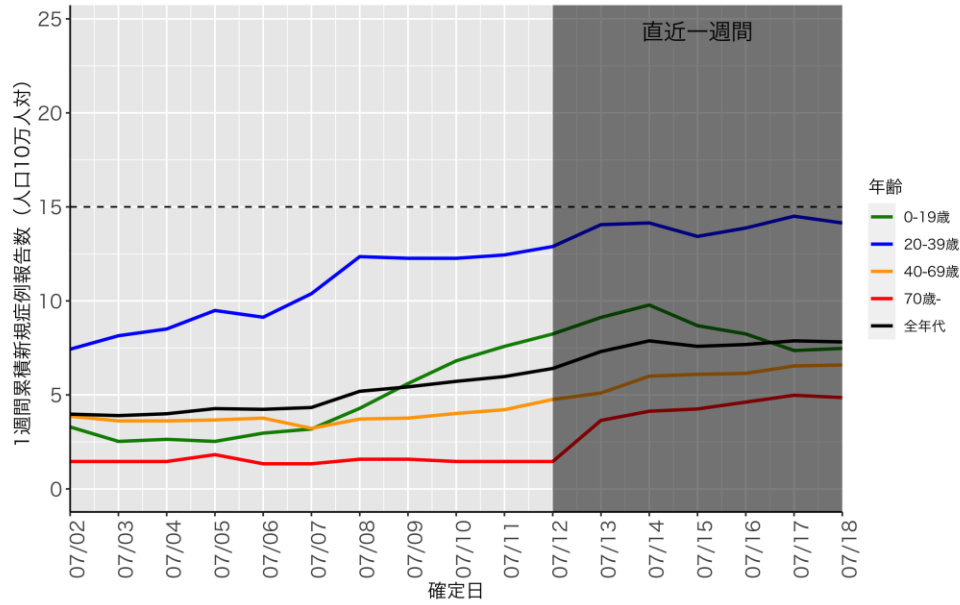
### 岡山 (自治体公開情報)



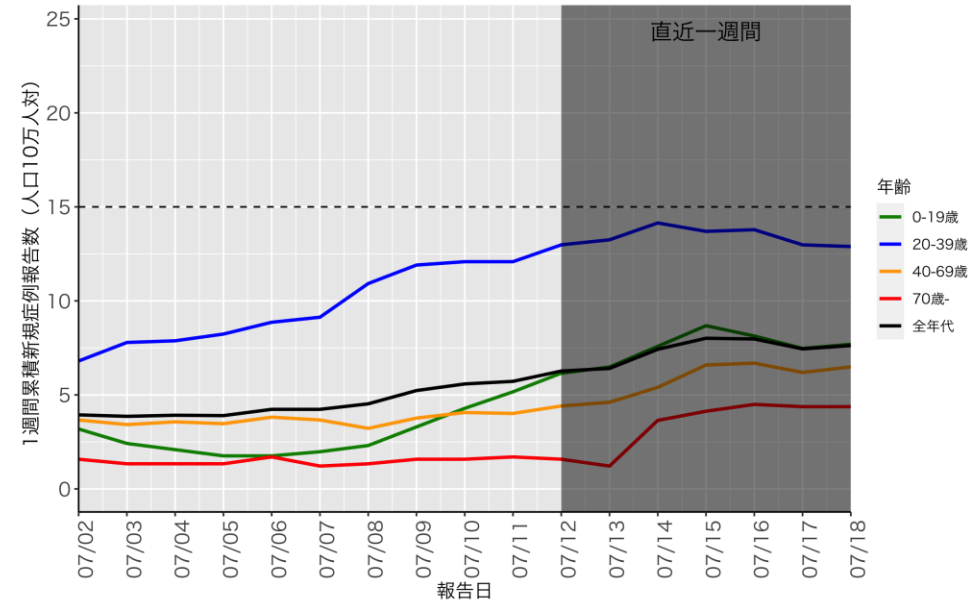
### 広島 (HER-SYS)



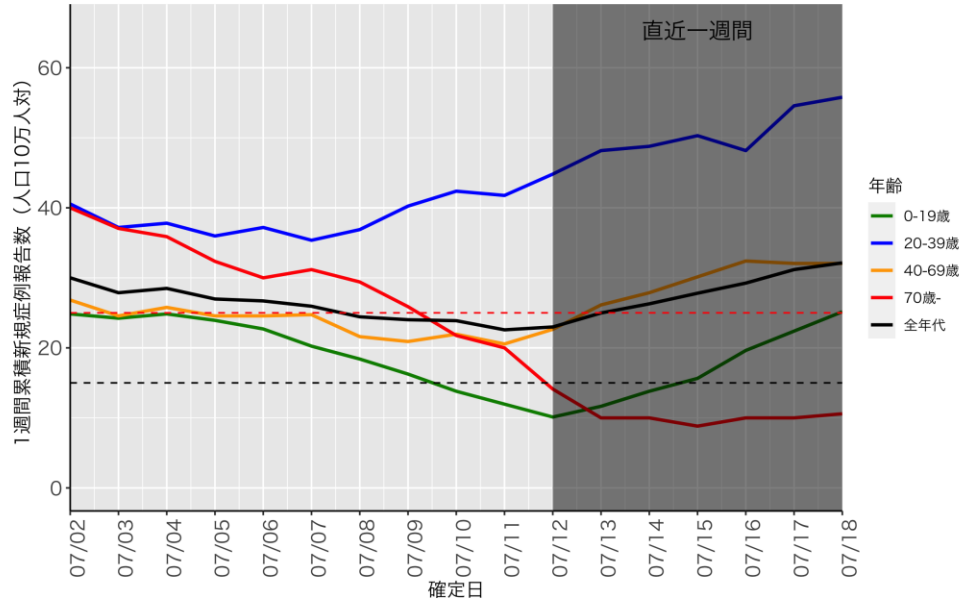
福岡 (HER-SYS)



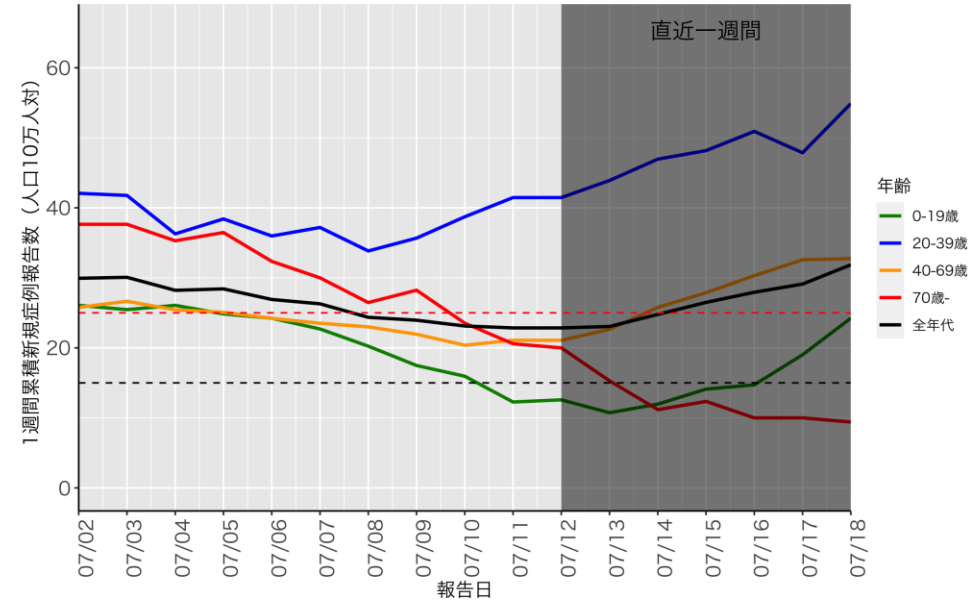
福岡 (自治体公開情報)



沖縄 (HER-SYS)



沖縄 (自治体公開情報)



# 人口10万人あたりの7日間累積新規症例報告数マップ

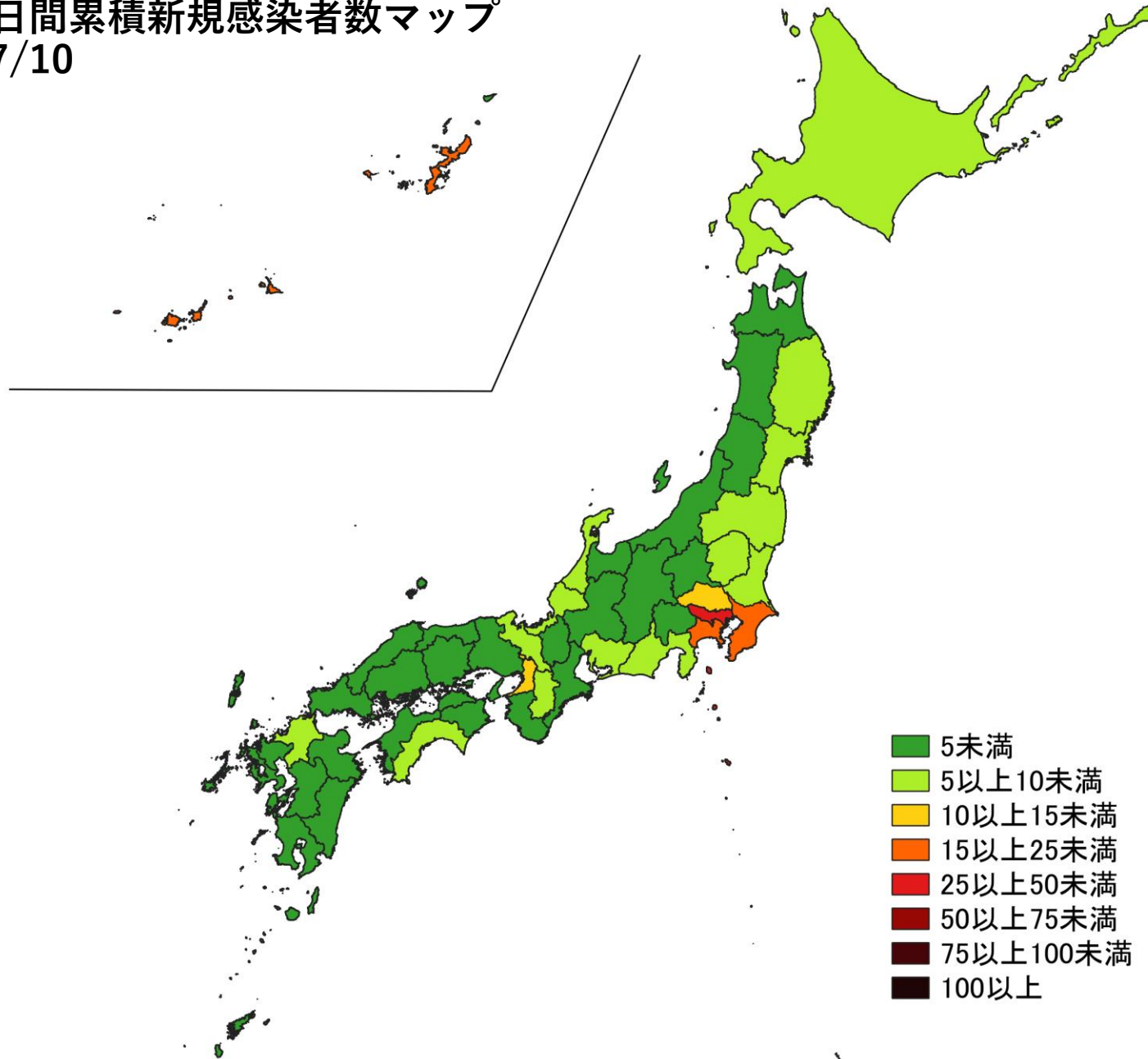
## 使用データ

- 2021年7月19日時点（7月18日公表分まで）の自治体公開情報を用いて、直近1週間（7/11～7/17）、1週間前（7/4～7/10）の人口10万人あたり7日間累積新規症例報告数（報告日）を都道府県別に図示した。
- 同様に、2021年7月19日時点のHER-SYSデータを用いて保健所管区別の分析（診断日）を行った。
- 集計は日曜日から土曜日であり、疫学週（月曜日から日曜日）とは異なる。
- **データ入力や公表の遅れを考慮し、直近1週間は参考資料とする。**

## まとめ

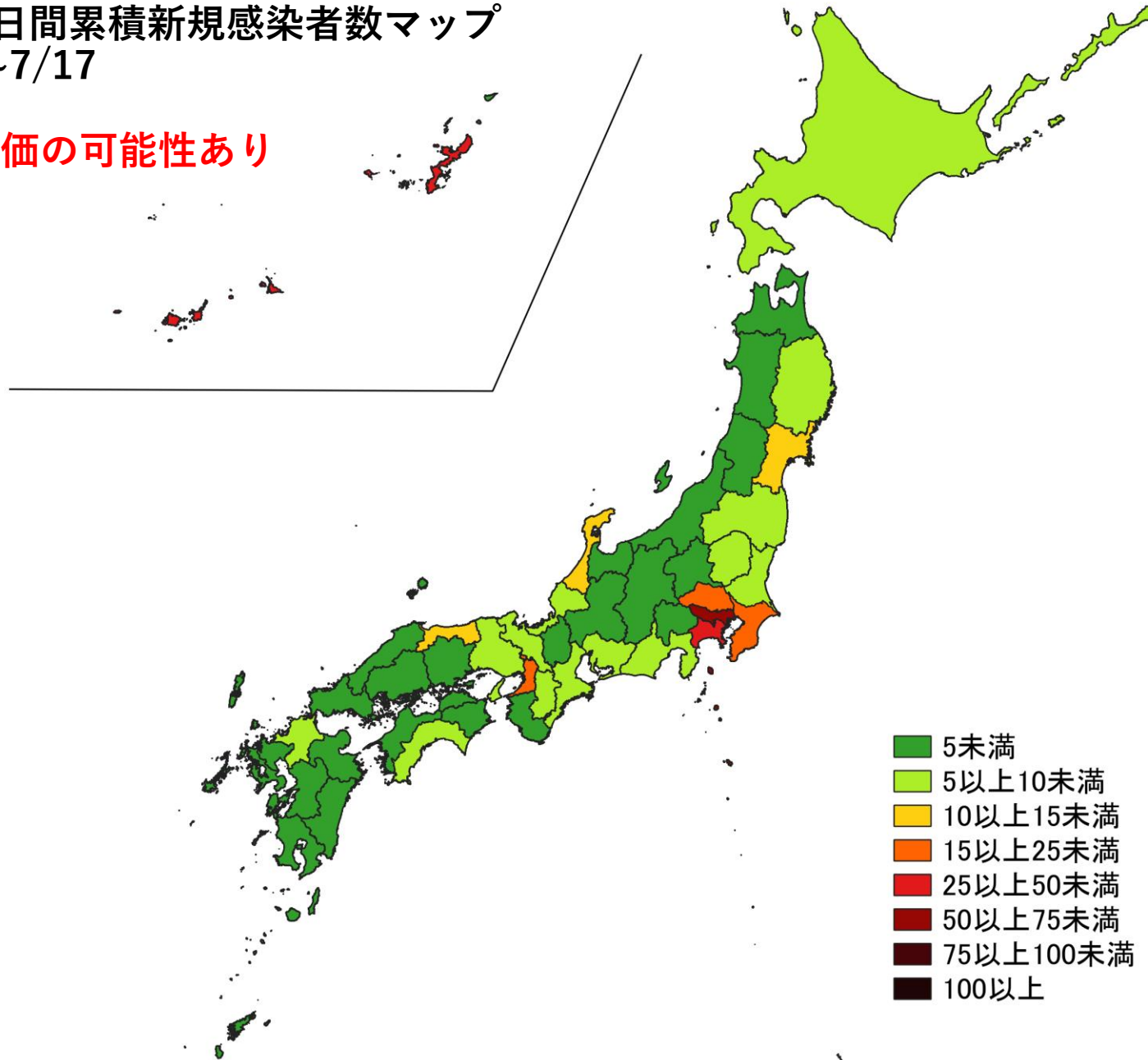
- 直近では、東京、神奈川、沖縄がステージ4相当、千葉、神奈川、大阪がステージ3相当。多くの都道府県でレベルの上昇がみられる。
- 保健所管区レベルでは、ステージ3～4相当は首都圏と大阪周辺、沖縄に集中しているものの、緊急事態宣言・まん延防止等重点措置対象の都府県以外でも散見される（一部はクラスターの発生が報告されている地域）。
- 首都圏では広範囲がステージ3～4相当で拡大傾向。東京中心部はステージ4を大きく上回るレベル。
- 北陸地方では石川県で金沢市を中心にレベルが急上昇している。
- 関西圏では大阪を中心としてステージ3～4相当の地域が拡大傾向。
- 中京圏は低いレベルが保たれているが、全体のレベルは上昇傾向。
- 沖縄はステージ3～4相当が継続。

人口10万人あたりの7日間累積新規感染者数マップ  
 都道府県単位 7/4~7/10  
 (自治体公開情報)



人口10万人あたりの7日間累積新規感染者数マップ  
 都道府県単位 7/11~7/17  
 (自治体公開情報)

公表遅れによる過小評価の可能性あり

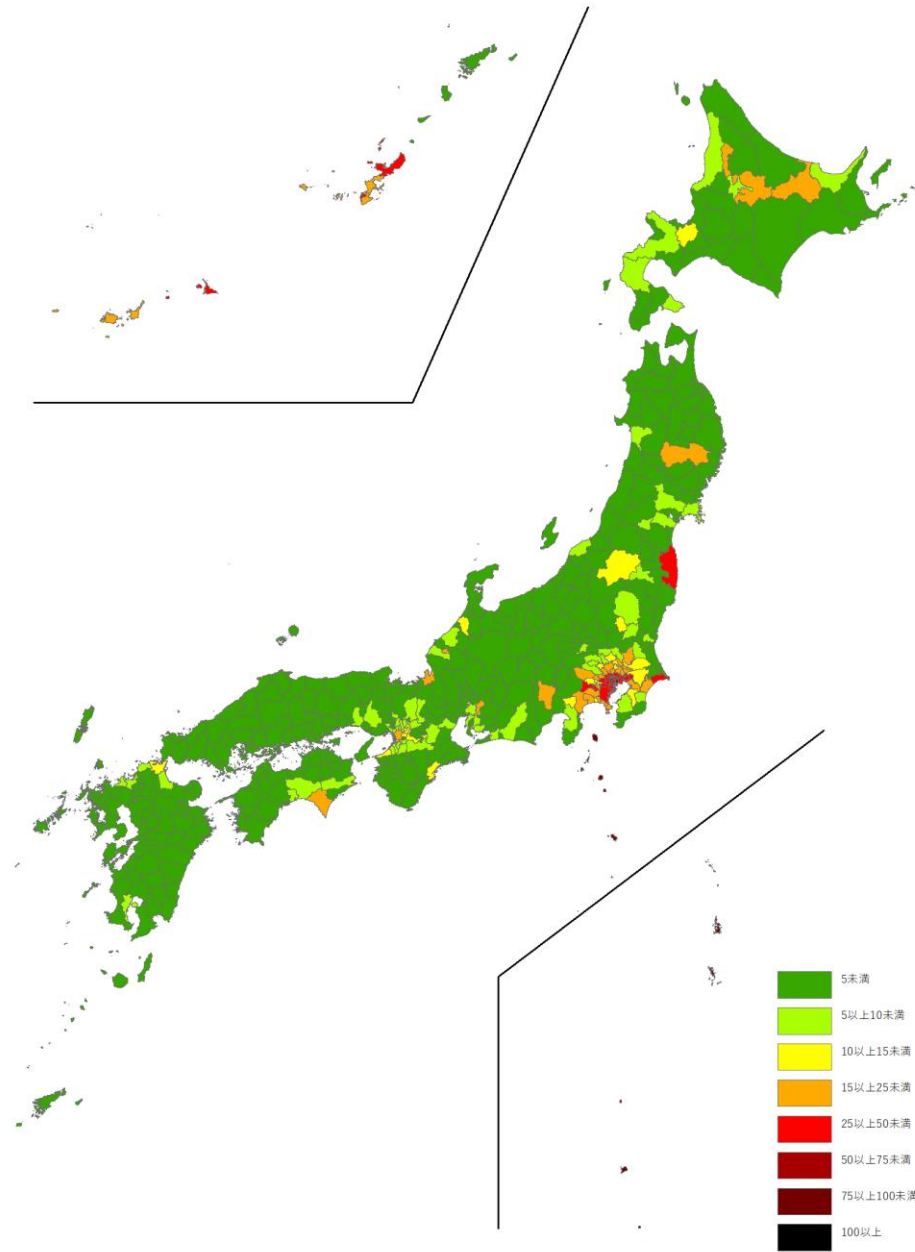




# 人口10万人あたりの7日間累積新規感染者数マップ

## 都道府県単位 7/4~7/10

(自治体公開情報)



### ステージ4相当の保健所管区\*

- 福島県相双保健所

### ステージ3相当の保健所管区\*

- 北海道上川保健所
- 北海道北見保健所
- 岩手県中部保健所
- 茨城県つくば保健所
- 福井県二州保健所
- 福井県福井保健所
- 山梨県峡南保健所
- 愛知県瀬戸保健所
- 高知県安芸福祉保健所

\*緊急事態宣言・まん延防止等重点措置対象都府県を除く

# 人口10万人あたりの7日間累積新規感染者数マップ

都道府県単位 7/11~7/17

(自治体公開情報) 公表遅れによる過小評価の可能性あり

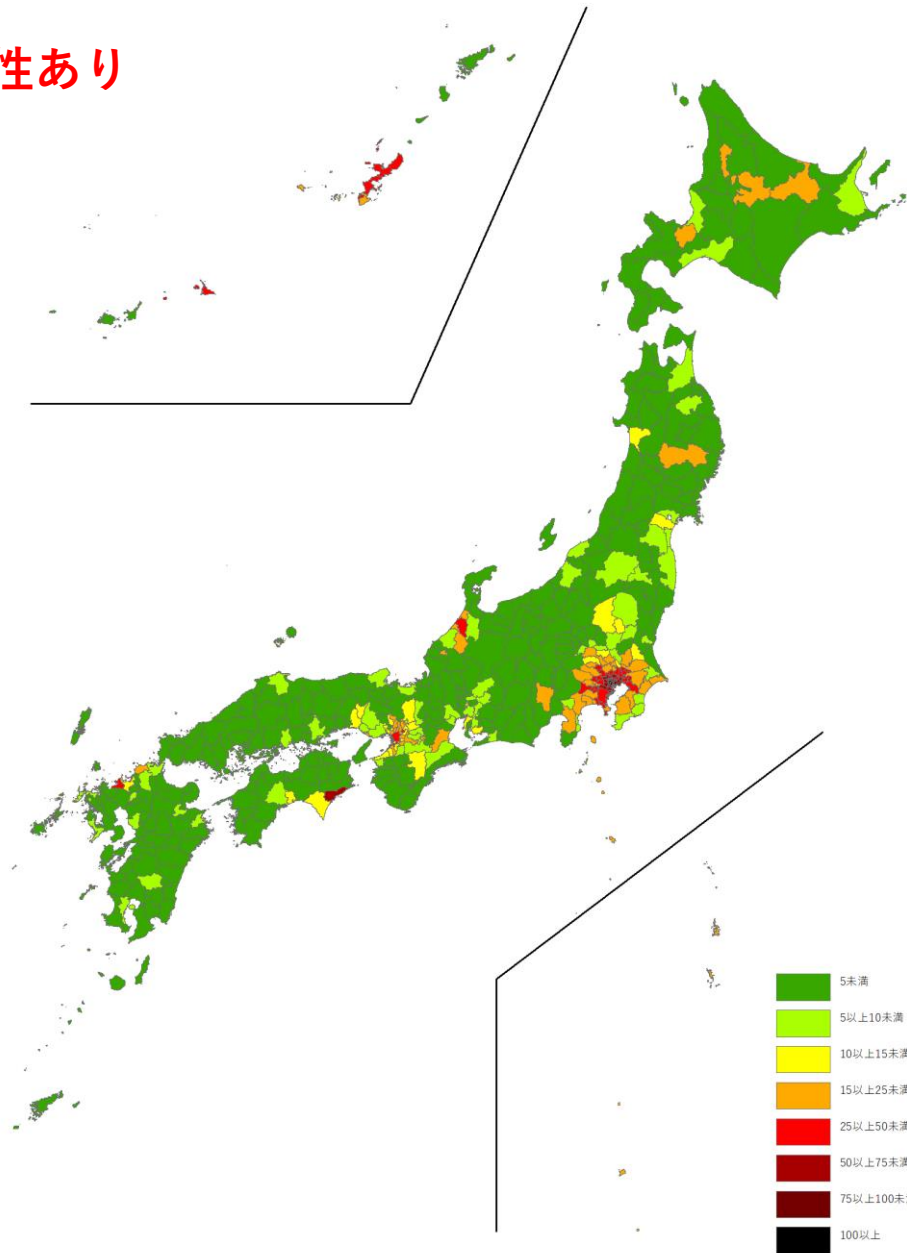
## ステージ4相当の保健所管区\*

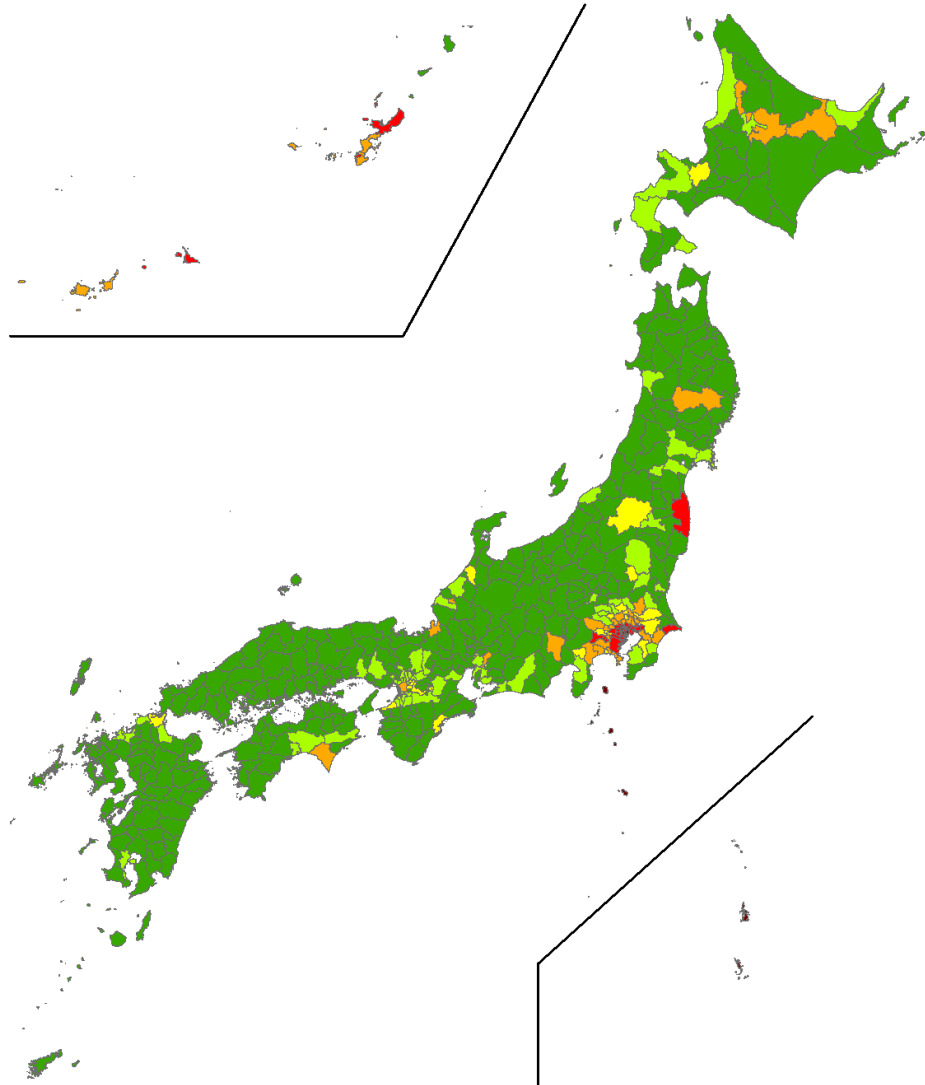
- ・ 石川県金沢市保健所
- ・ 徳島県美波保健所
- ・ 福岡県糸島保健福祉事務所

## ステージ3相当の保健所管区\*

- ・ 北海道札幌市保健所
- ・ 北海道上川保健所
- ・ 北海道北見保健所
- ・ 岩手県中部保健所
- ・ 茨城県竜ヶ崎保健所
- ・ 茨城県つくば保健所
- ・ 石川県石川中央保健所
- ・ 福井県福井保健所
- ・ 山梨県峡南保健所
- ・ 静岡県東部保健所
- ・ 三重県津保健所
- ・ 兵庫県尼崎市保健所
- ・ 兵庫県あかし保健所
- ・ 兵庫県芦屋保健所
- ・ 奈良県郡山保健所
- ・ 福岡県宗像・遠賀保健福祉環境事務所

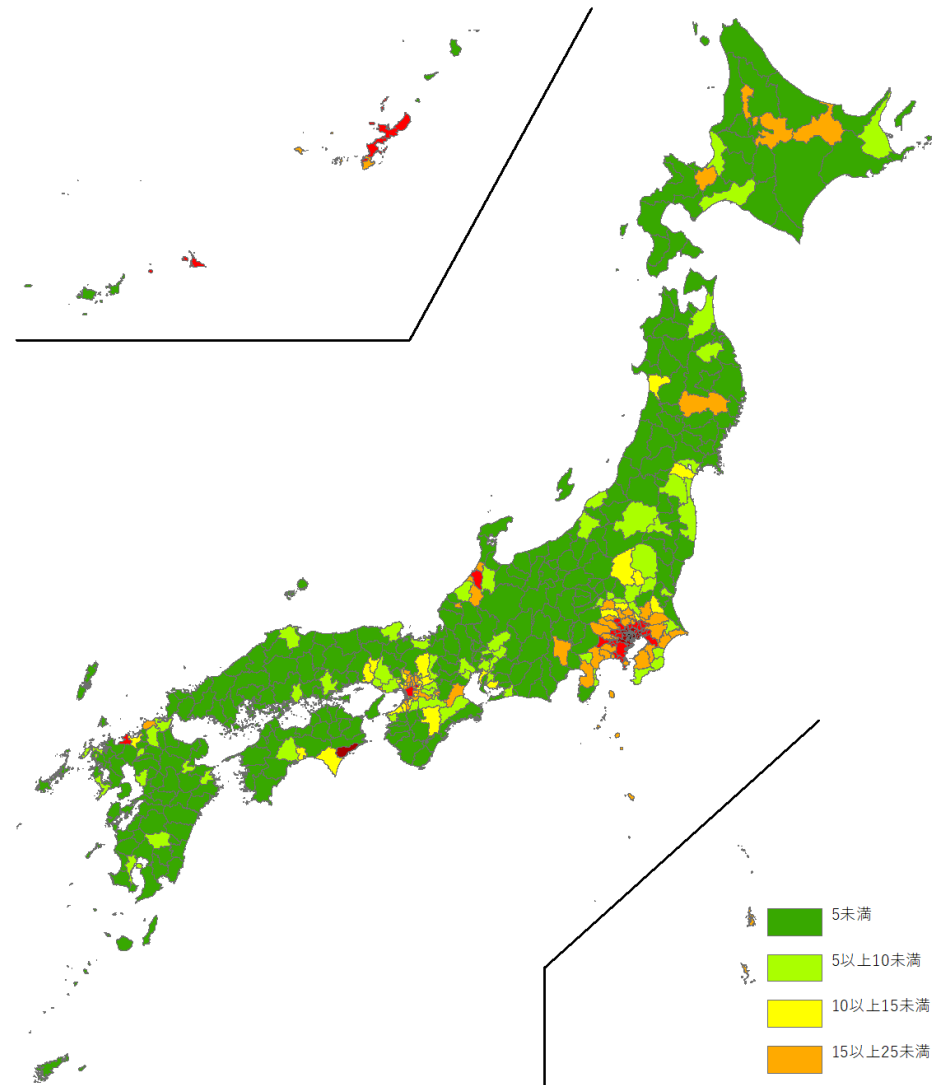
\*緊急事態宣言・まん延防止等重点措置対象都府県を除く





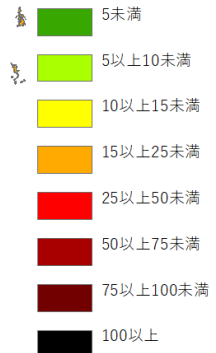
7/4~7/10

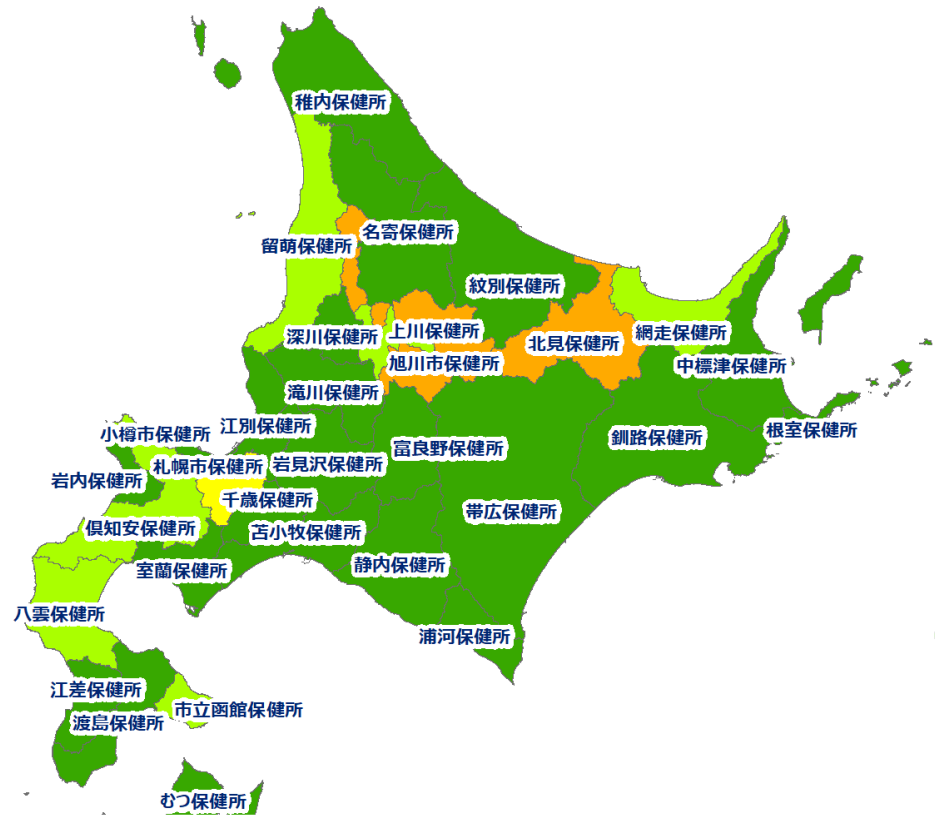
人口10万人あたりの7日間累積新規症例報告数マップ  
保健所単位 (HER-SYS情報)



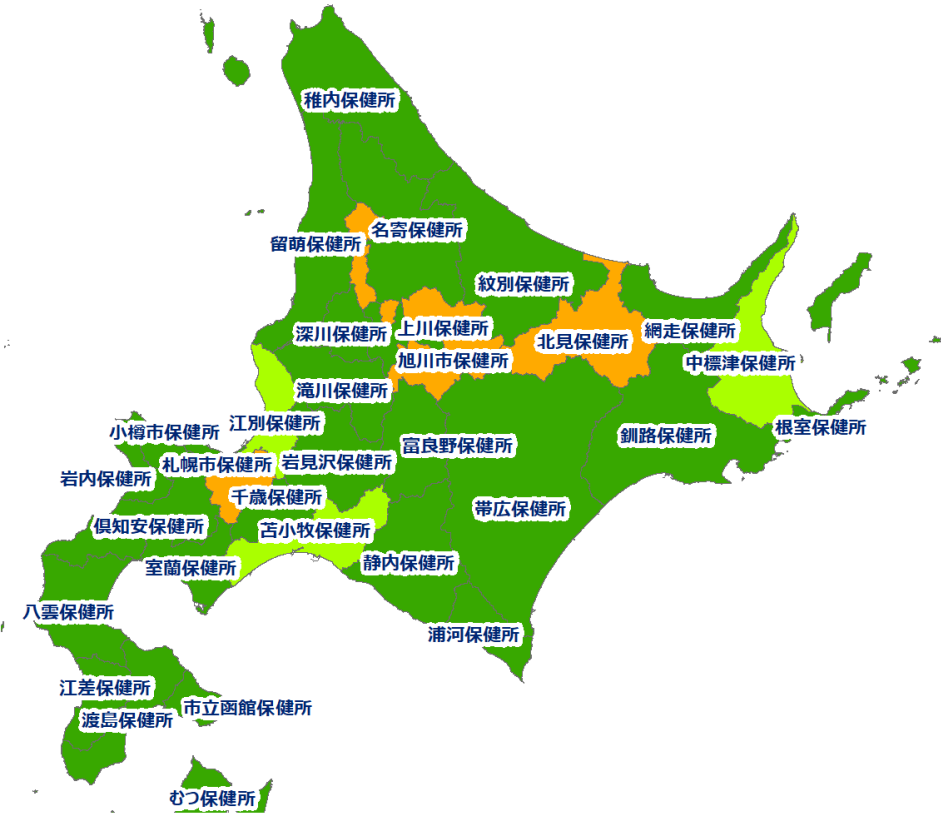
7/11~7/17

入力遅れによる  
過小評価の可能性あり



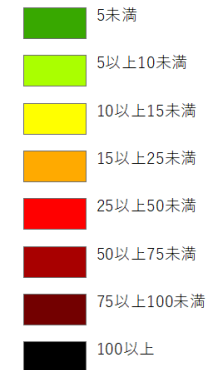


7/4~7/10

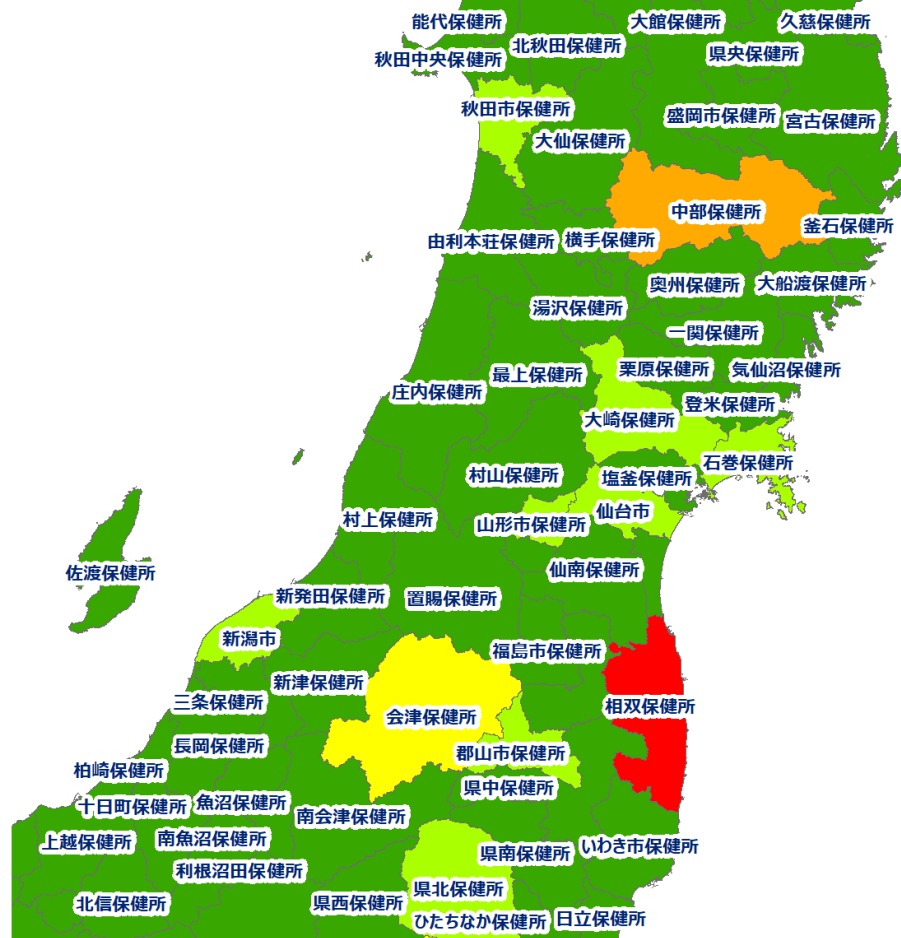


7/11~7/17

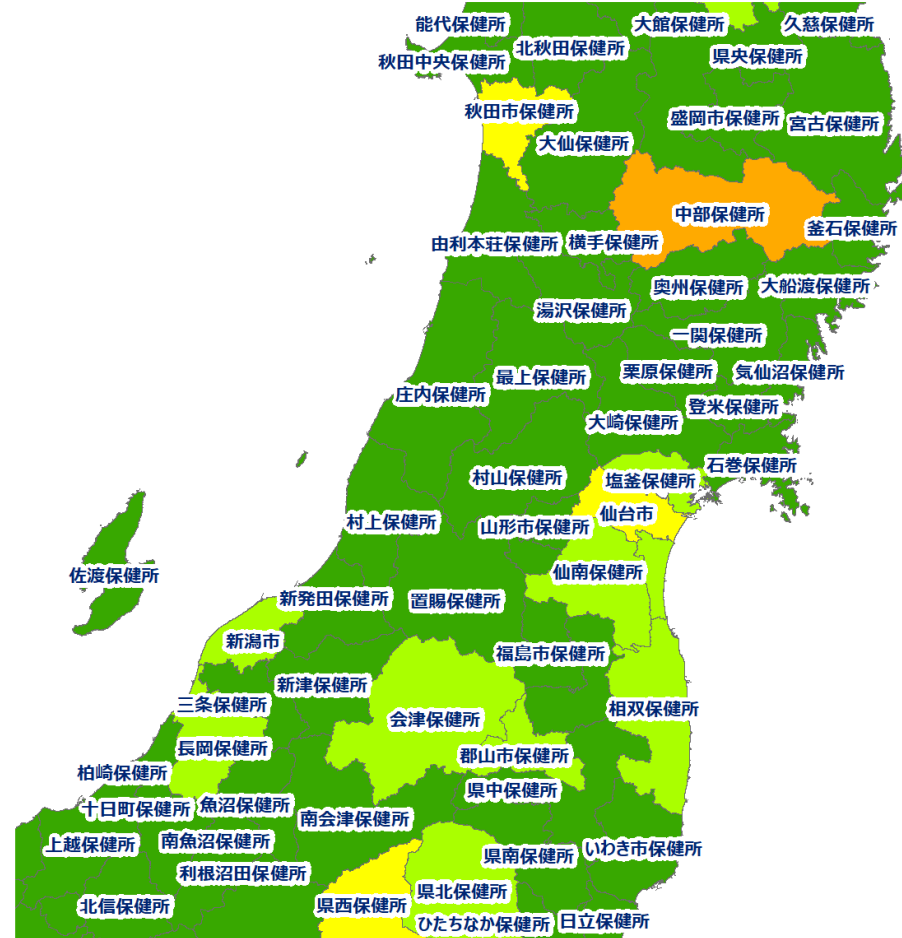
入力遅れによる  
過小評価の可能性あり



人口10万人あたりの7日間累積新規症例報告数マップ  
北海道 (HER-SYS情報)

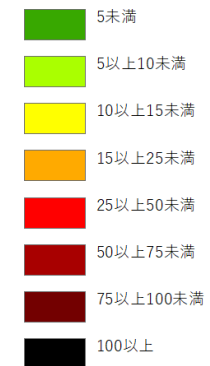


7/4~7/10

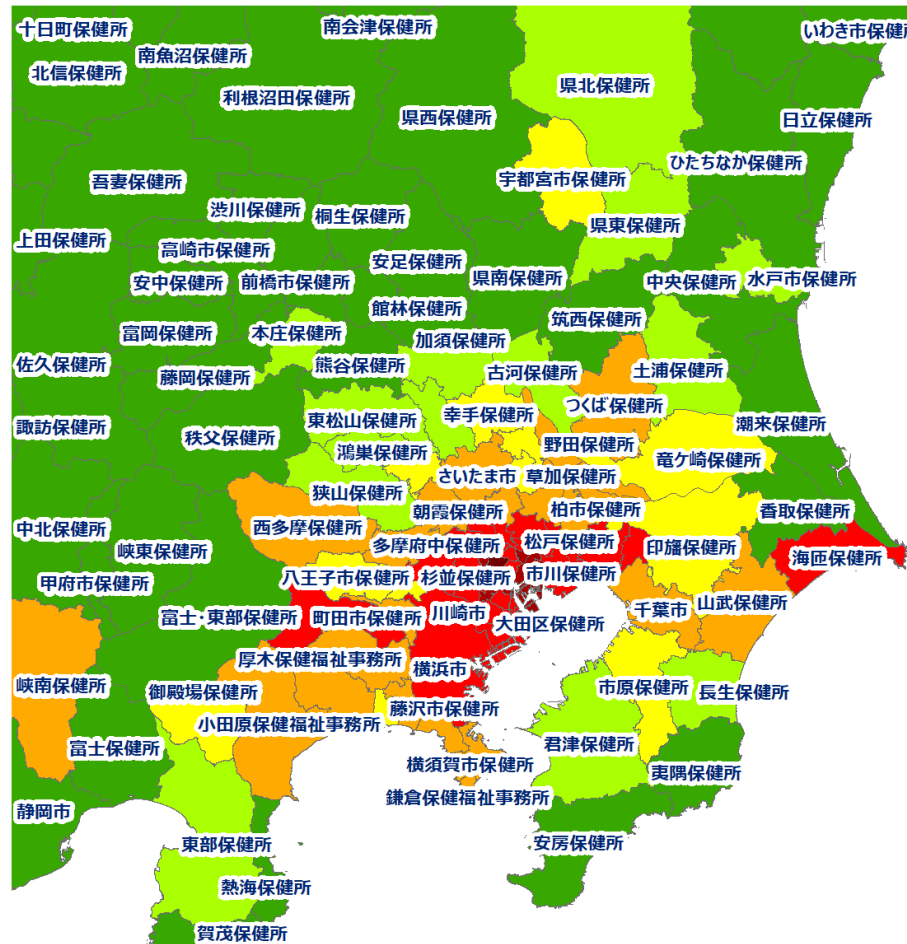


7/11~7/17

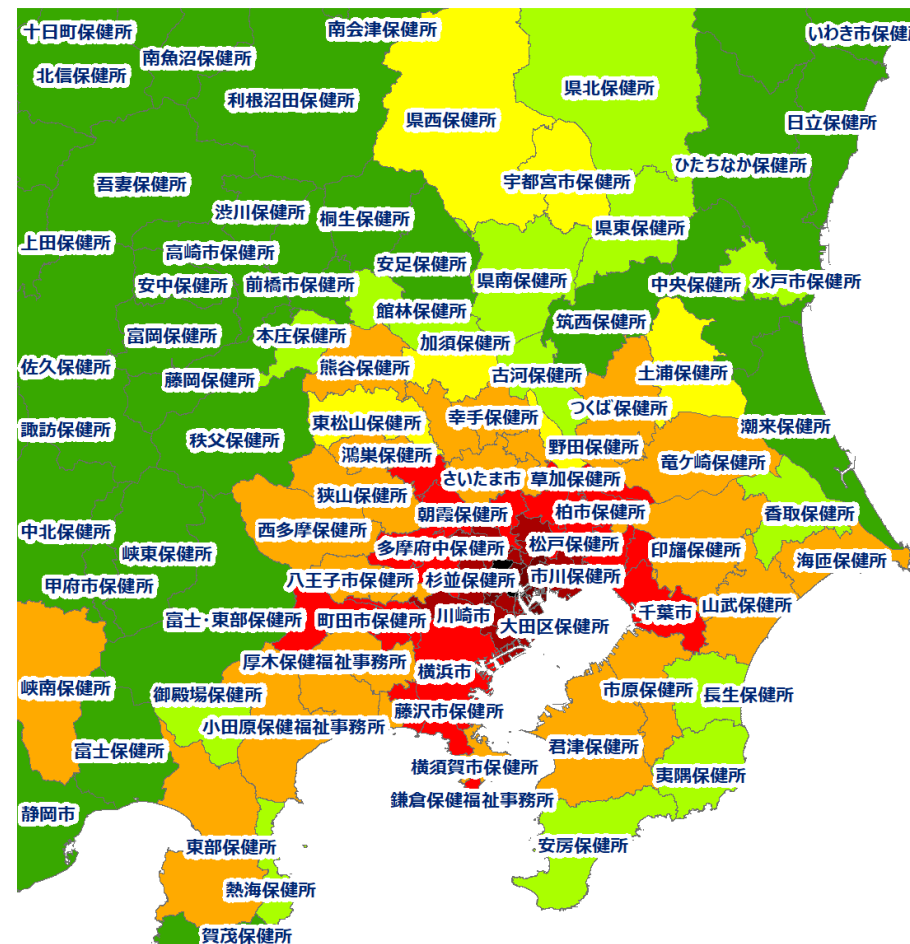
入力遅れによる  
過小評価の可能性あり



人口10万人あたりの7日間累積新規症例報告数マップ  
東北地域 (HER-SYS情報)

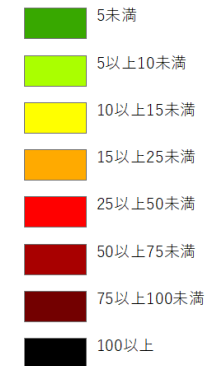


7/4~7/10

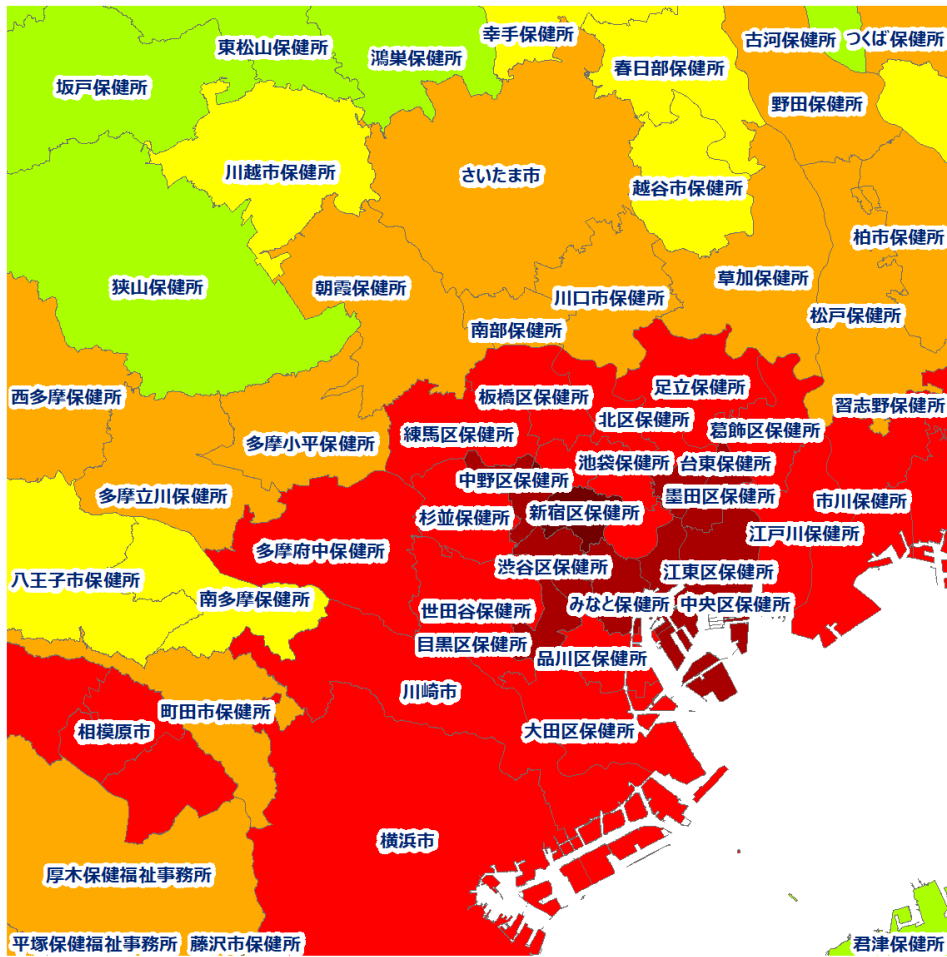


7/11~7/17

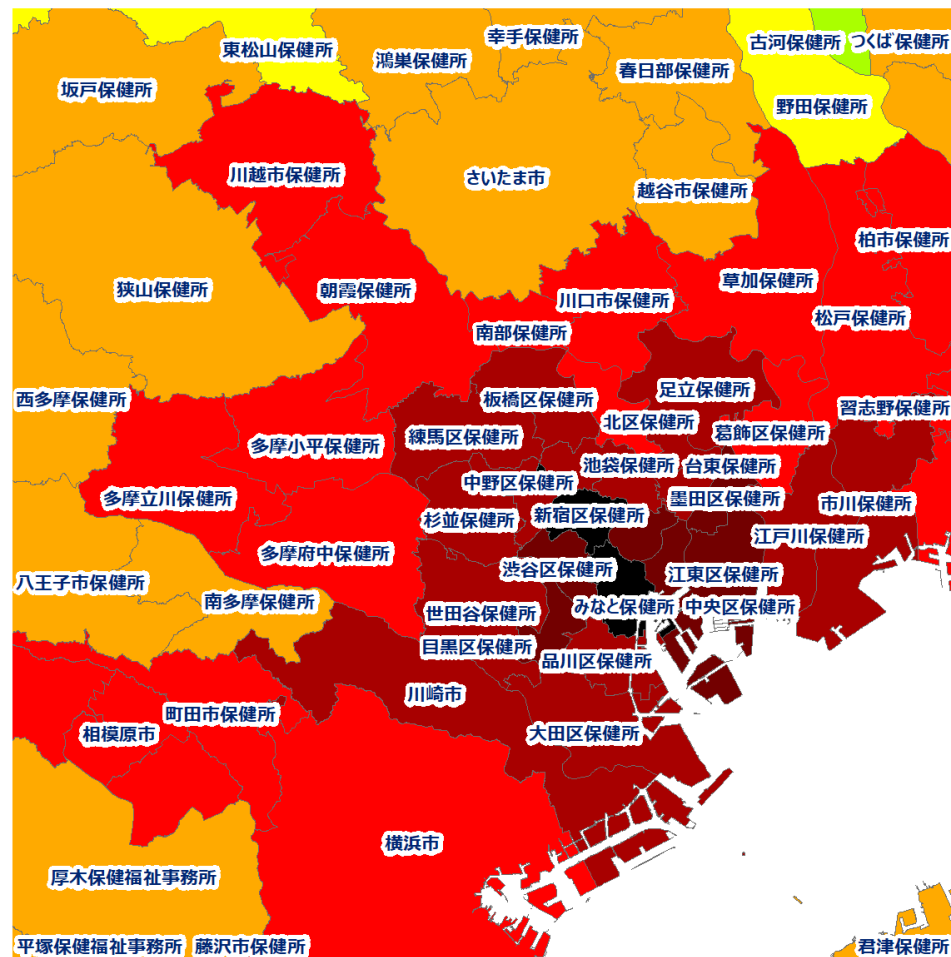
入力遅れによる  
過小評価の可能性あり



人口10万人あたりの7日間累積新規症例報告数マップ  
首都圏（HER-SYS情報）

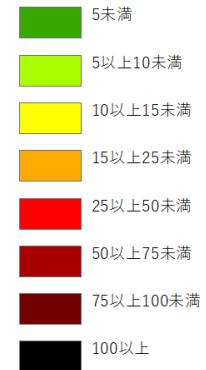


7/4~7/10

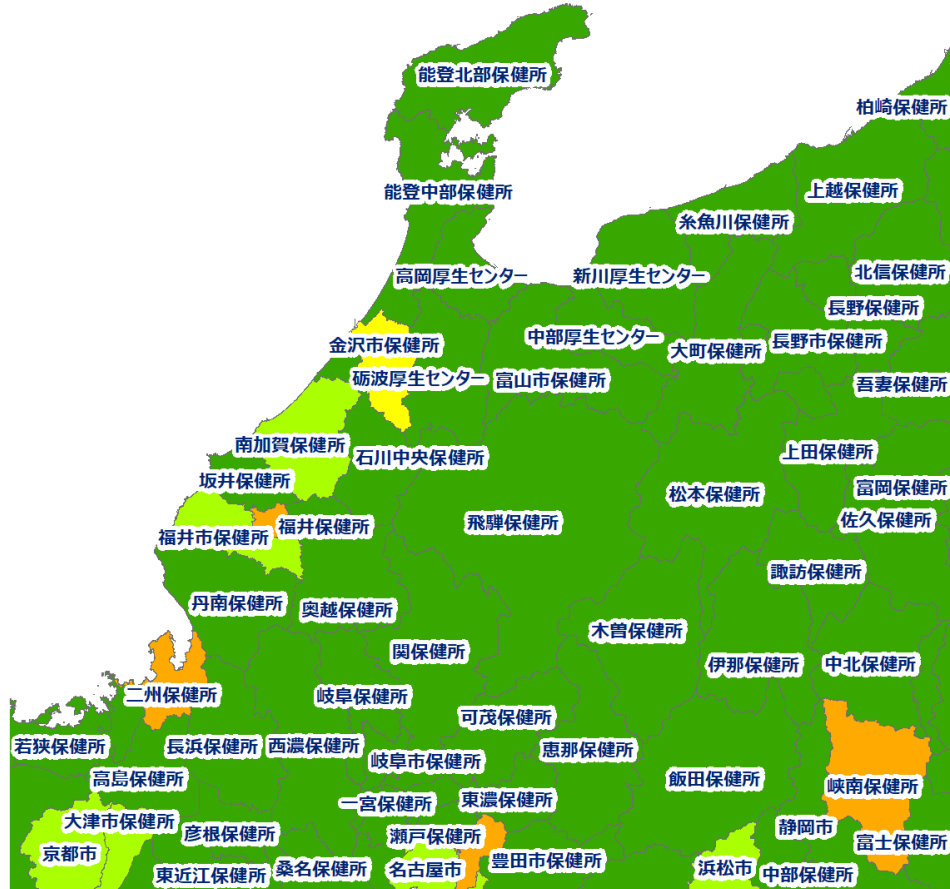


7/11~7/17

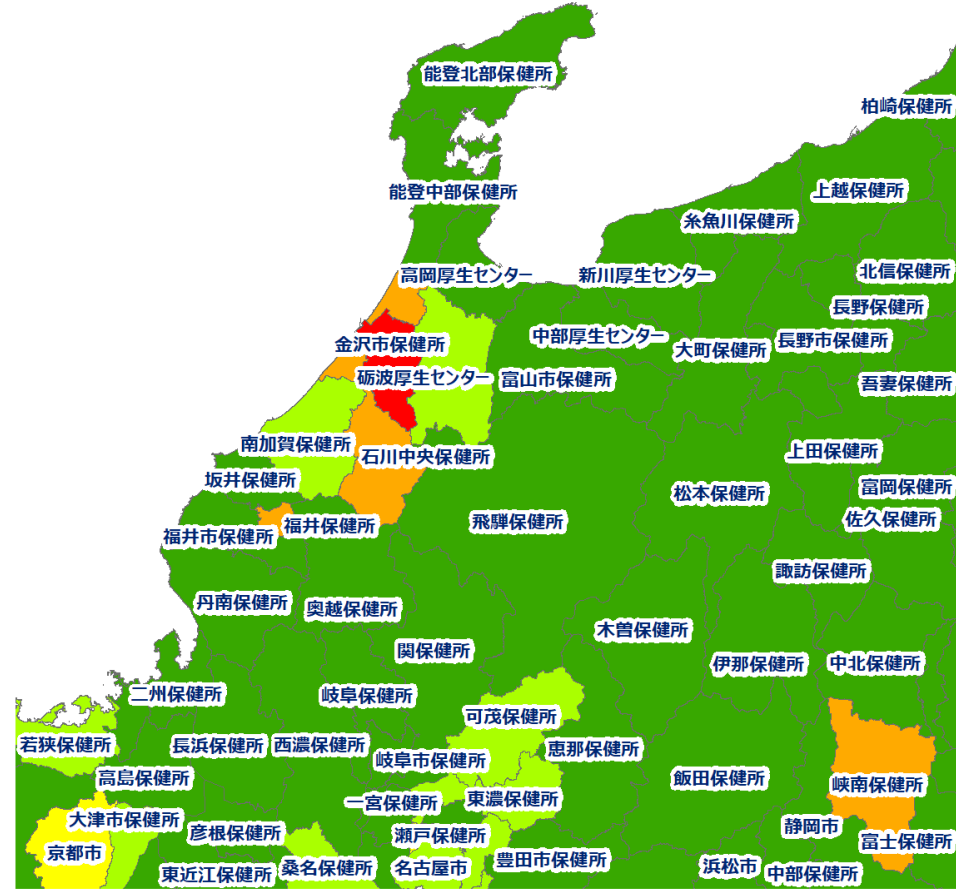
入力遅れによる  
過小評価の可能性あり



人口10万人あたりの7日間累積新規症例報告数マップ  
東京周辺（HER-SYS情報）

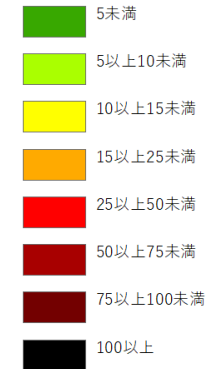


7/4~7/10



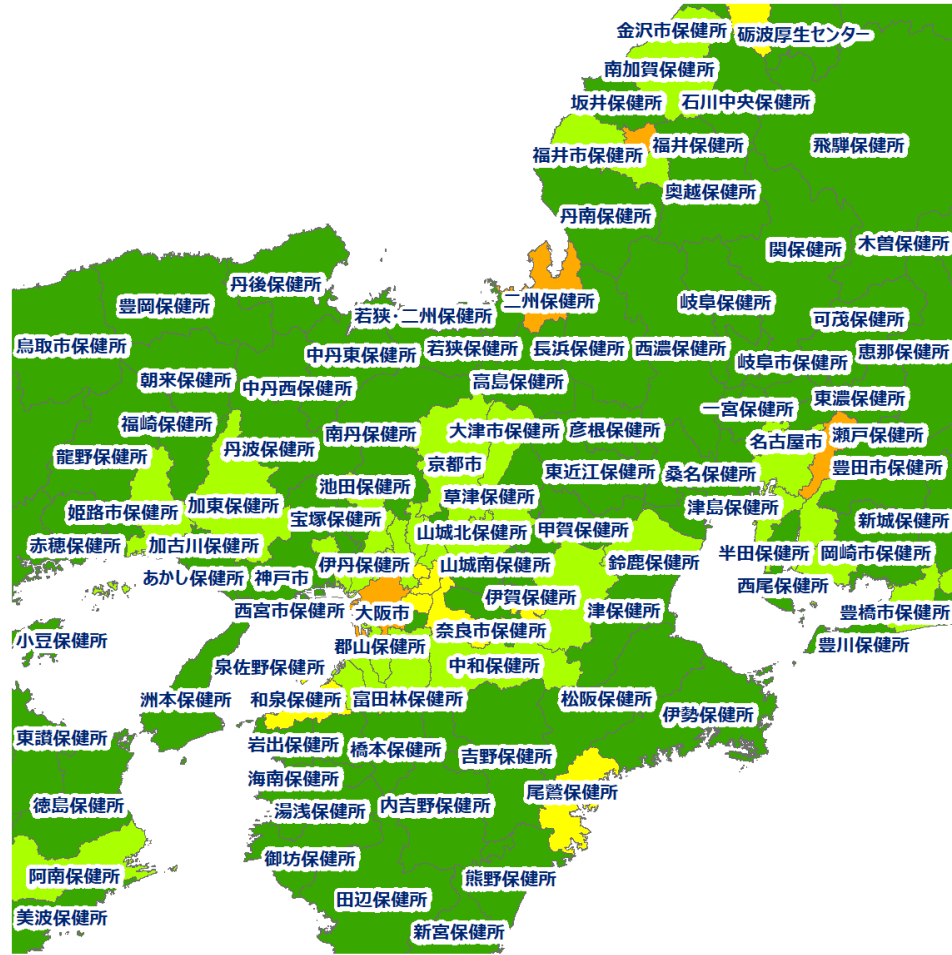
7/11~7/17

入力遅れによる  
過小評価の可能性あり

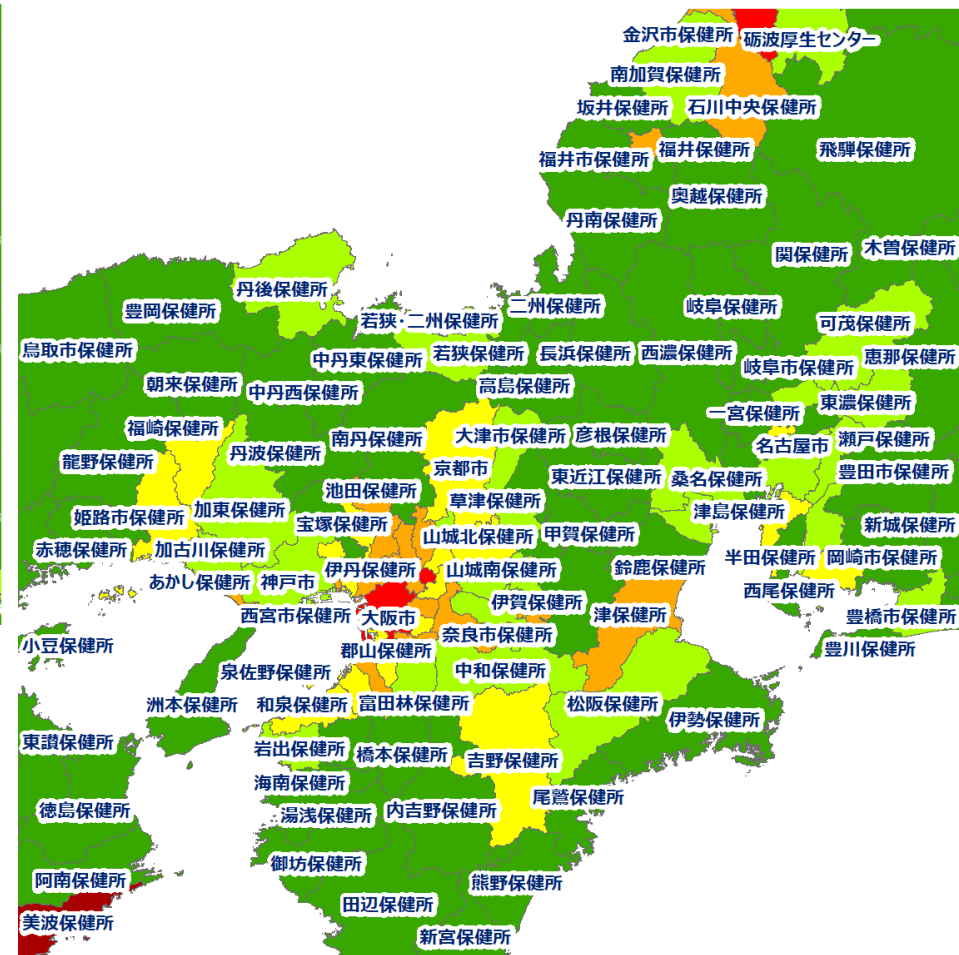


人口10万人あたりの7日間累積新規症例報告数マップ  
北陸・中部地域（HER-SYS情報）



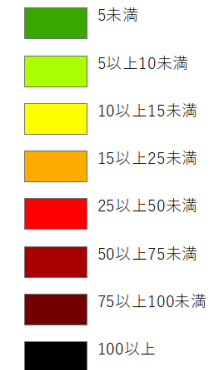


7/4~7/10

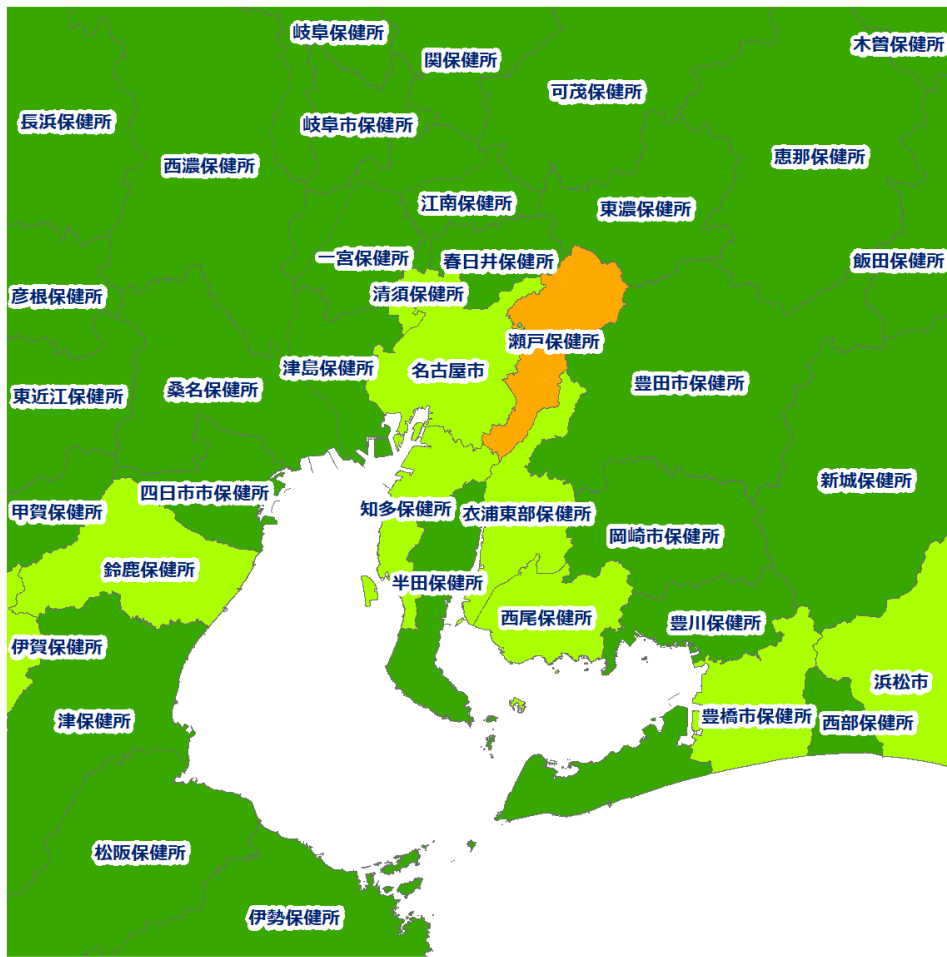


7/11~7/17

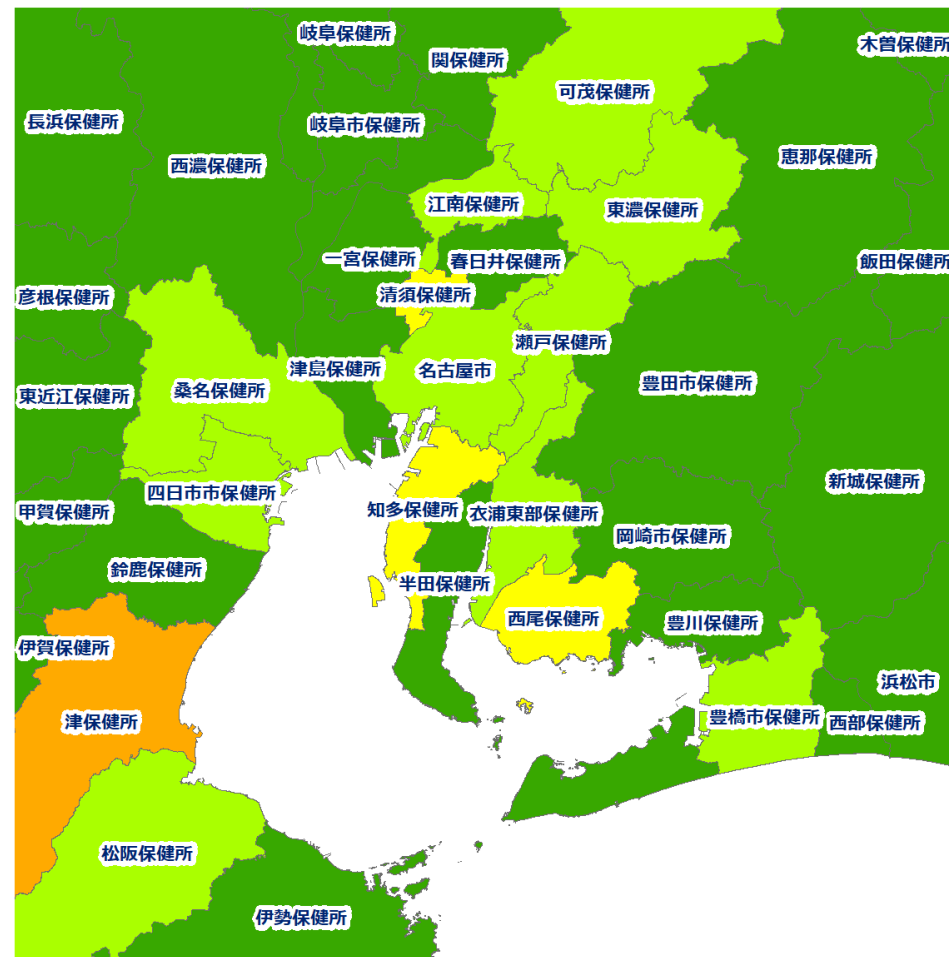
入力遅れによる  
過小評価の可能性あり



人口10万人あたりの7日間累積新規症例報告数マップ  
関西・中京圏 (HER-SYS情報)

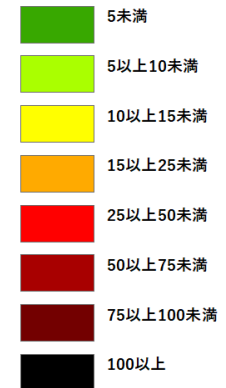


7/4~7/10

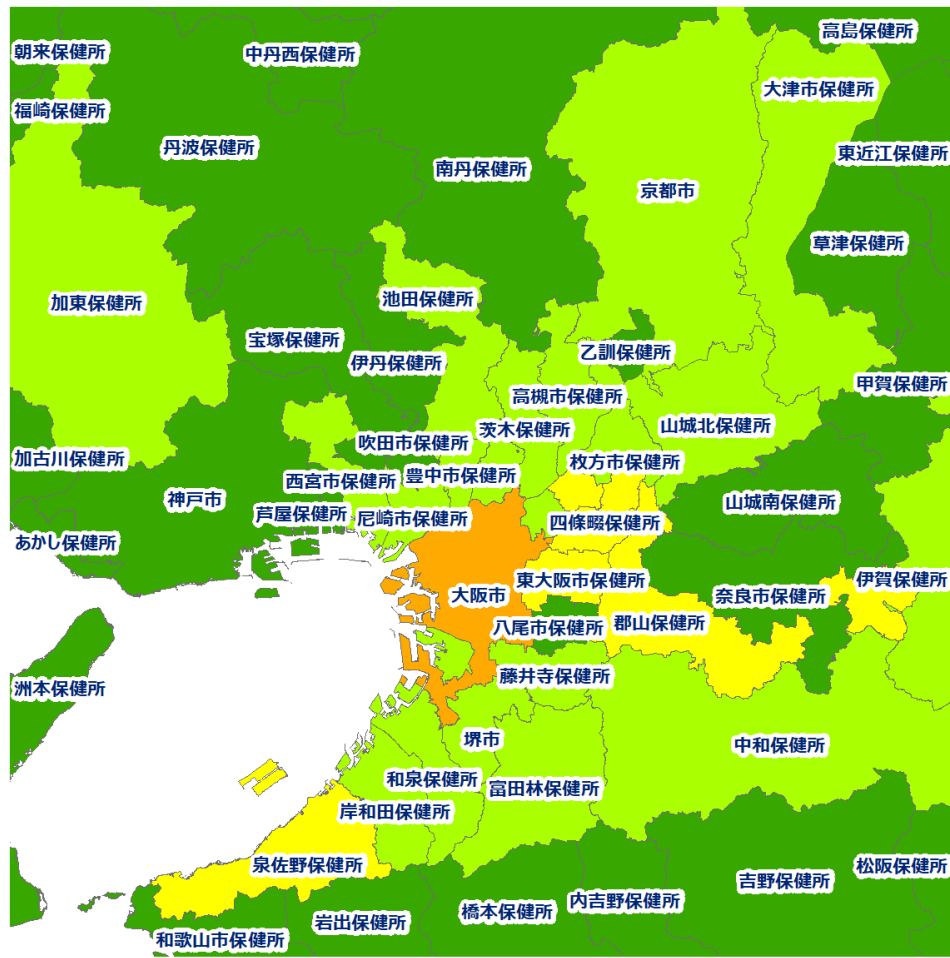


7/11~7/17

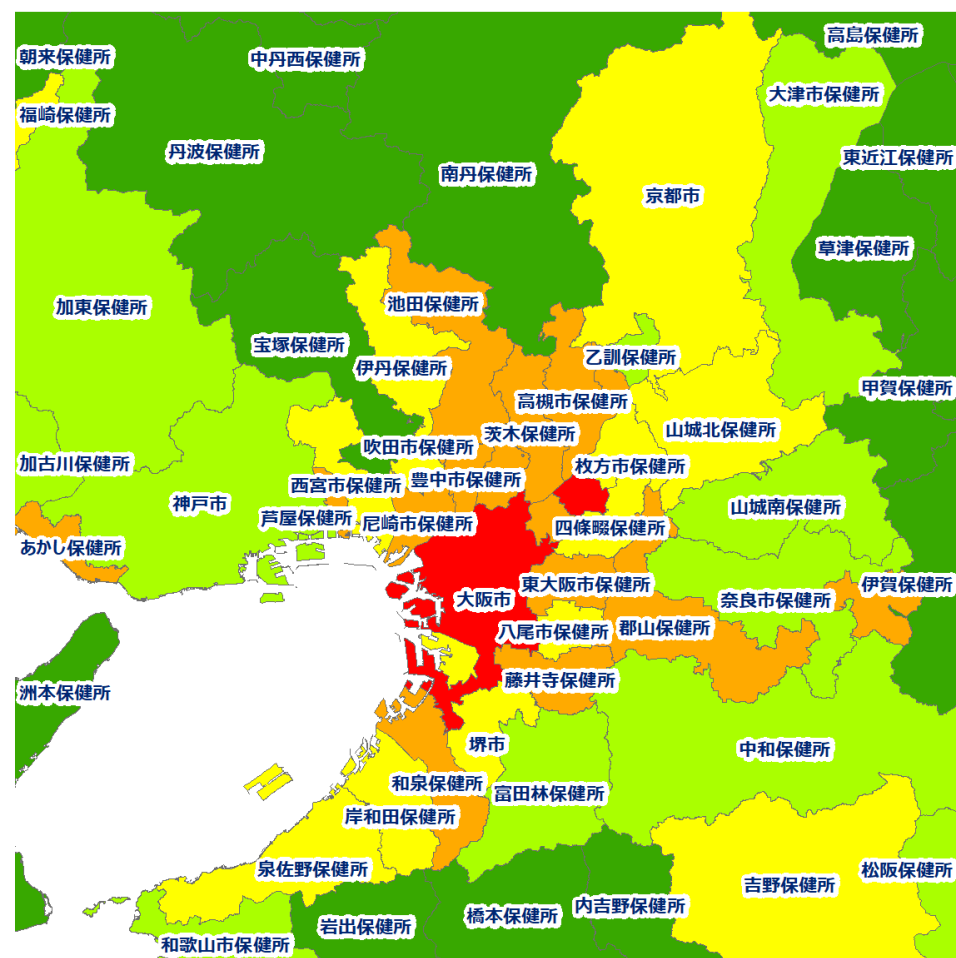
入力遅れによる  
過小評価の可能性あり



人口10万人あたりの7日間累積新規症例報告数マップ  
名古屋周辺（HER-SYS情報）

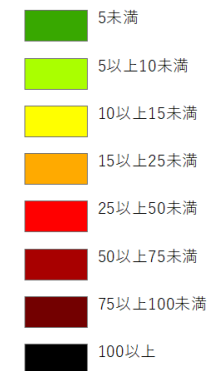


7/4~7/10

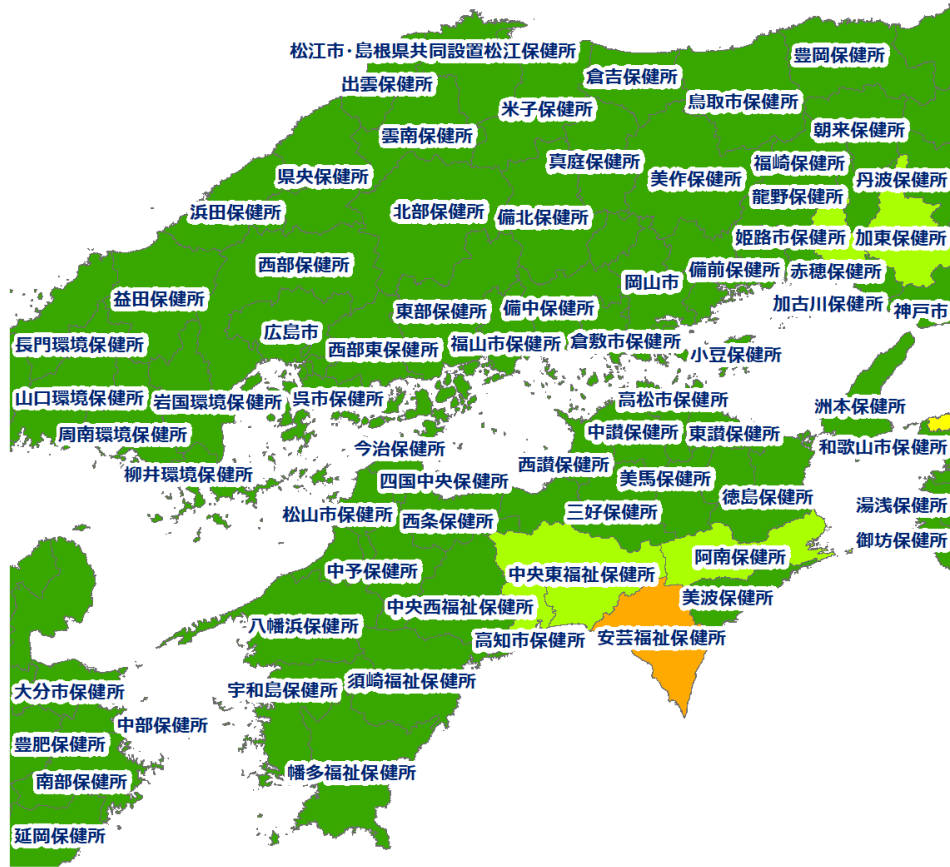


7/11~7/17

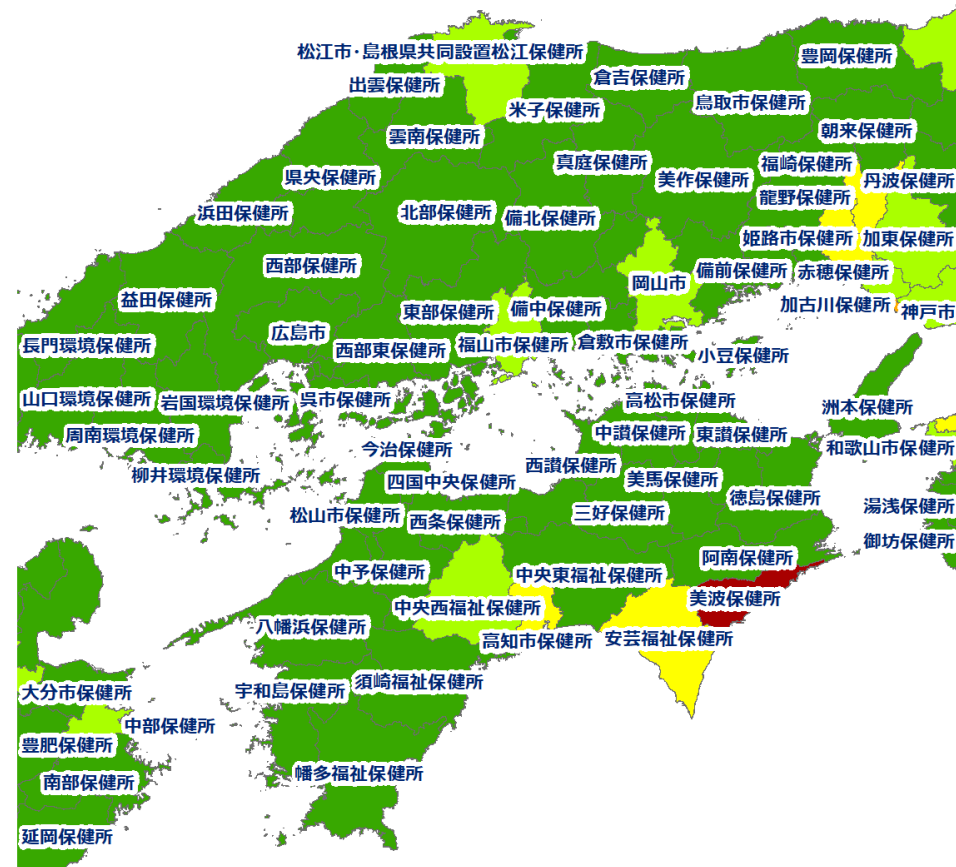
入力遅れによる  
過小評価の可能性あり



人口10万人あたりの7日間累積新規症例報告数マップ  
大阪周辺 (HER-SYS情報)

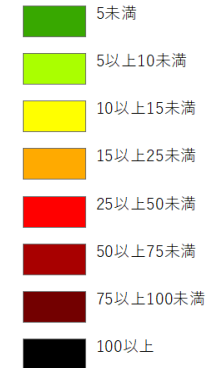


7/4~7/10

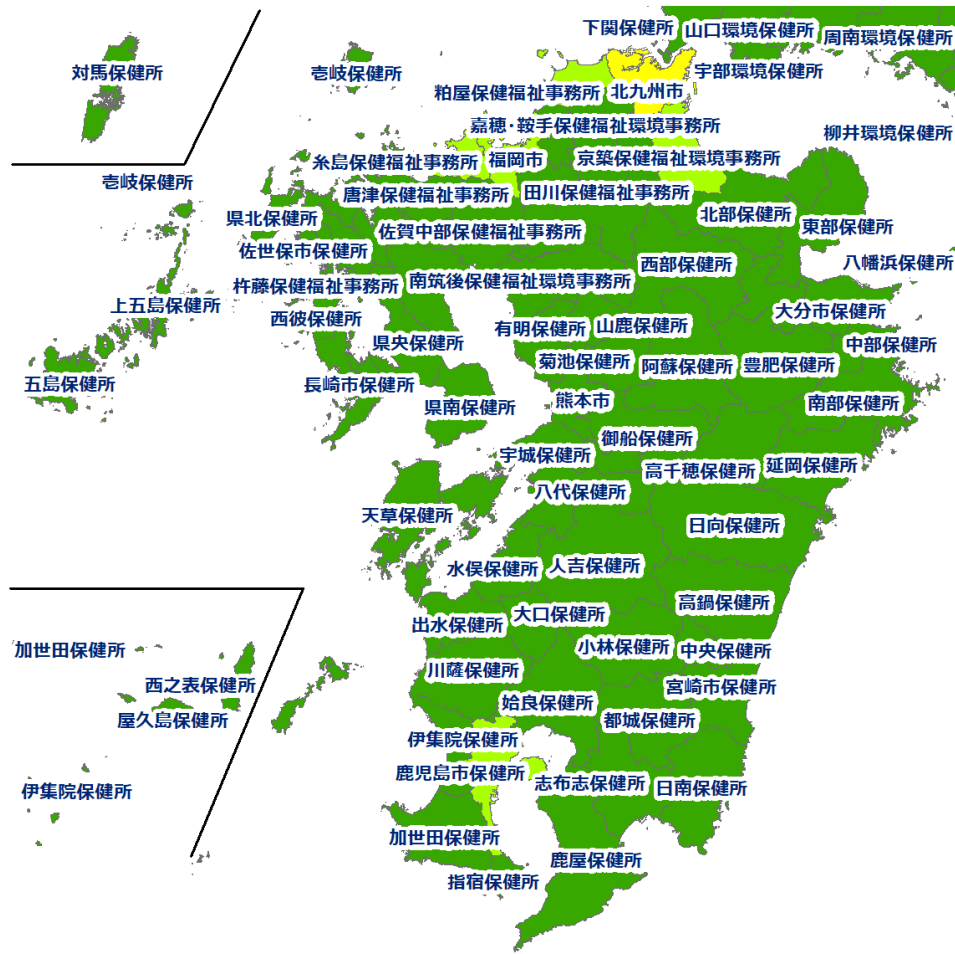


7/11~7/17

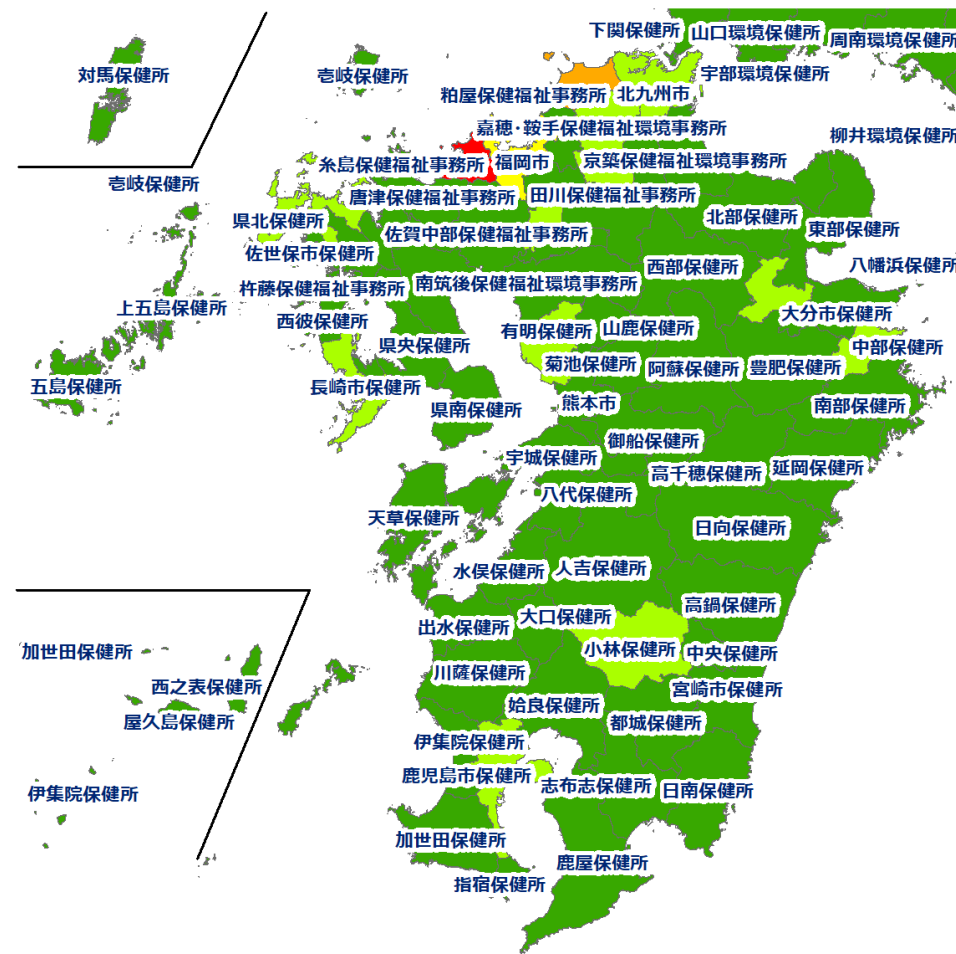
入力遅れによる  
過小評価の可能性あり



人口10万人あたりの7日間累積新規症例報告数マップ  
中国・四国地域（HER-SYS情報）

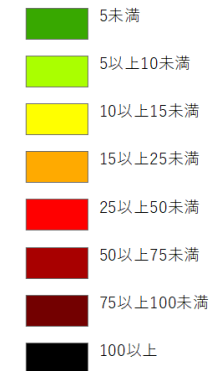


7/4~7/10

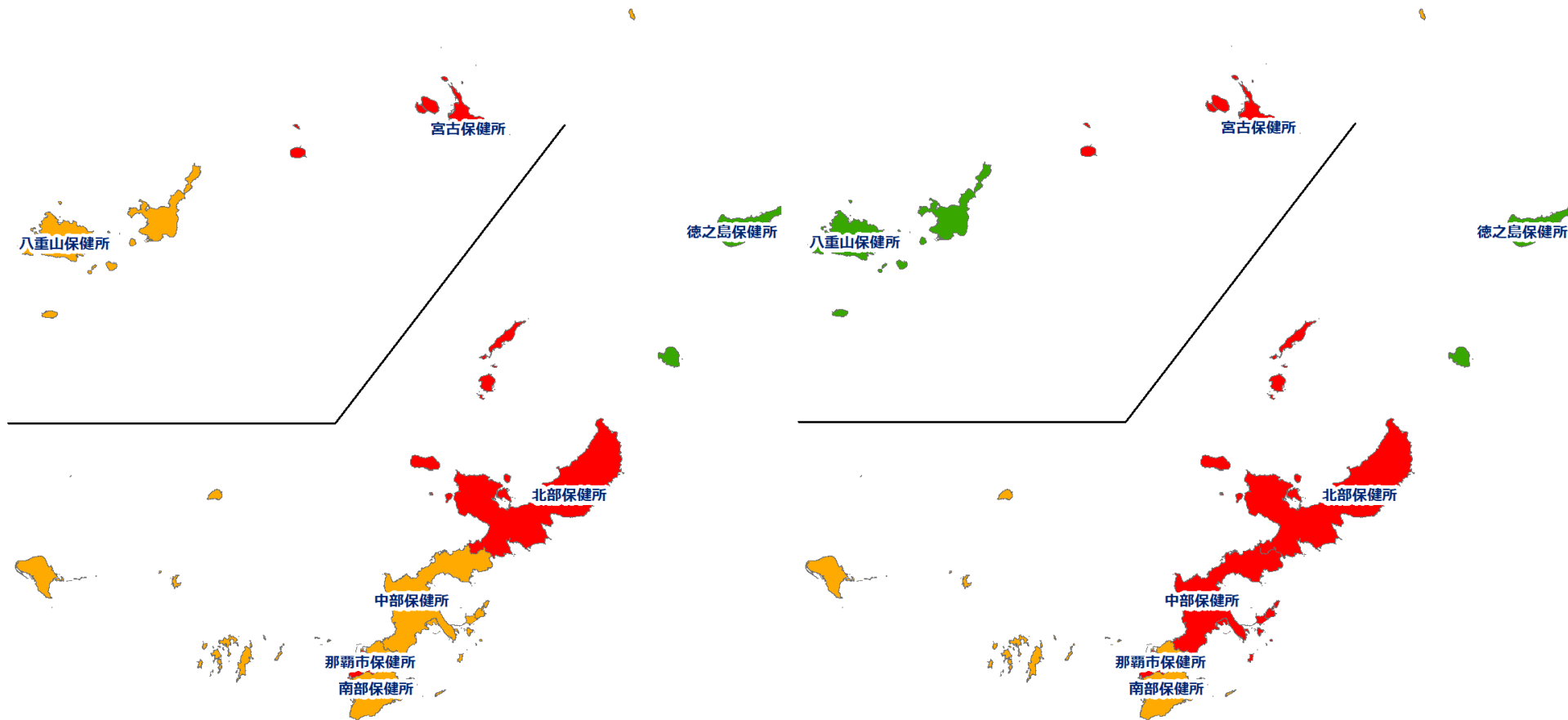


7/11~7/17

入力遅れによる  
過小評価の可能性あり



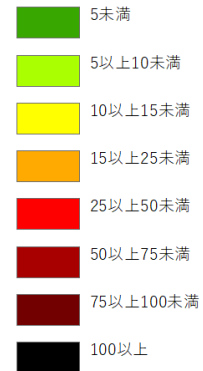
人口10万人あたりの7日間累積新規症例報告数マップ  
九州地域 (HER-SYS情報)



7/4~7/10

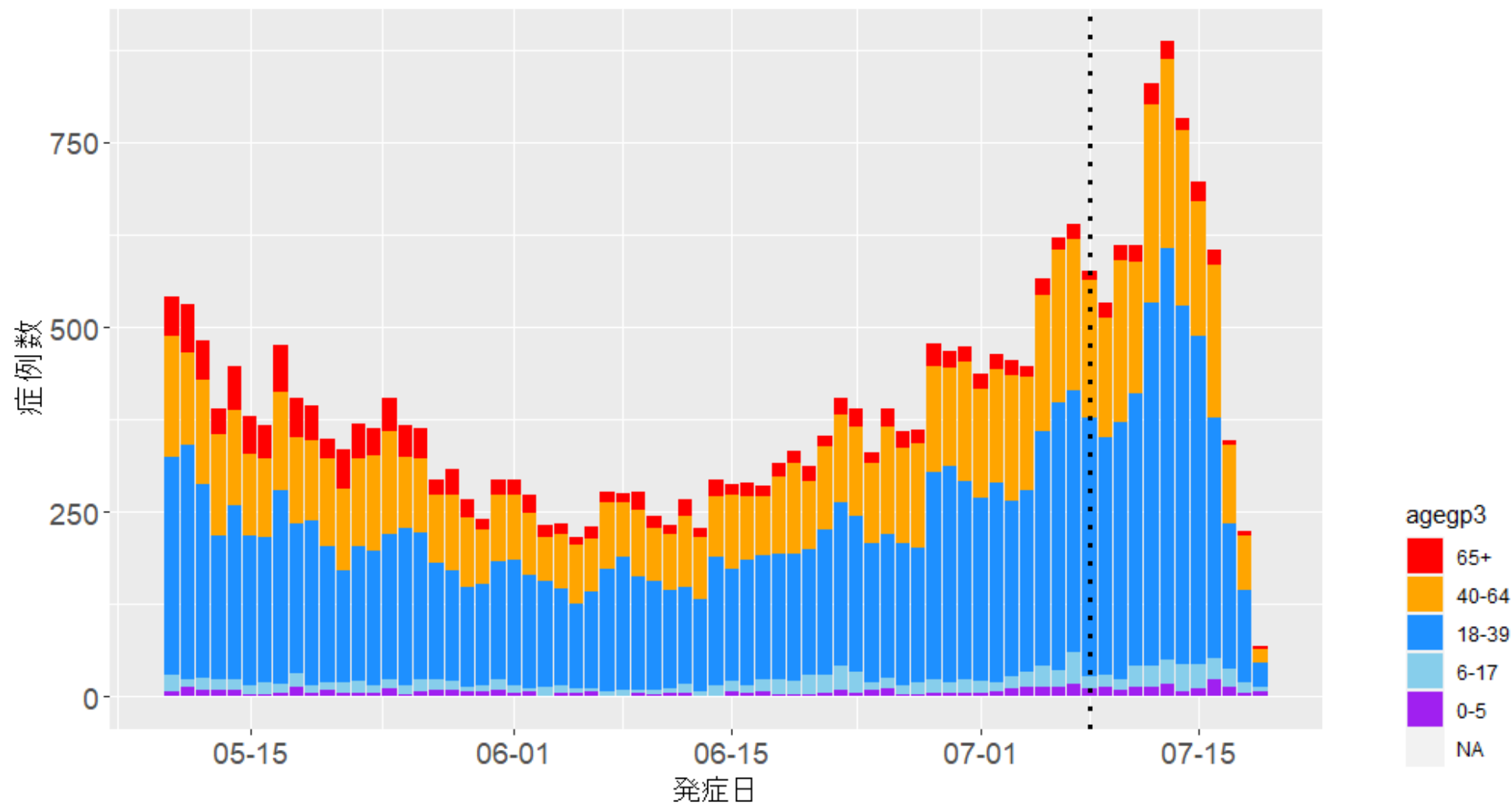
7/11~7/17

入力遅れによる  
過小評価の可能性あり

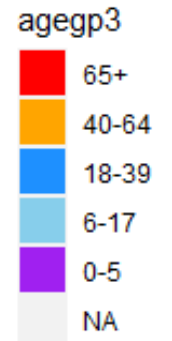
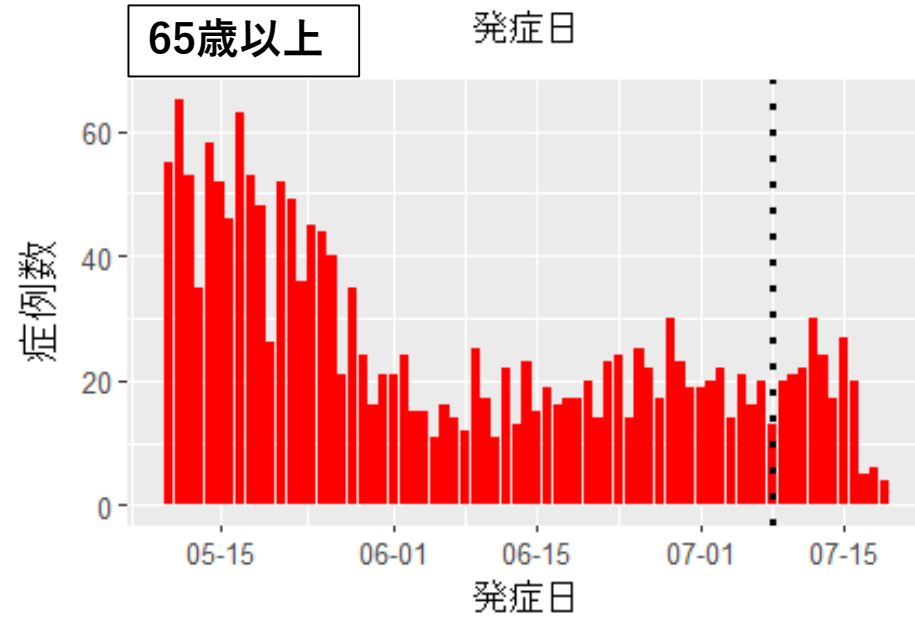
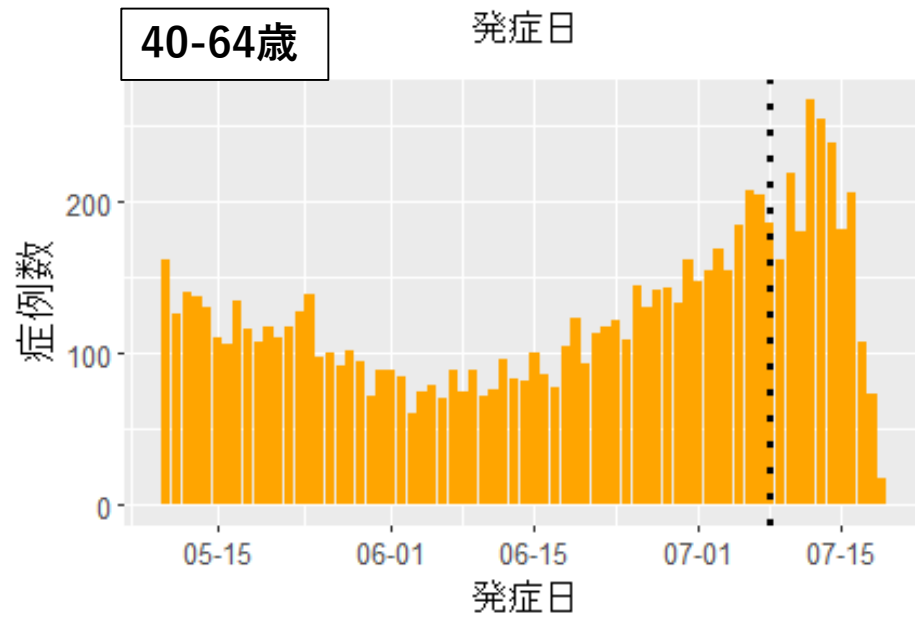
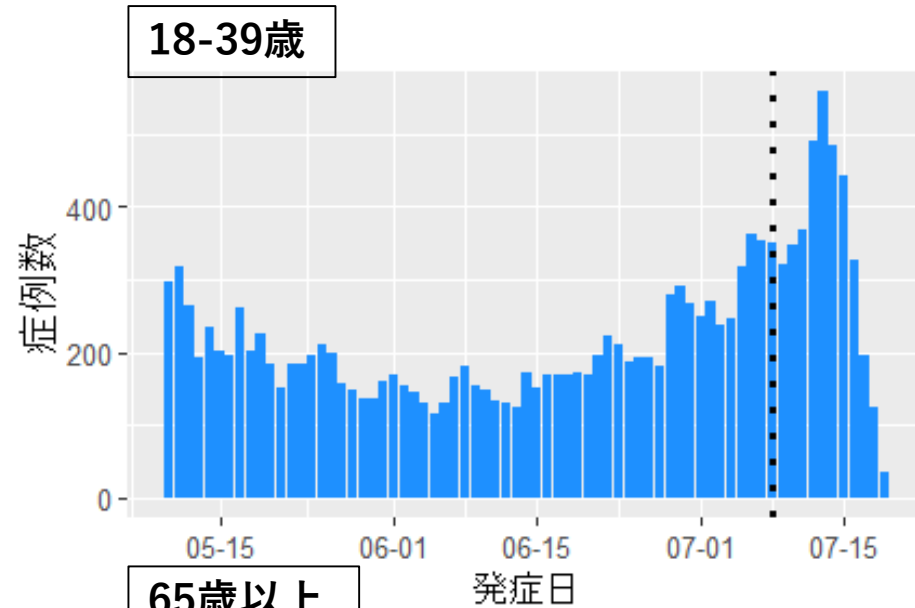
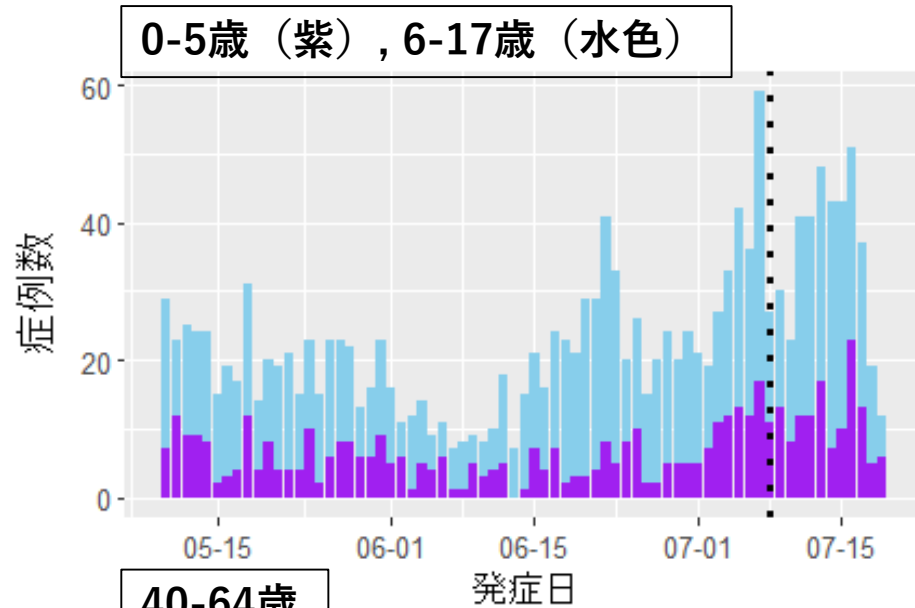


人口10万人あたりの7日間累積新規症例報告数マップ  
沖縄（HER-SYS情報）

# 東京都の発症日別流行曲線：7月20日作成

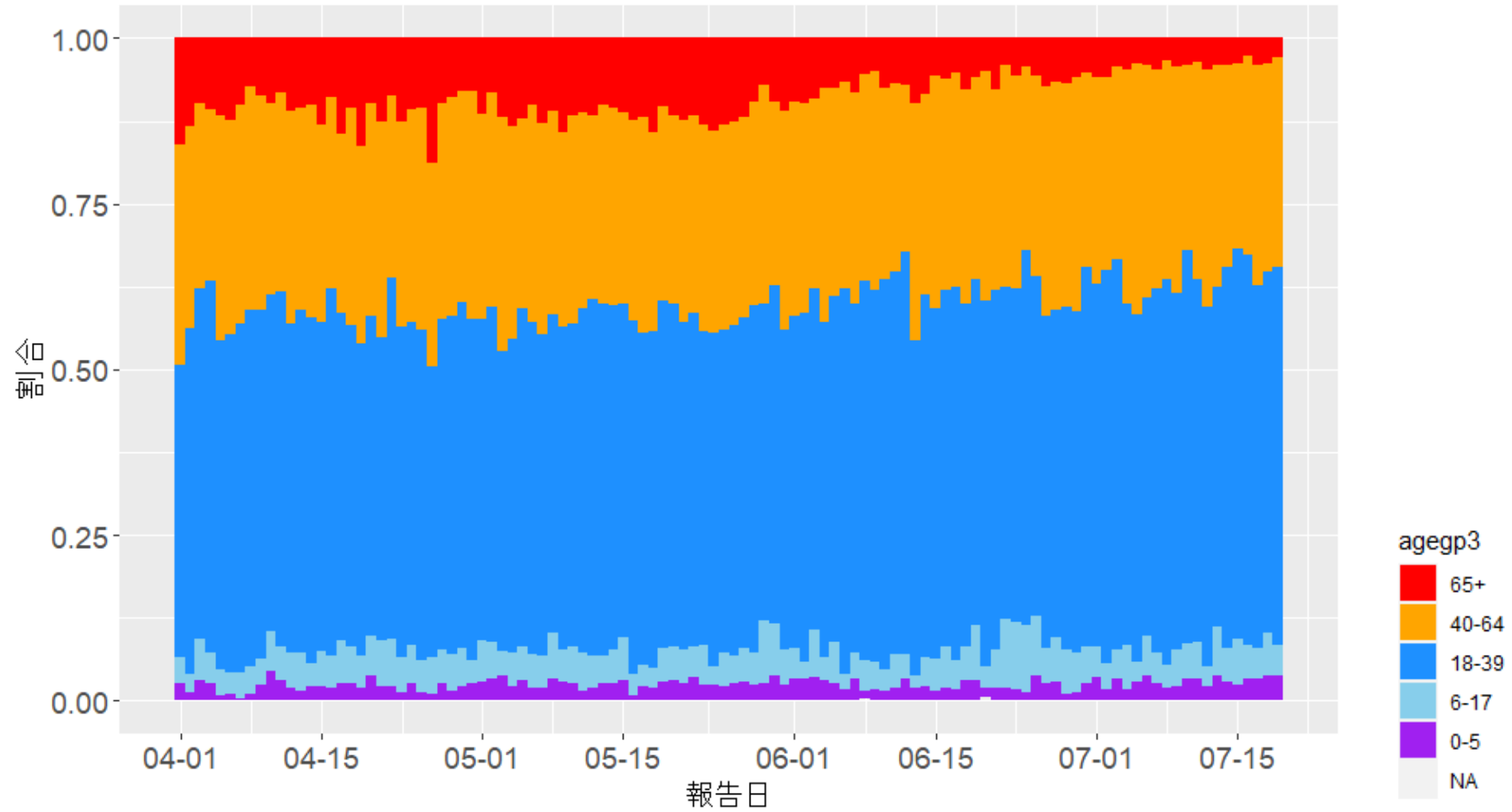


# 東京都の発症日別流行曲線：年代別、7月20日作成

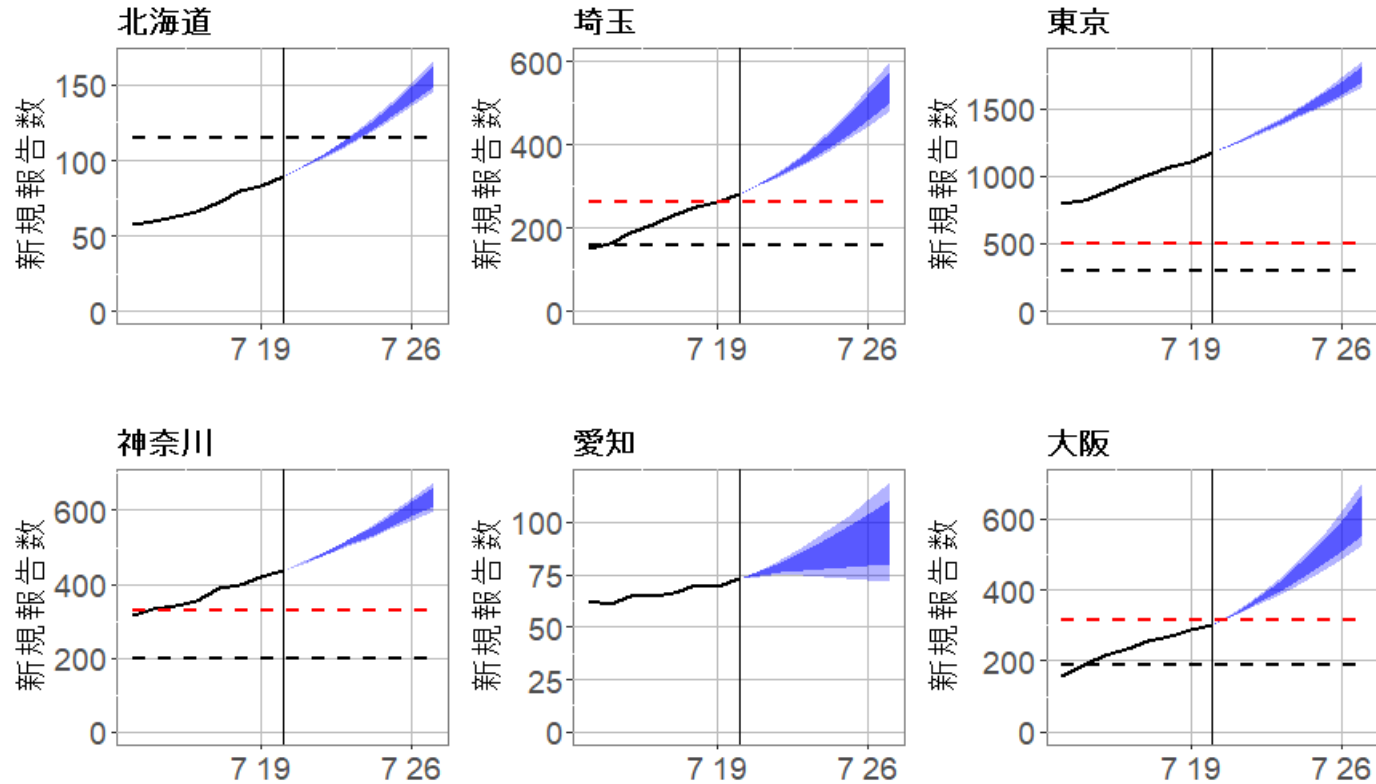




# 東京都の症例の年代分布：報告日別、7月20日作成



# 新規患者数（7日間移動平均）のシミュレーション：7月20日作成



都道府県ごとに、新規症例数（報告日別）を用いてCori et al. AJE 2013の方法（window time=7）で実効再生産数を推定した。次に実効再生産数が8日前の人流、気温、および同日のデルタ株の割合と関係するという想定のもとに時系列回帰分析を行い、これに基づいて今後7日間の実効再生産数の予測を行った。作成日時点の新規症例数の7日間移動平均値を起点として、予測実効再生産数の80%および95%予測区間の上限値と下限値を用いて今後7日間の予測症例数を算出した（図中の青帯）。点線はそれぞれ人口10万対7日間累積症例数が25相当、15相当をあらわす。人流データはGoogle社のCOVID-19：コミュニティモビリティレポート（<https://www.google.com/covid19/mobility/>）、気象データは気象庁の公開データを用いた。デルタ株の割合はP41を参照のこと。

# HER-SYSに登録された新規変異株症例のまとめ（7月19日時点）

		ゲノム解析		
		実施	未実施	計
変異株 PCR	陽性	16,599	56,481	
	未実施	663		
	判定不能	82		
計		17,344	56,481	73,825

株	N=73,825
B.1.1.7系統 (アルファ株)	14,947
B.1.351系統 (ベータ株)	24
P.1系統 (ガンマ株)	84
B.1.617系統 (デルタ株等)	547
その他	1,497
空欄	56,726

性別	N=73,825
男性	39,429
女性	34,264
不明	132

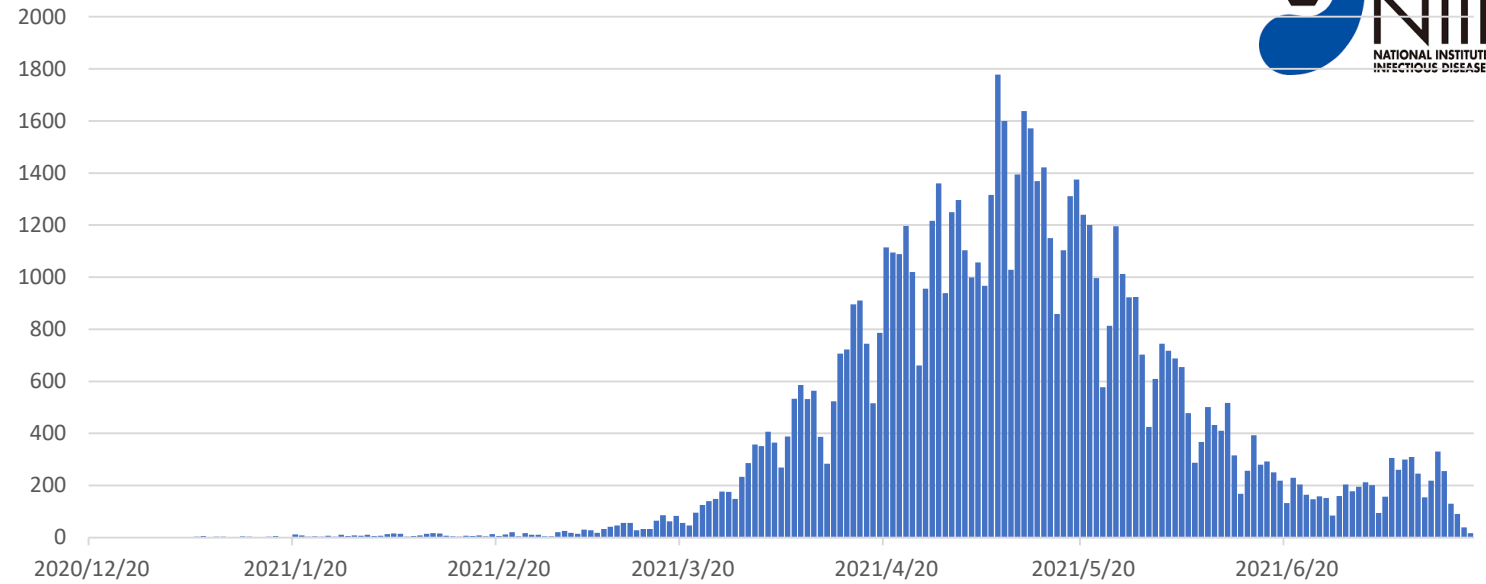
  

症状/発生届	N=73,825
肺炎	1,976
重篤な肺炎	233
ARDS	88
多臓器不全	23
死亡*	815

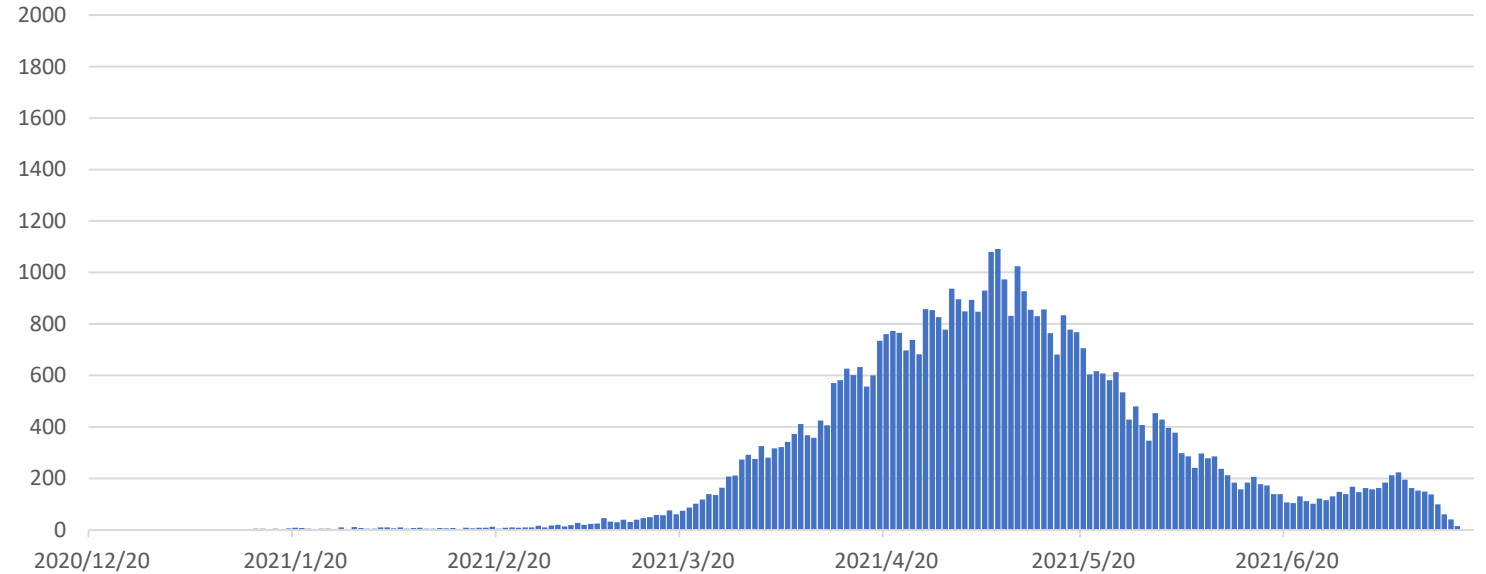
年齢	度数 N=73,825	割合
10歳未満	3,556	5%
10代	7,208	10%
20代	17,328	23%
30代	11,031	15%
40代	10,988	15%
50代	9,282	13%
60代	5,678	8%
70代	4,421	6%
80代	2,792	4%
90代以上	1,039	1%
不明	502	

\*措置判定記録として死亡年月日があるもの

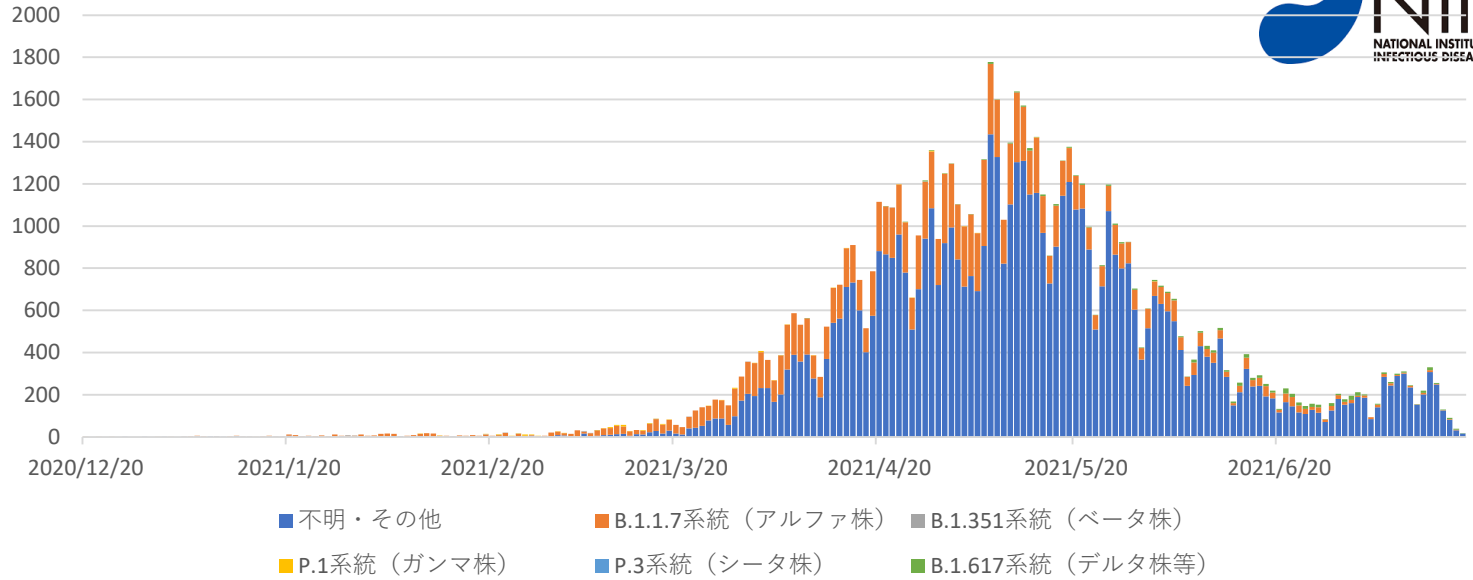
報告日別新規変異株症例届出数  
 (2020年12月20日～2021年7月18日) n=73,825



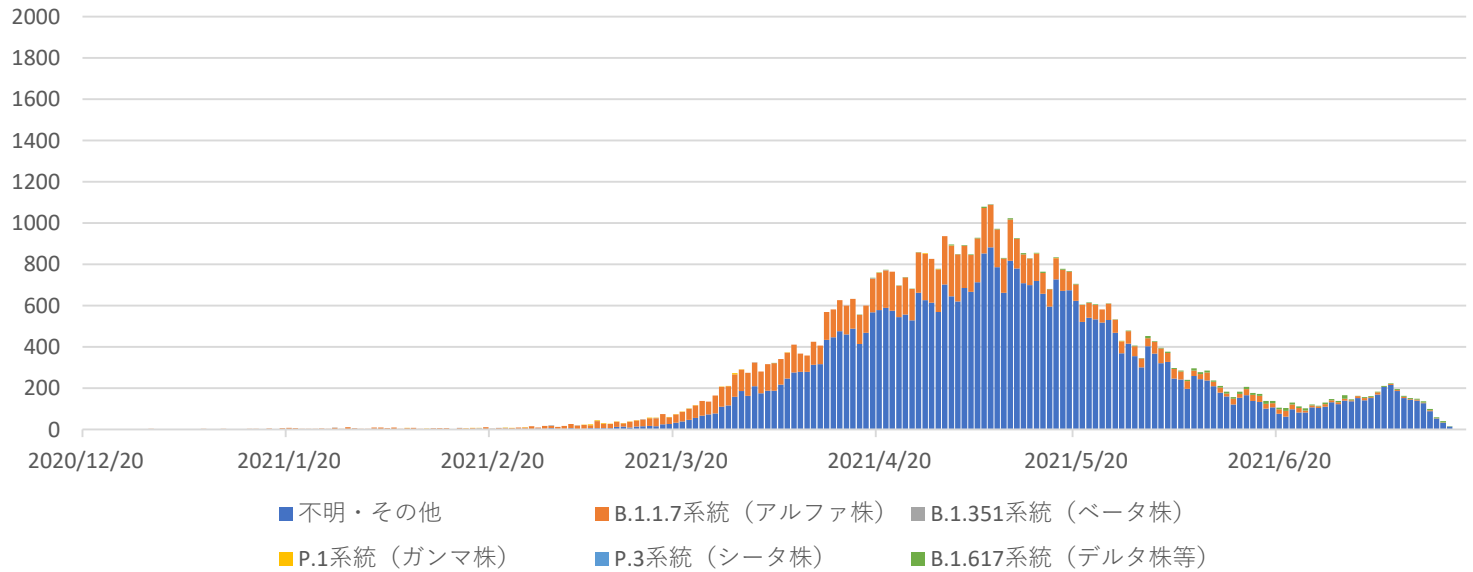
発症日別新規変異株症例届出数  
 (2020年12月20日～2021年7月18日) n=52,027



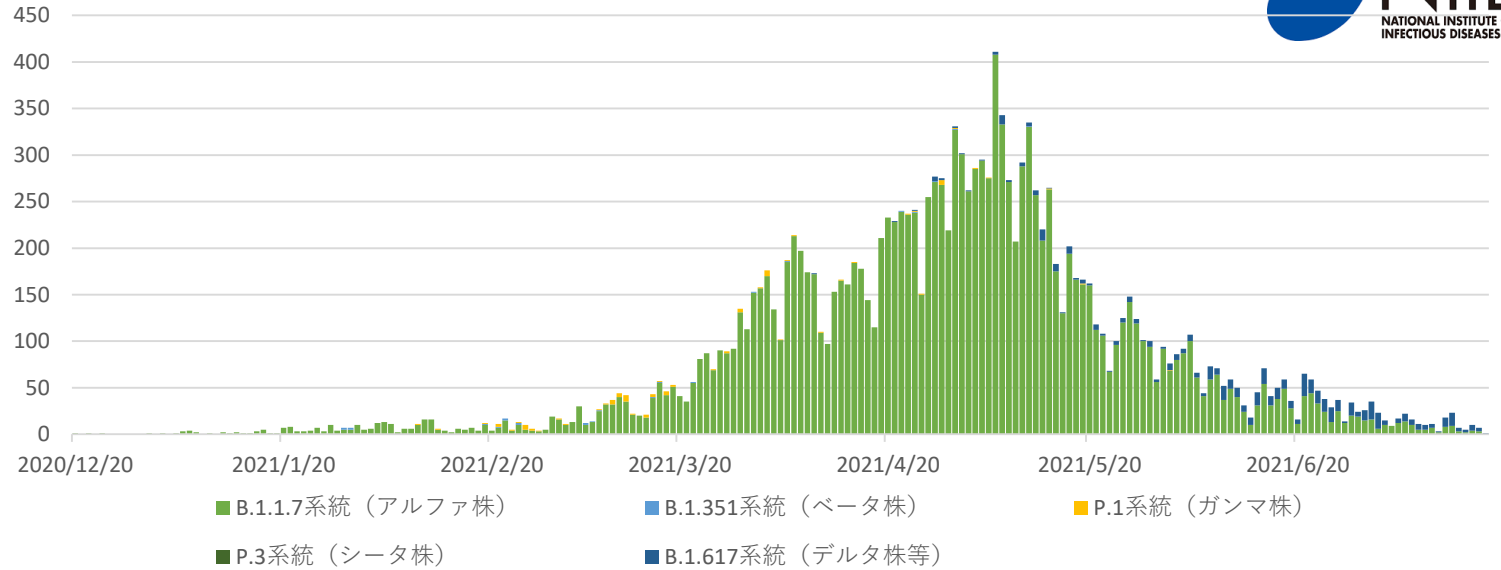
報告日別新規変異株症例届出数  
(2020年12月20日～2021年7月18日) n=73,825



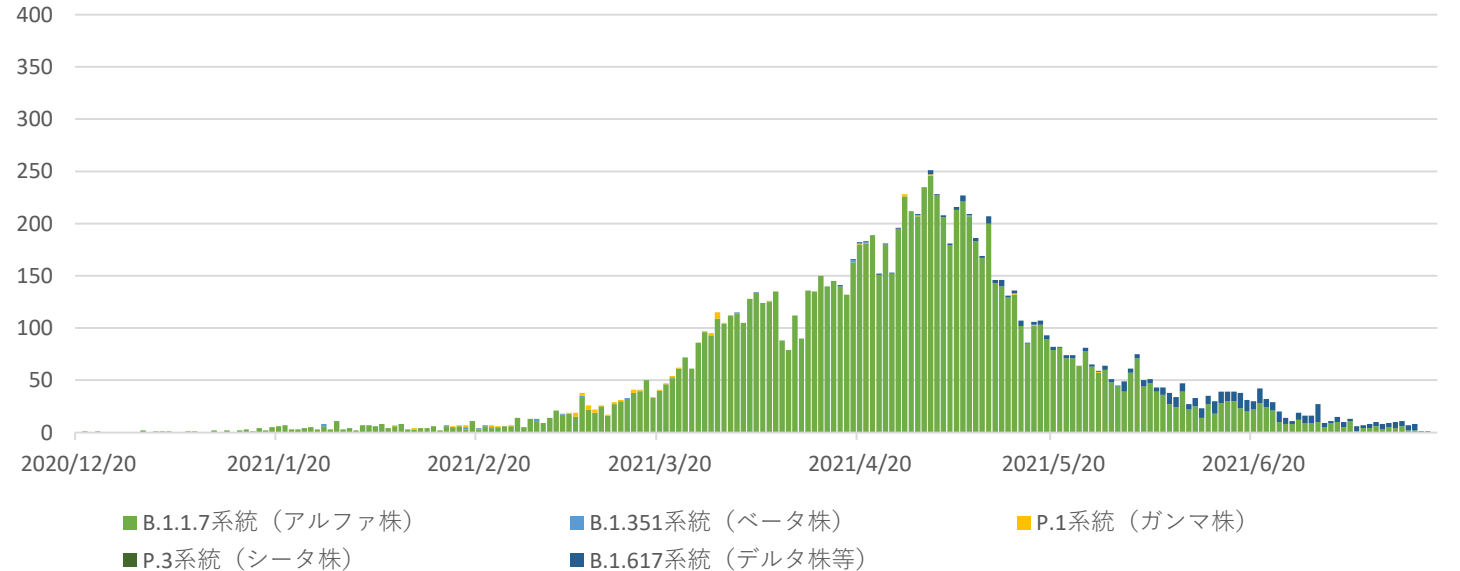
発症日別新規変異株症例届出数  
(2020年12月20日～2021年7月18日) n=52,027



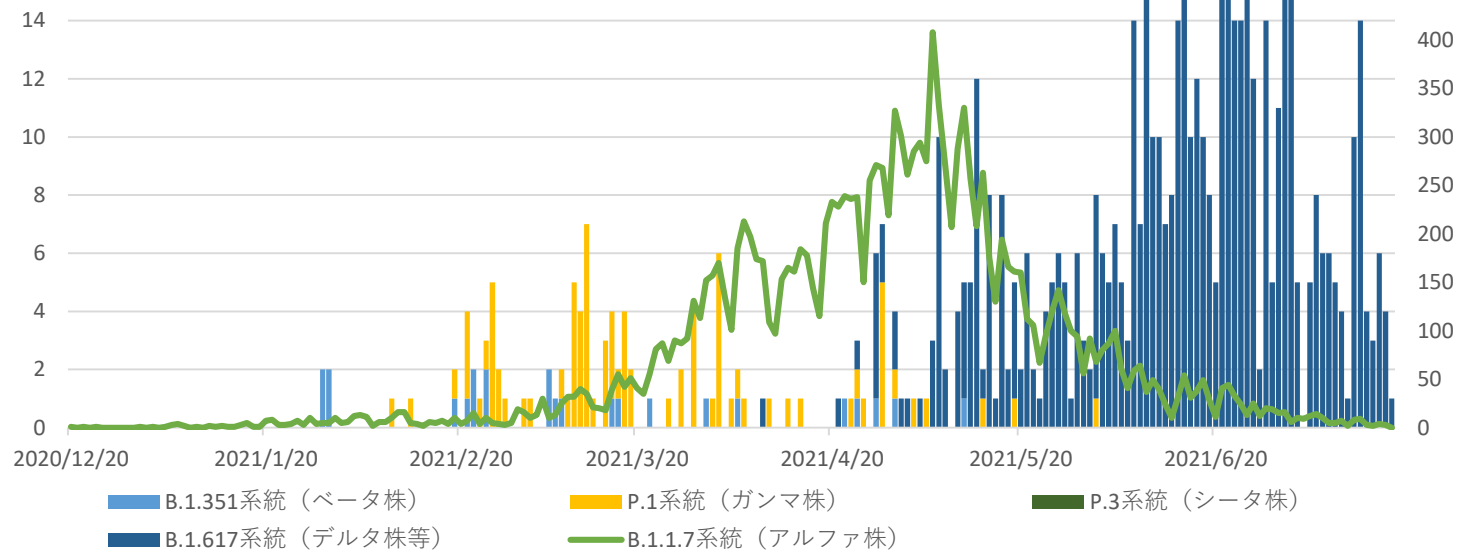
報告日別新規変異株症例届出数（株確定のみ）  
（2020年12月20日～2021年7月18日） n=15,602



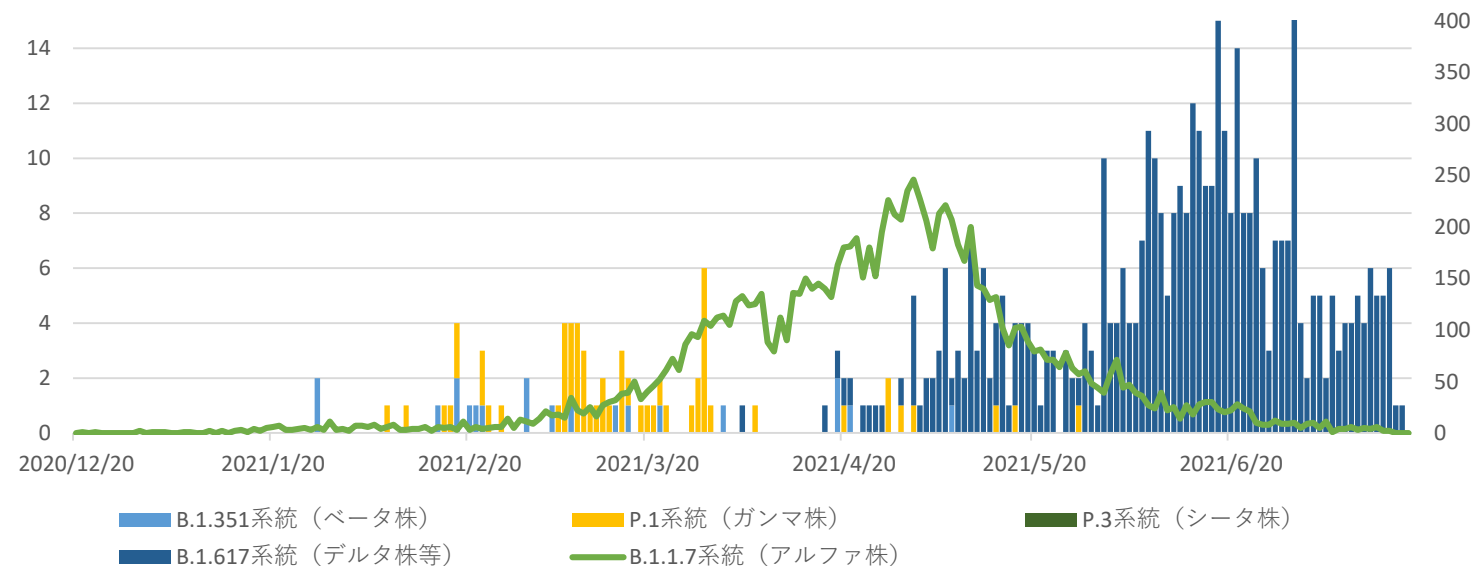
発症日別新規変異株症例届出数（株確定のみ）  
（2020年12月20日～2021年7月18日） n=11,324



## 報告日別新規変異株症例届出数（株確定のみ） （2020年12月20日～ 2021年7月18日） n=15,602



## 発症日別新規変異株症例届出数（株確定のみ） （2020年12月20日～ 2021年7月18日） n=11,324



# HER-SYSに登録された新規変異株症例（2021年7月19日時点）（診断日2021年4月9日以降） B.1.1.7系統（アルファ株）と B.1.617系統（デルタ株等）のみ

性別	B.1.1.7系統 (アルファ株) n=11,730	B.1.617系統 (デルタ株等) n=547
男性	6,143	283
女性	5,570	264
不明	17	0

症状/発生届	n=11,730	n=547
肺炎	329	15
重篤な肺炎	31	1
ARDS	13	0
多臓器不全	5	0
死亡*	155	5

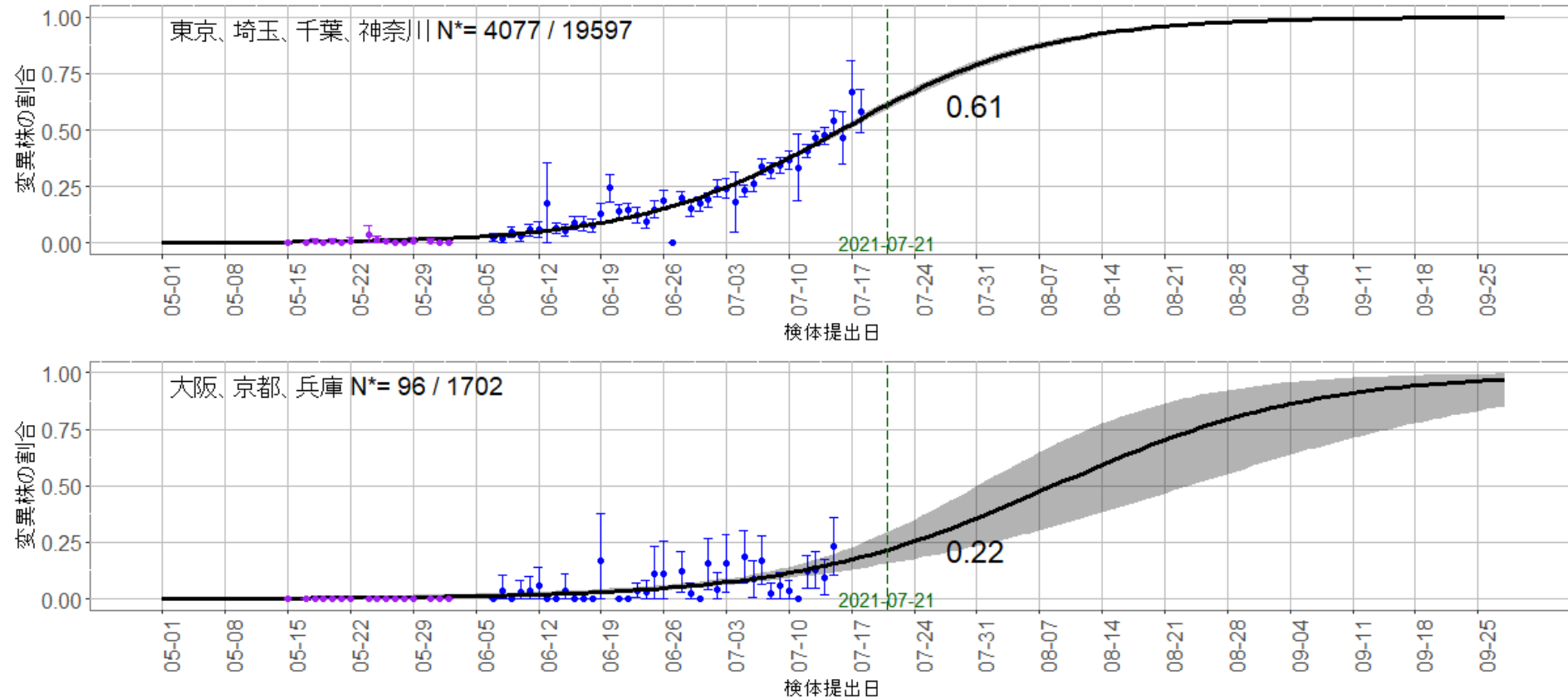
年齢	B.1.1.7系統 (アルファ株) n=11,730 割合		B.1.617系統 (デルタ株等) n=547 割合	
10歳未満	506	4%	38	7%
10代	1,108	9%	63	12%
20代	2,444	21%	127	23%
30代	1,643	14%	95	17%
40代	1,782	15%	82	15%
50代	1,502	13%	70	13%
60代	1,059	9%	40	7%
70代	885	8%	13	2%
80代	517	4%	13	2%
90代以上	209	2%	4	1%
不明	75		2	

\*措置判定記録として死亡年月日があるもの



# SARS-CoV-2陽性検体に占めるL452R変異の割合：7月19日時点

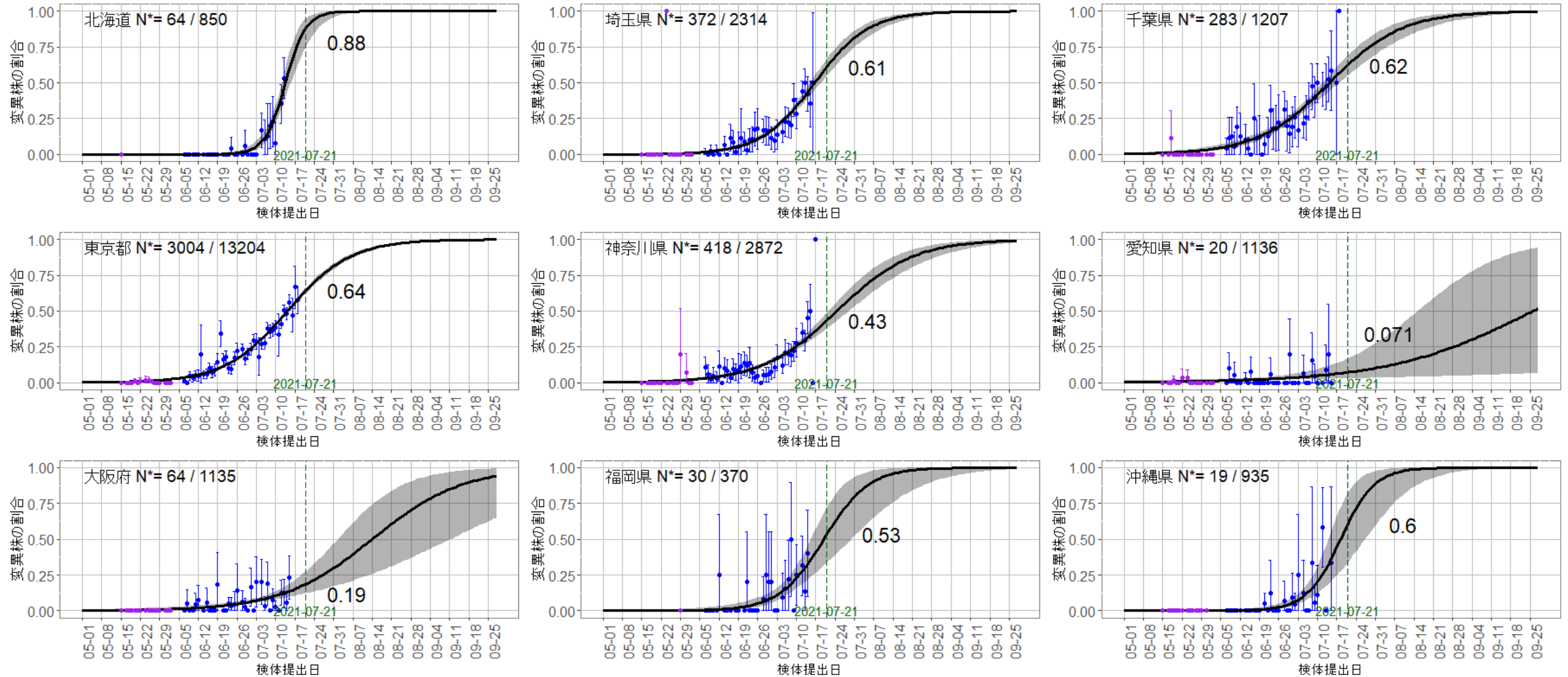
\*L452R変異検出数/変異株スクリーニング件数



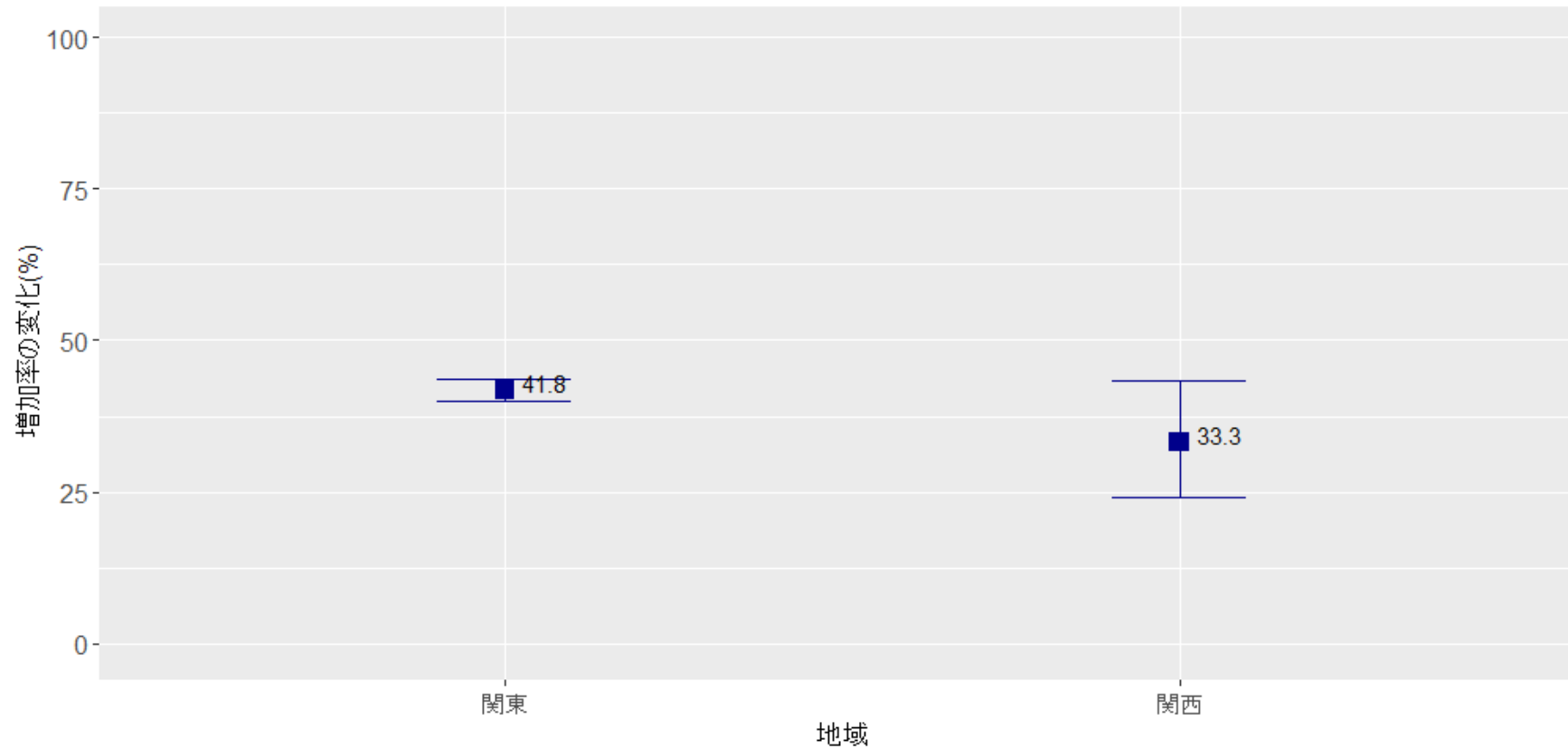
データは民間検査会社（6社）の変異株スクリーニング検査の結果を用いた。6月6日以前は原則的に各社のSARS-CoV-2陽性検体は全てN501Y-PCR検査が実施され、N501Y陰性検体についてL452R-PCR検査が実施された（分母は全N501Y-PCR検査実施数）。6月7日以降は原則各社のSARS-CoV-2陽性検体は全てL452R-PCR検査が実施された（分母は全L452R-PCR検査実施数）。図中の点は検体提出日ごとのL452R変異割合の点推定値、バーは95%信頼区間の上限と下限を表す。なお、スクリーニング体制の変更があったことから、6月6日以前を紫色、6月7日以降を青色で区別している。分析に際しては、最終的にすべてのウイルスがL452R変異を有するウイルスに置き換わることを前提としている。推定には不確実性があり（図中では推定ラインの95%信頼区間をグレーで示している）、今後、スクリーニング件数が増えることで値や形状が変化する可能性がある。

# SARS-CoV-2陽性検体に占めるL452R変異の割合：7月19日時点（一部都道府県抜粋）

\*L452R変異検出数/変異株スクリーニング件数



# L452R変異ウイルスによる感染・伝播性の増加：7月19日時点推定値



データは民間検査会社（6社）のL452R-PCRスクリーニング検査の結果を用いた。6月6日以前は原則的に各社のSARS-CoV-2陽性検体は全てN501Y-PCR検査が実施され、N501Y陰性検体についてL452Rスクリーニング検査が実施された。6月7日以降N501Y-PCRスクリーニングはL452R-PCRスクリーニングに切り替えられ、原則各社のSARS-CoV-2陽性検体は全てL452R-PCR検査が実施された。図中の値はL452R変異ウイルスの感染・伝播性（transmissibility）が従来流行していたウイルス（N501Y変異ウイルス等）のそれに比べてどれだけ増加したかを表し、観察期間中のN501Y変異ウイルスの実効再生産数が1であるという想定の下に算出した推定値である。推定値には不確実性があり（図には95%信頼区間を示す）、今後、スクリーニング件数が増えることで値が変化する可能性がある。推定に用いた方法は以下文献を参照のこと：Erik Volz, et al. medRxiv 2020.12.30.20249034; doi: <https://doi.org/10.1101/2020.12.30.20249034>

## 我が国の全ての死因を含む超過死亡数（2017-2021年の4月比較）【暫定値】

○ 超過死亡数:何らかの原因により、総死亡数がどの程度増加したかを示す指標\*。

\* (算出方法) 超過死亡数 = 実際の死亡数 - 予測死亡数の点推定値、もしくは予測死亡数の予測区間の上限値

○ 右表のハイライトの都道府県は、2021年4月の超過死亡数が、過去4年間の同月よりも多い\*場合を示す。

\* 観測死亡数が95%片側予測区間(上限値)を超える。

- 詳細および最新情報については「日本の超過および過少死亡数ダッシュボード」を参照のこと  
<https://exdeaths-japan.org/>
- 「新型コロナウイルス感染症等の感染症サーベイランス体制の抜本的拡充に向けた人材育成と感染症疫学的手法の開発研究」(厚生労働科学研究令和3年度)分担研究「COVID-19等の影響による超過死亡の評価」

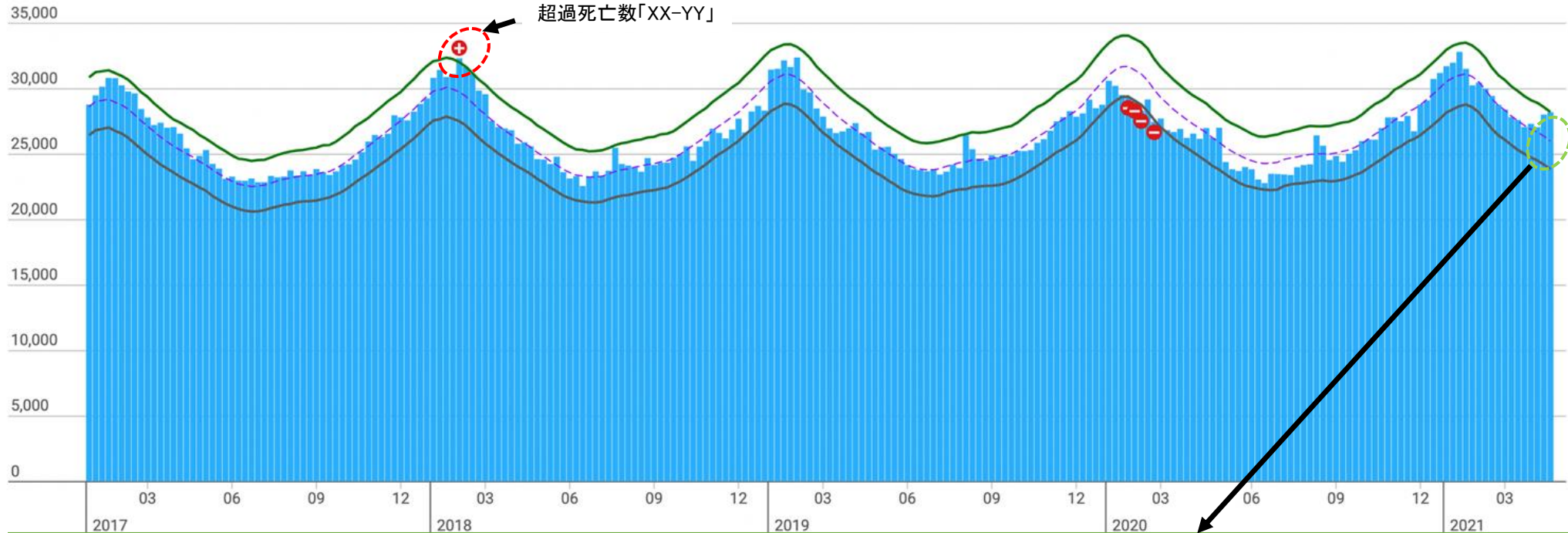
都道府県	2021	2020	2019	2018	2017	都道府県	2021	2020	2019	2018	2017
1 北海道	6-180	0-33	0-3	0-40	0-54	25 滋賀県	11-71	0-32	0-15	0-17	0-3
2 青森県	0-14	0-0	0-36	0-29	30-91	26 京都府	0-66	0-31	8-73	0-0	12-56
3 岩手県	0-0	0-18	0-34	5-53	0-28	27 大阪府	268-586	8-170	0-74	0-68	0-99
4 宮城県	37-103	0-20	5-47	0-40	0-0	28 兵庫県	103-304	0-37	0-31	0-15	8-137
5 秋田県	0-19	0-24	0-3	0-3	6-58	29 奈良県	22-81	14-53	0-0	0-0	0-44
6 山形県	0-40	0-18	0-21	2-61	17-62	30 和歌山県	0-30	0-26	0-11	0-15	9-58
7 福島県	0-70	0-14	0-37	0-25	0-6	31 鳥取県	0-27	0-0	0-0	0-0	0-12
8 茨城県	0-47	0-51	0-63	0-19	24-92	32 島根県	14-43	0-17	0-27	0-29	0-25
9 栃木県	0-46	0-27	0-43	0-11	2-52	33 岡山県	0-40	0-20	0-6	0-37	0-0
10 群馬県	40-101	0-0	20-76	0-0	0-18	34 広島県	14-125	0-35	0-17	0-8	0-52
11 埼玉県	0-213	17-205	0-128	0-23	4-95	35 山口県	6-68	0-15	0-18	0-5	0-4
12 千葉県	24-231	48-172	5-113	0-10	0-59	36 徳島県	36-74	4-30	0-20	0-2	0-36
13 東京都	186-459	29-305	0-114	0-9	59-281	37 香川県	0-13	0-23	0-16	0-36	0-28
14 神奈川県	15-288	0-63	0-94	0-0	64-267	38 愛媛県	8-81	0-18	0-46	0-0	0-28
15 新潟県	0-31	0-0	0-25	22-128	0-72	39 高知県	0-28	0-36	0-10	0-25	0-10
16 富山県	3-83	15-45	0-18	0-1	0-11	40 福岡県	63-168	0-0	0-11	0-13	0-27
17 石川県	11-64	0-0	0-28	0-8	0-9	41 佐賀県	0-23	0-10	0-6	0-20	0-14
18 福井県	0-46	0-16	4-29	0-18	0-19	42 長崎県	0-33	0-21	0-0	0-50	5-36
19 山梨県	0-15	0-22	0-10	0-5	0-17	43 熊本県	24-120	0-28	0-0	0-0	2-44
20 長野県	0-38	0-9	0-33	0-26	29-70	44 大分県	30-89	0-32	0-3	0-20	0-5
21 岐阜県	0-50	0-0	0-53	0-34	0-31	45 宮崎県	17-47	0-44	0-5	0-0	0-4
22 静岡県	0-156	0-52	0-34	0-14	14-168	46 鹿児島県	18-95	0-0	0-7	0-2	0-14
23 愛知県	0-62	12-219	0-80	0-60	0-56	47 沖縄県	0-56	0-12	0-31	6-33	0-19
24 三重県	0-46	0-14	0-1	0-0	8-46	48 日本	956-4670	147-2017	42-1550	35-1012	293-2417

\* 疫学週に基づき、各年4月の第3週までを比較。2021年4月5日～4月25日  
 2020年4月6日～4月26日  
 2019年4月1日～4月21日  
 2018年4月2日～4月22日  
 2017年4月3日～4月23日

\*\* 全国の超過死亡数は、都道府県ごとの超過死亡数の積算。

- 超過死亡数「XX-YY」の解釈
  - XX=予測閾値上限と観測死亡数の差分
  - YY=予測死亡数と観測死亡数の差分

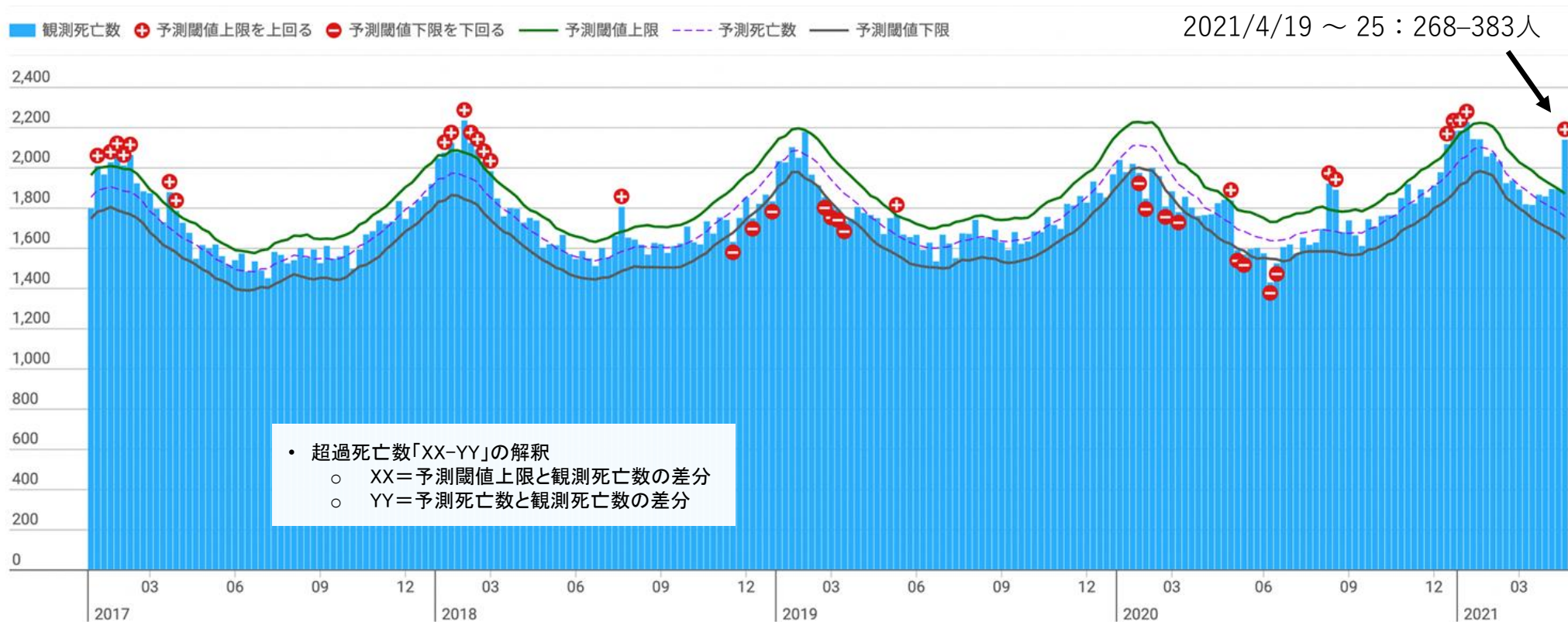
■ 観測死亡数    ⊕ 予測閾値上限を上回る    ⊖ 予測閾値下限を下回る    — 予測閾値上限    - - - 予測死亡数    — 予測閾値下限



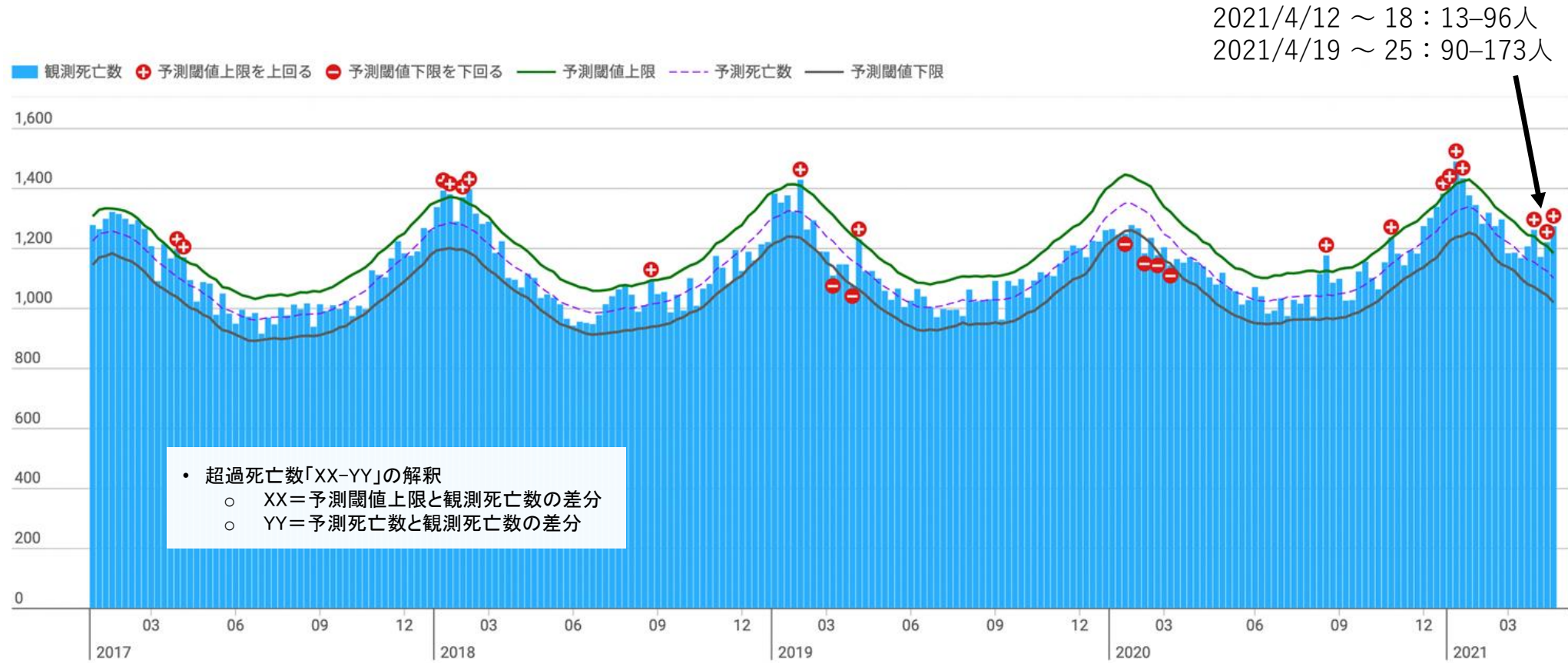
**【2021年4月(4月5日～4月25日)の結果】**

- 19都道府県では、2021年4月中の全ての死因を含む超過死亡数が例年の同時期より多かった。
- 一方で、各県の超過が認められる週が4月最終週に集中しているため、5月以降や死因別のデータを追って評価した上で、この4月末の超過が新型コロナに関連したものか、あるいは偶発的に発生したものかの判断が求められる。
- なお、コロナ流行期以降(2020年1月～)の全ての死因を含む積算の超過死亡数は、おおよそ流行以前と同規模である。

※スライド1ページ目の表の全国の積算超過死亡数と、この図の4月の超過死亡数の積算値は一致しない。前者は47都道府県別の超過死亡数の積算。後者は47都道府県別の観測死亡数、予測死亡数の点推定、その95%片側予測区間を毎週ごとに積算した上で、超過死亡数を算出。



# 兵庫県



# 東京都

2021/4/12 ~ 18 : 63-202人  
 2021/4/19 ~ 25 : 123-257人

■ 観測死亡数    + 予測閾値上限を上回る    - 予測閾値下限を下回る    — 予測閾値上限    - - - 予測死亡数    — 予測閾値下限

